

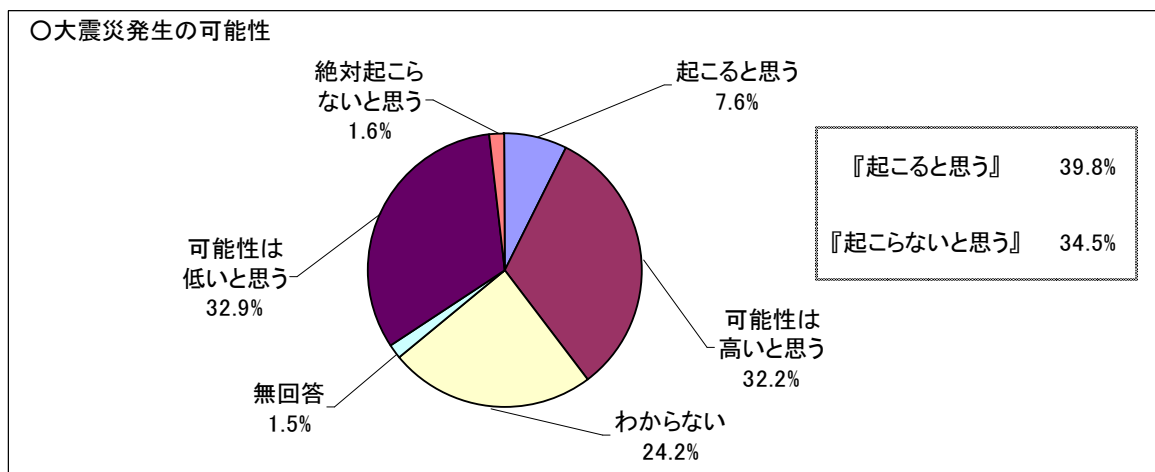
4 大地震発生のおそれ

今後の大地震発生のおそれ

問 12 あなたの住んでいる地域で、今後 10 年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から 1 つ選んで番号に○印をつけてください。

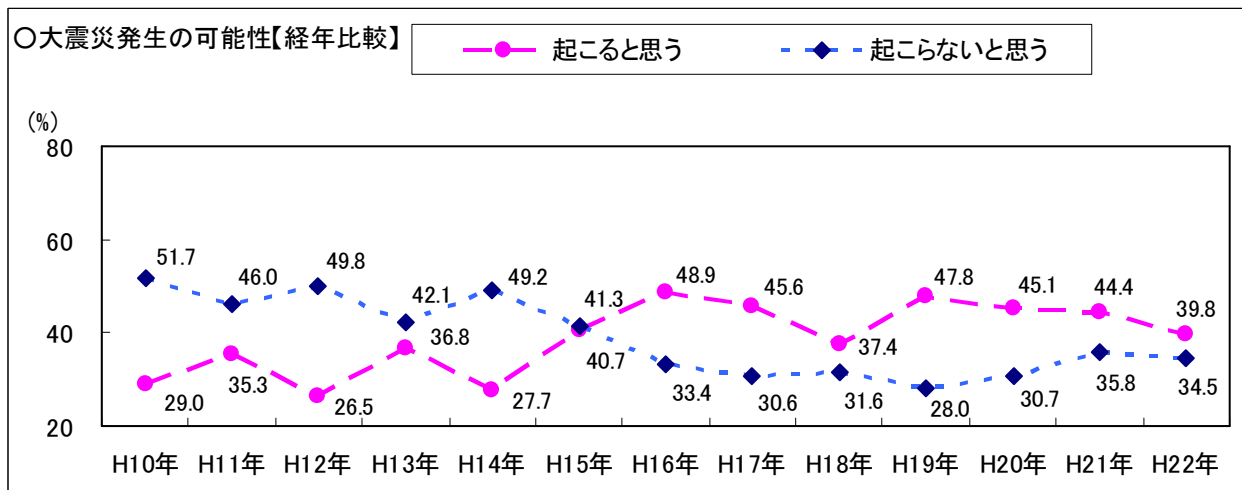
- | | |
|-------------|--------------|
| 1 起こると思う | 4 絶対起こらないと思う |
| 2 可能性は高いと思う | 5 わからない |
| 3 可能性は低いと思う | |

- 今後 10 年間で大地震が起こる可能性については、「起こる可能性は低いと思う」(32.9%)が最も多く、次いで「起こる可能性は高いと思う」(32.2%)、「わからない」(24.2%)と続いている。
- 「起こる可能性は高いと思う」(32.2%)と「起こると思う」(7.6%)を合わせた『起こると思う』(39.8%)は 4 割弱となっている一方で、「起こる可能性は低いと思う」(32.9%)と「絶対起こらないと思う」(1.6%)を合わせた『起こらないと思う』(34.5%)は 3 割台半ばとなっており、『起こると思う』が『起こらないと思う』を 5.3 ポイント上回っている。



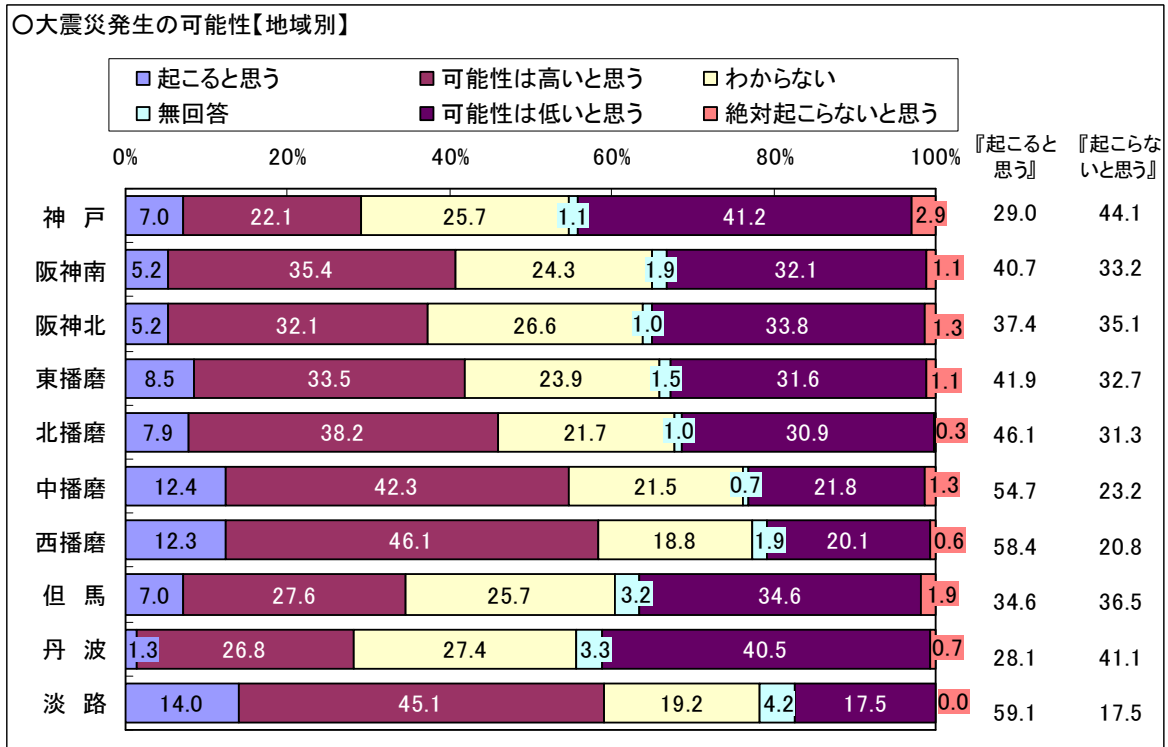
◆経年比較

- 『起こると思う』は、前年より 4.6 ポイント減少(44.4%→39.8%)し、『起こらないと思う』は、前年より僅かに 1.3 ポイント減少(35.8%→34.5%)しており、『起こると思う』は 3 年連続の減少、『起こらないと思う』は 2 年連続の増加から減少に転じている。



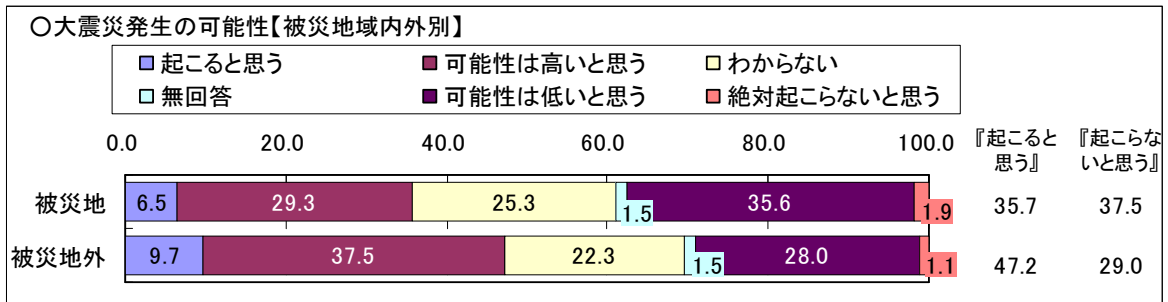
◆地域別

- 『起こると思う』は淡路(59.1%)が最も多く、西播磨(58.4%)とともに約6割に及び、中播磨(54.7%)も5割台半ばとなっている一方、神戸(29.0%)、丹波(28.1%)では3割を下回っている。逆に『起こらないと思う』では、神戸(44.1%)、丹波(41.1%)が4割を上回る一方、淡路(17.5%)では1割台後半、西播磨(20.8%)で2割と地域間の差が大きい。



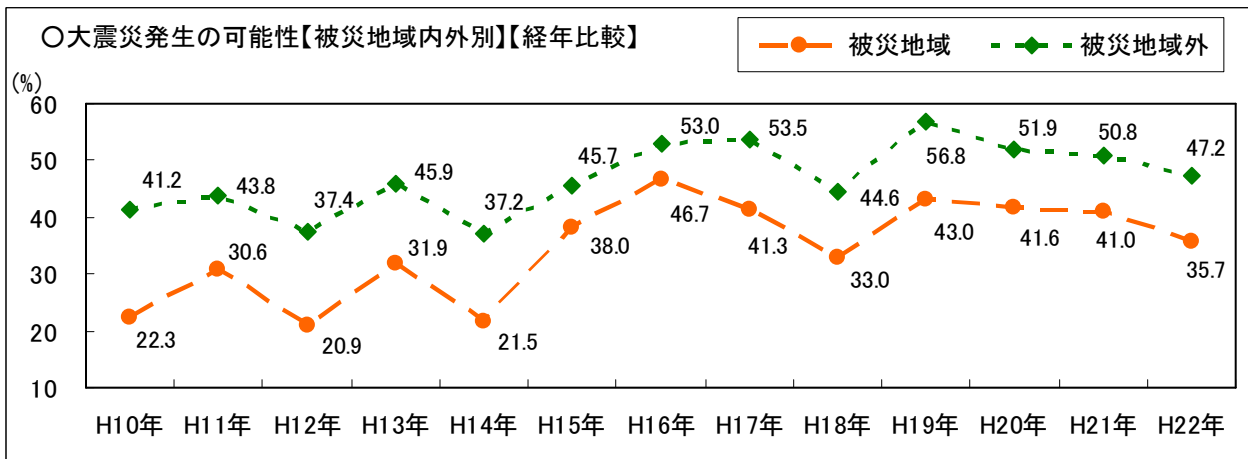
◆被災地域・被災地域外別

- 『起こると思う』は、被災地域(35.7%)より被災地域外(47.2%)で多く(11.5ポイントの差)、『起こらないと思う』は、被災地域外(29.0%)より被災地域(37.5%)で多く(8.5ポイントの差)になっている。



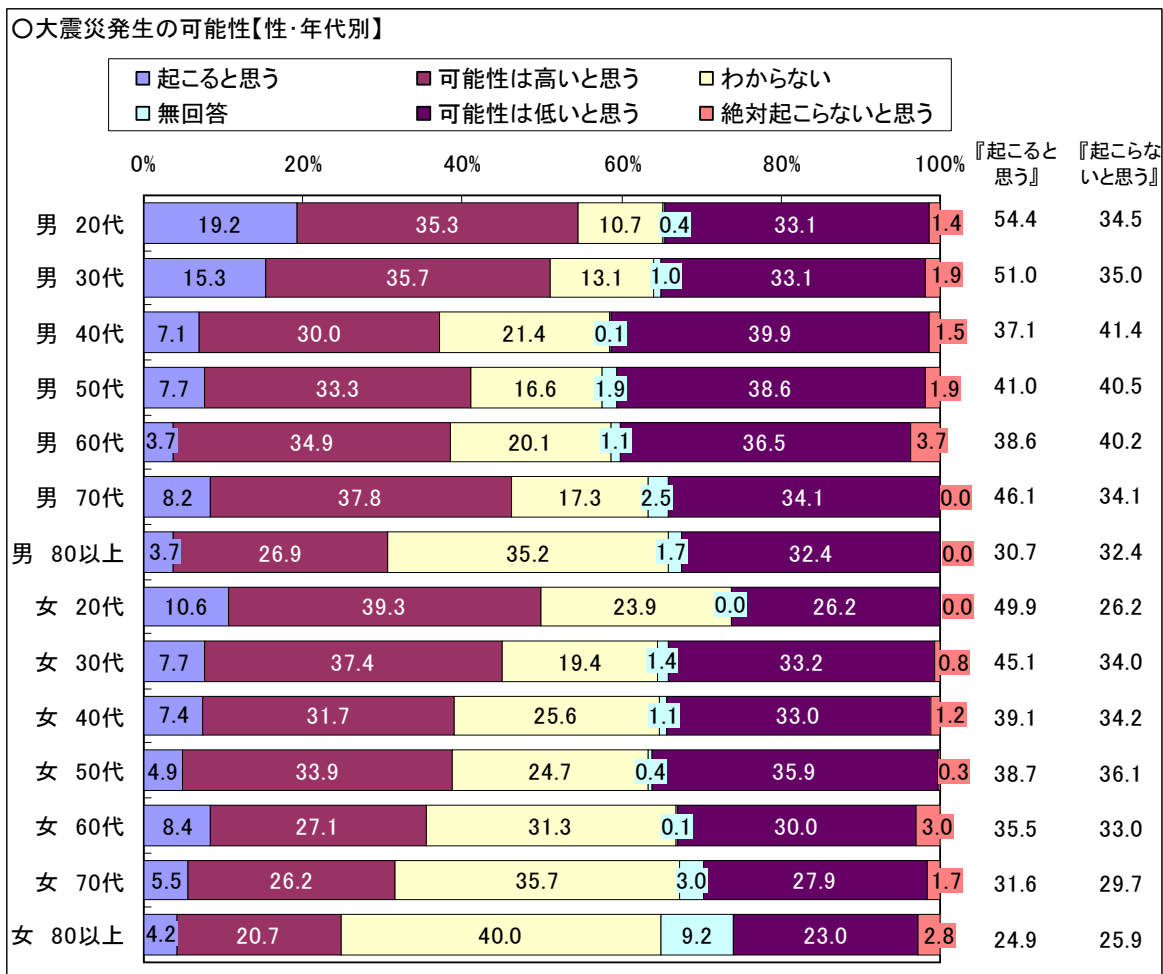
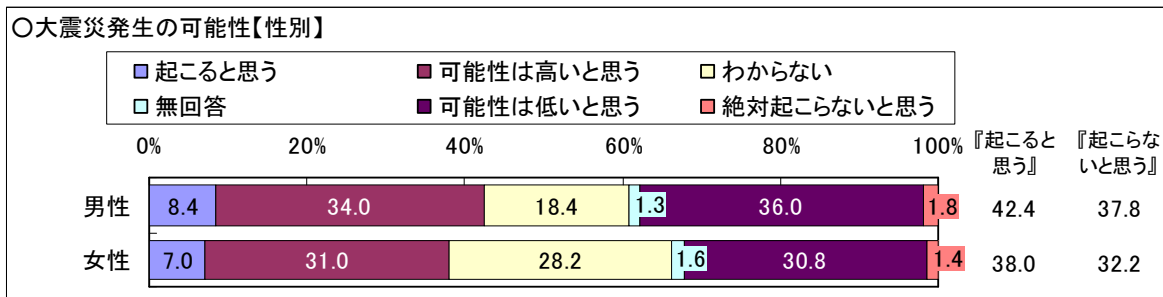
◆被災地域・被災地域外別（経年比較）

- 『起こると思う』は、被災地域(35.7%)、被災地域外(47.2%)ともに前年(被災地域 41.0%、被災地域外 50.8%)より減少している。



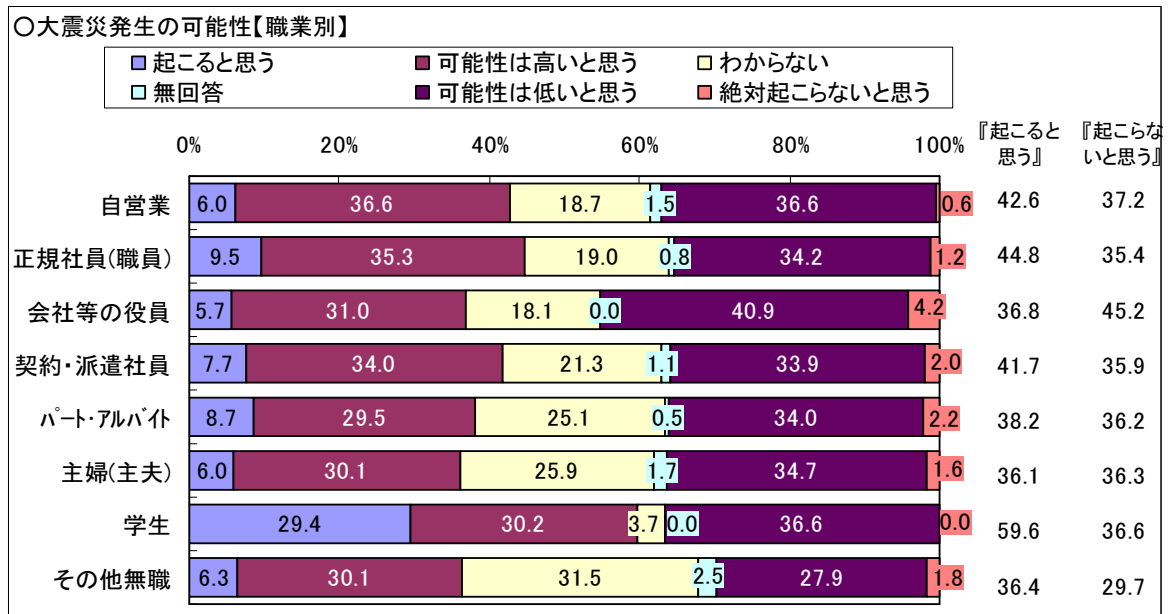
◆性別、性・年代別

- 性別で見ると、『起こらないと思う』が女性(32.2%)より男性(37.8%)が多い。
- 性・年代別で見ると、『起こると思う』は、男性では20代(54.4%)で最も多く5割半ばに及び、30代(51.0%)も5割を上回る中、80歳以上(30.7%)と40代(37.1%)、60代(38.6%)では3割台に止まっている。一方、『起こらないと思う』は、40～60代でいずれも約4割となっているが、他の世代は3割台半ばとなっている。
- 女性でも、『起こると思う』は20代(49.9%)が最も多く約5割に及び、30代(45.1%)も4割台半ばとなっているが、80歳以上(24.9%)は3割を下回り、40代～70代でも3割～4割弱となっている。一方、『起こらないと思う』は、いずれの世代でも4割を下回り、最も多い50代(36.1%)で3割台半ばに止まっているほか、80歳以上(25.9%)、20代(26.2%)、70代(29.7%)で2割台となっている。



◆職業別

- 職業別でみると、『起こると思う』は、学生(59.6%)が約6割と最も多くなっており、正規社員(職員)(44.8%)、自営業(42.6%)、契約・派遣社員(41.7%)と4割を超えるが、他の職業は3割台で主婦(主夫)(36.1%)が最も少なくなっている。
- 『起こらないと思う』では、会社等の役員(45.2%)で4割台半ばと最も多いが、他の職業では3割台半ばが多く、その他無職(29.7%)では3割を下回っている。



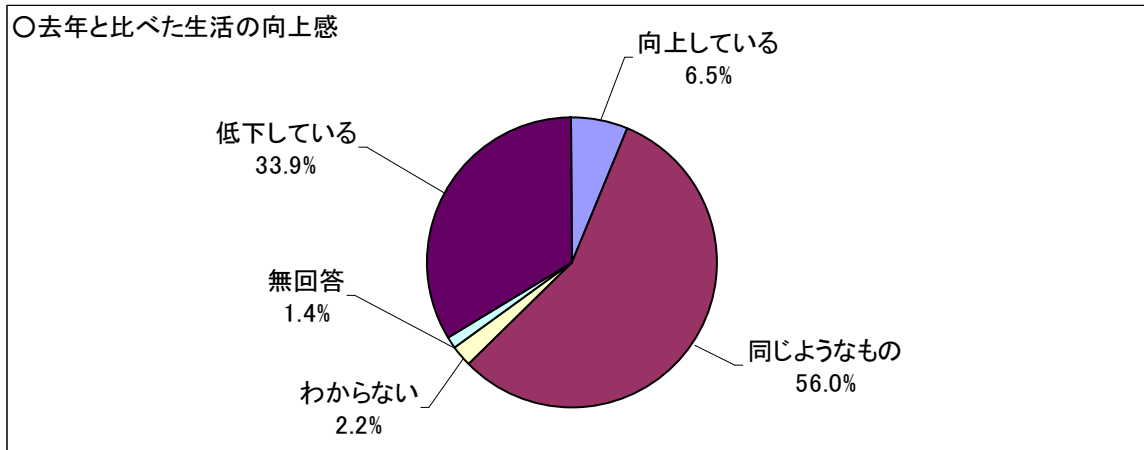
5 生活向上感

去年と比べた生活の向上感

問 13 あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

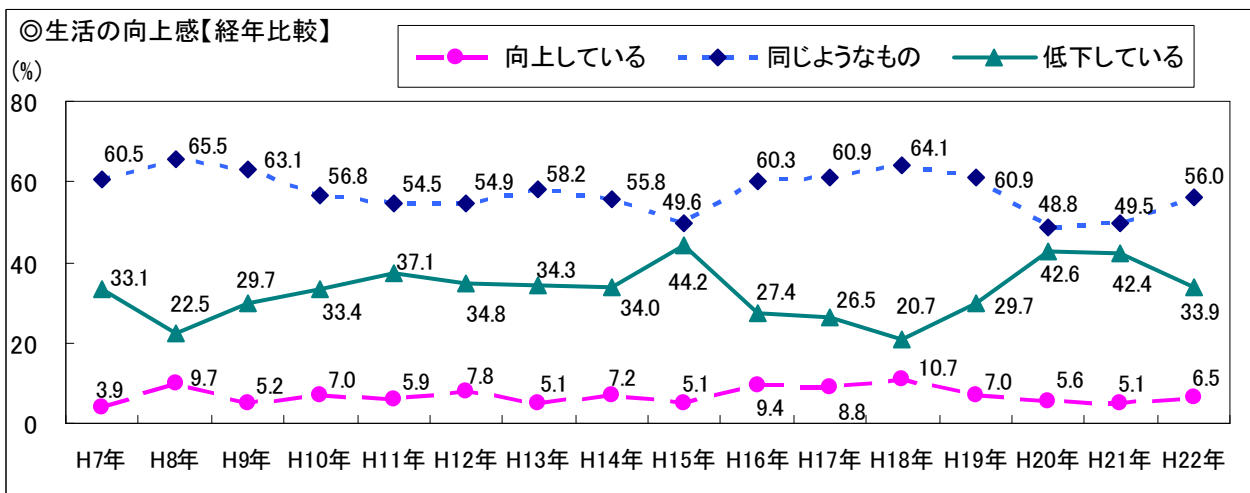
- | | |
|-----------|----------|
| 1 向上している | 3 低下している |
| 2 同じようなもの | 4 わからない |

○ 「同じようなもの」(56.0%)は5割を超えているが、「低下している」(33.9%)も3割を超えており、「向上している」(6.5%)は1割を下回っている。



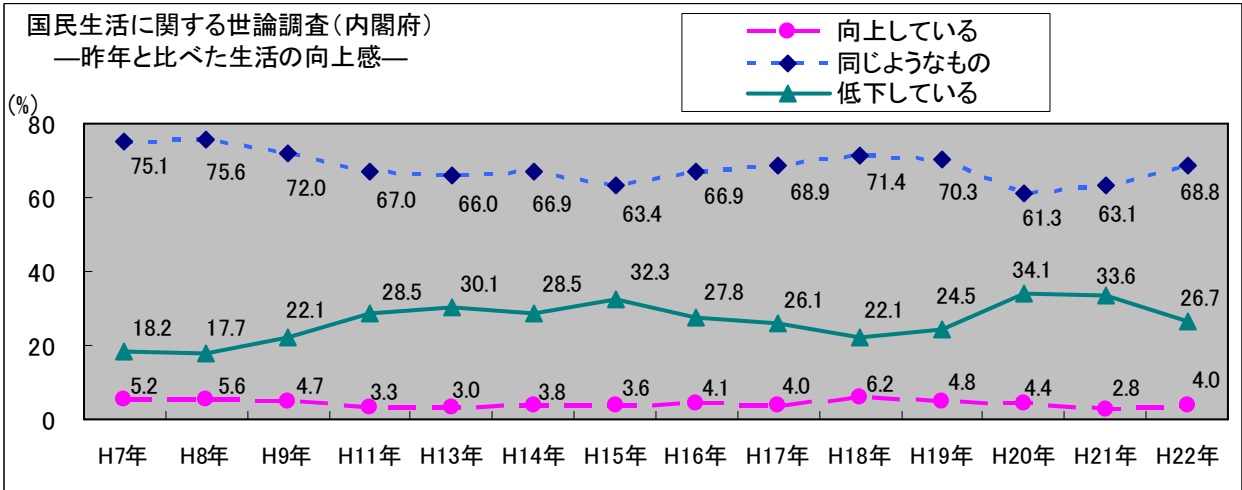
◆経年比較

○ 前年度調査結果と比べると、「同じようなもの」が6.5ポイント(49.5%→56.0%)、「向上している」も1.4ポイント(5.1%→6.5%)増加しており、「低下している」が8.5ポイント(42.4%→33.9%)減少している。



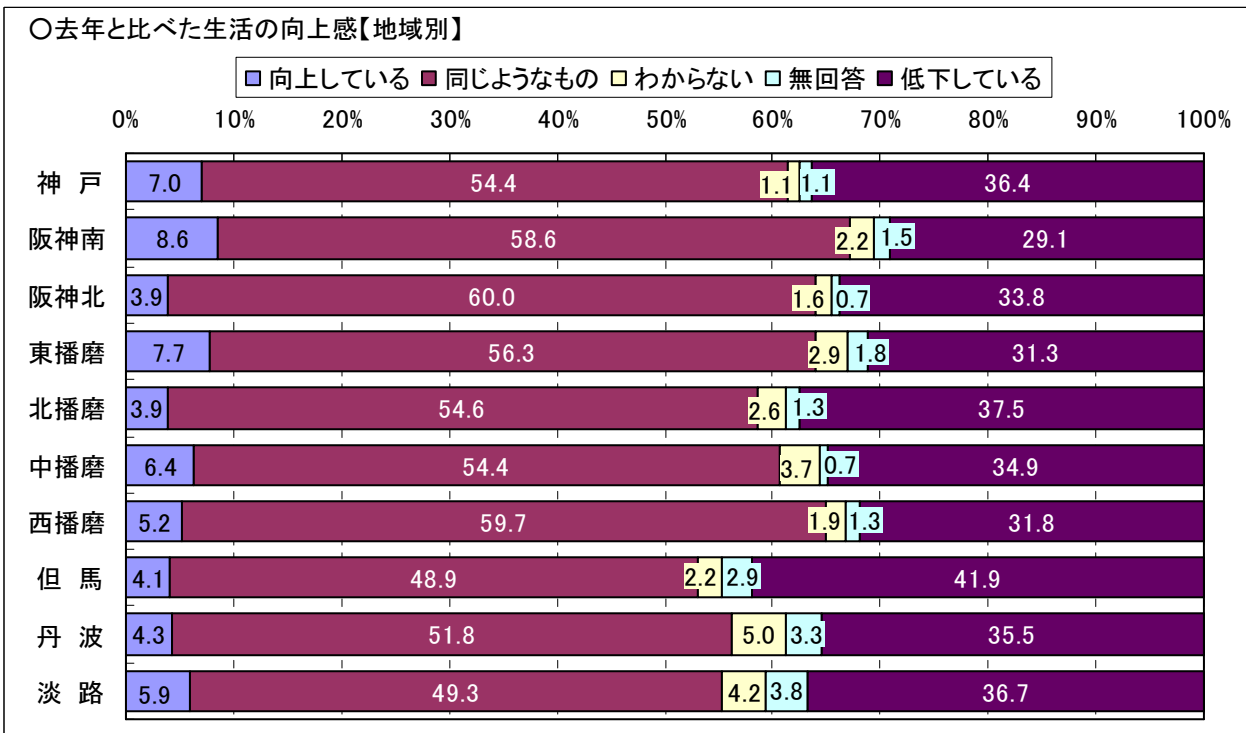
【参考：平成 22 年の全国調査】

- 内閣府が実施（平成 9～13 年は隔年実施）している「国民生活に関する世論調査」では、「同じようなもの」（68.8%）が 7 割弱、「低下している」（26.7%）が 2 割台半ば、「向上している」（4.0%）が 1 割未満となっている。前年より「同じようなもの」（+5.7ポイント）、「向上している」（+1.2ポイント）が増加し、「低下している」（-6.9ポイント）が減少し、本県調査と同様の傾向を示している。



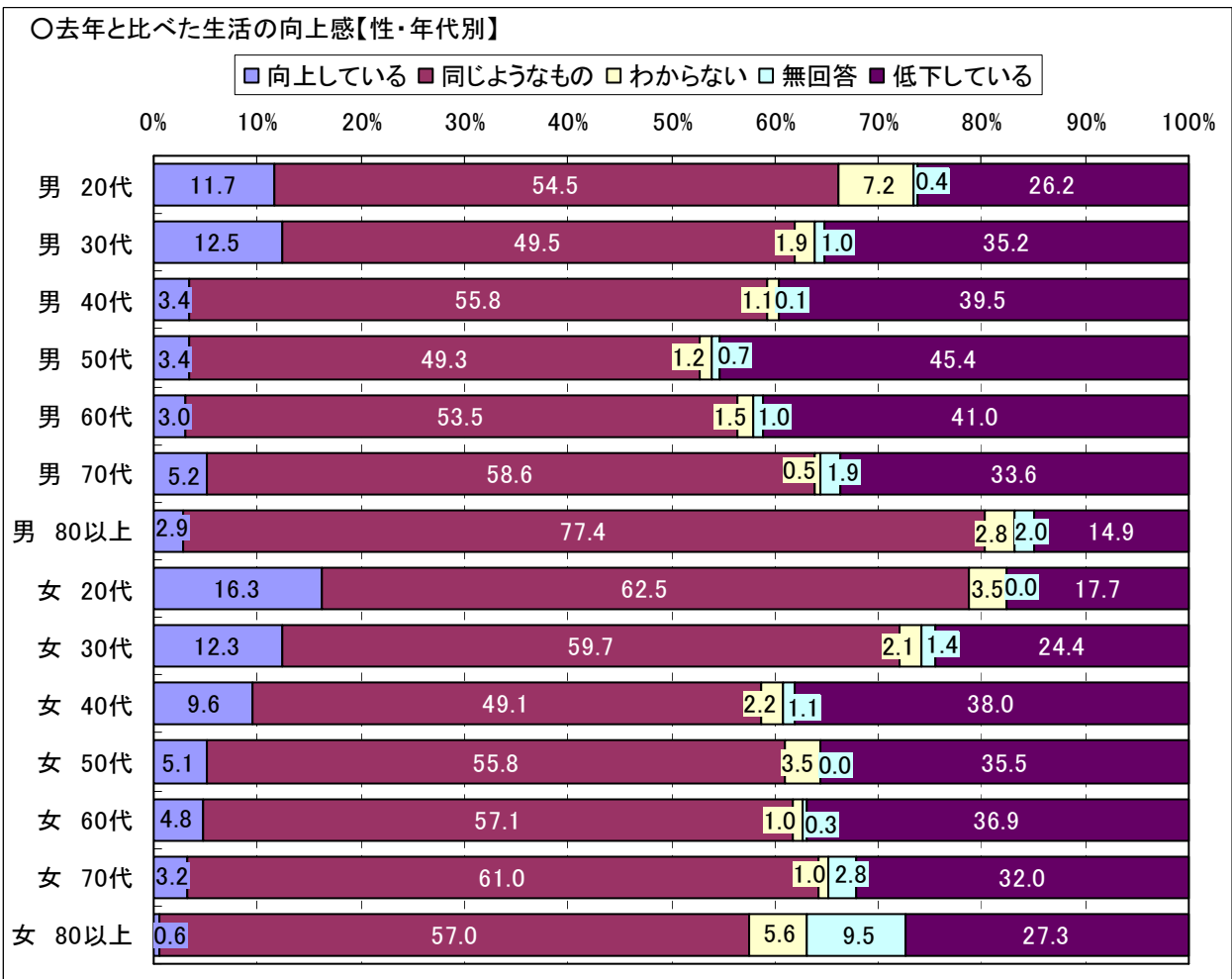
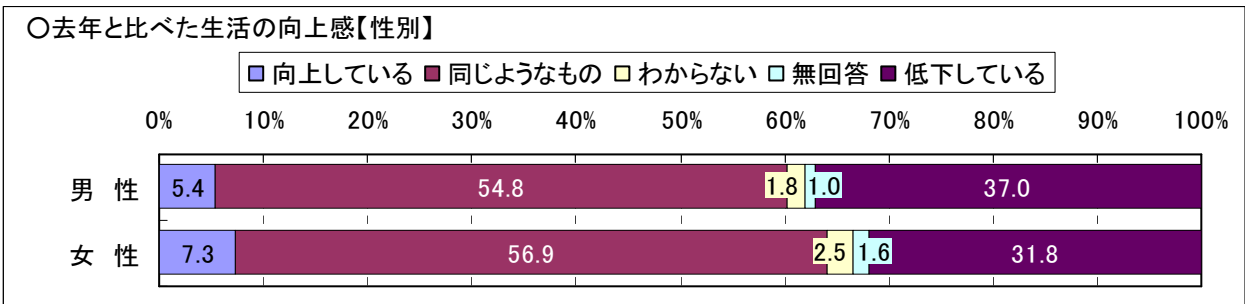
◆地域別

- 「向上している」は、最も多い阪神南(8.6%)、東播磨(7.7%)、神戸(7.0%)と続くが、いずれの地域も 1 割未満である。一方、「低下している」は、但馬(41.9%)で最も多く、阪神南(29.1%)で最も少なくなっており、12.8ポイントの差が生じている。



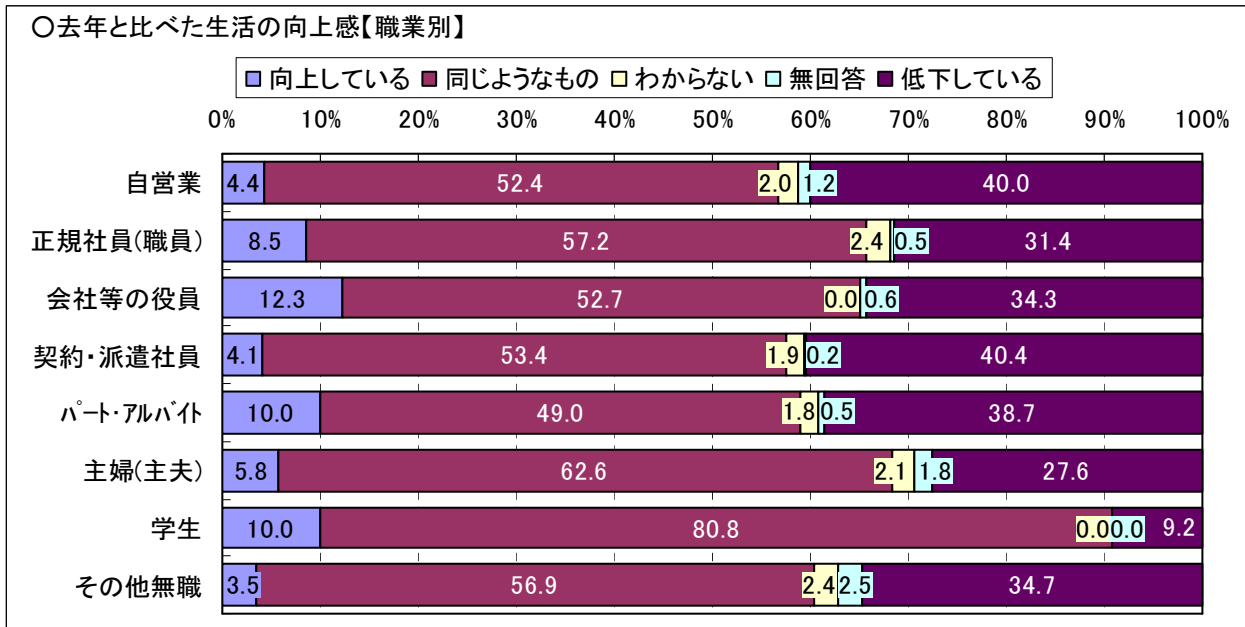
◆性別／性・年代別

- 性別で見ると、「低下している」が、男性(37.0%)、女性(31.8%)と男性がやや多くなっているが、男女で特段の差はない。
- 性・年代別で見ると、男性では、「向上している」は、30代(12.5%)、20代(11.7%)で1割を上回るが、40代以降はわずかとなっている。一方で「低下している」では、20代(26.2%)から徐々に増加し、50代(45.4%)を境に減少しはじめ、80歳以上(14.9%)で最も少なくなっている。
- 女性では、「向上している」は、20代(16.3%)が最も多く、30代(12.3%)、40代(9.6%)と徐々に減少し、最も少ないのは80歳以上(0.6%)となっている。一方で「低下している」では、最も少ない20代(17.7%)で2割を下回り、30代(24.2%)、80歳以上(27.3%)が2割台に止まっており、他の年代はいずれも3割台となっている。



◆職業別

- 職業別でみると、「向上している」は、会社等の役員(12.3%)が最も多く、パート・アルバイト(10.0%)と学生(10.0%)も1割に達しているが、他の職業は1割に満たず、その他無職(3.5%)が最も少なくなっている。
- 「低下している」では、契約・派遣社員(40.4%)、自営業(40.0%)で4割に及ぶ一方で、学生(9.2%)は1割を下回っている。



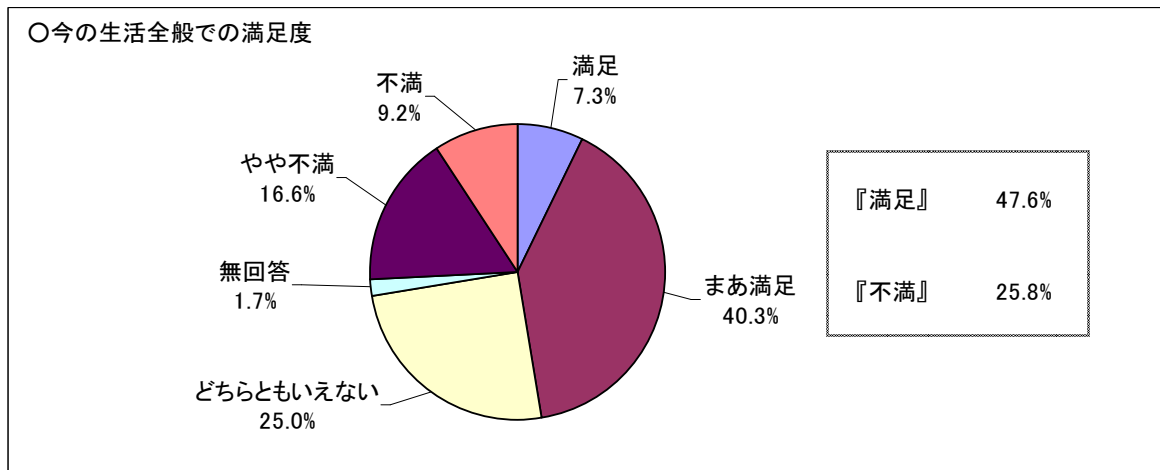
6 生活満足度

(1) 今の生活全般での満足度

問 14 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

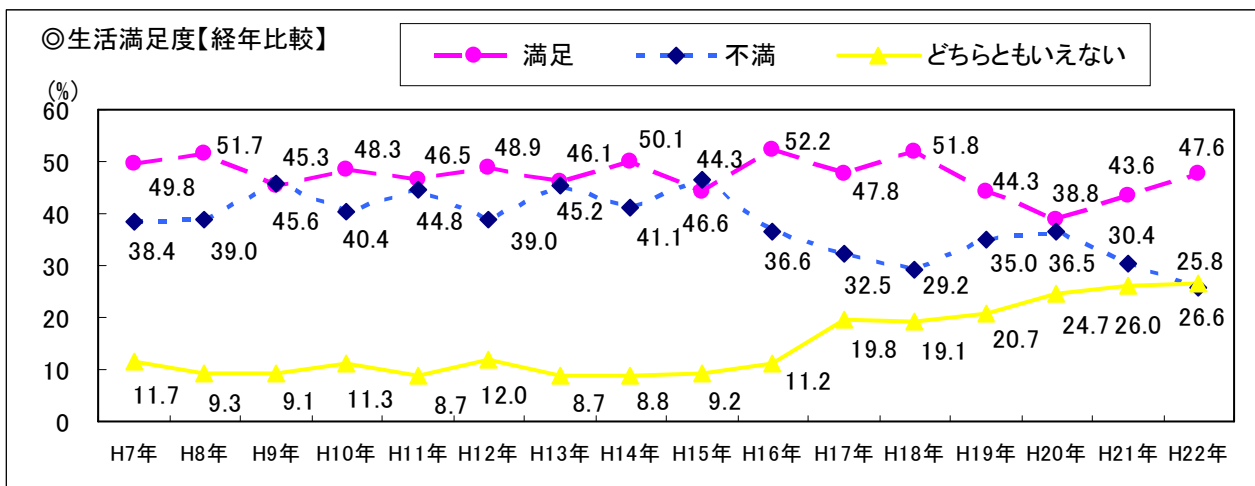
- 1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

- 生活全般に対する満足度では、「満足」(7.3%)と「まあ満足」(40.3%)を合わせた『満足』(47.6%)が4割台後半となっており、「不満」(9.2%)と「やや不満」(16.6%)を合わせた『不満』(25.8%)を21.8ポイント上回っている。



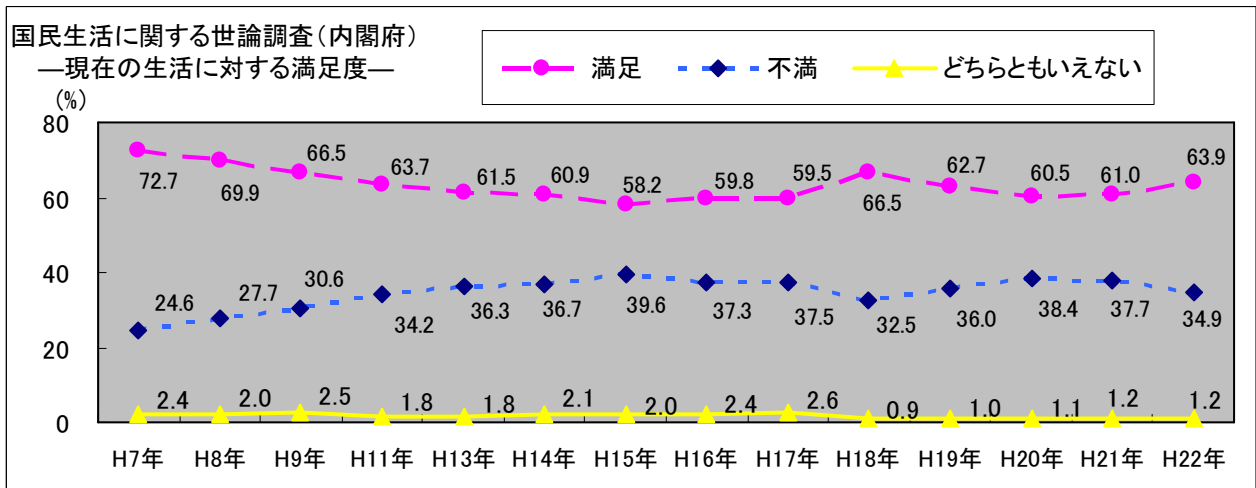
◆経年比較

- 『満足』は、前年より4.0ポイント増加(43.6%→47.6%)し、2年連続で増加している。一方、『不満』は、前年より4.6ポイント減少(30.4%→25.8%)し、過去最低となっている。
- また、「どちらともいえない(無回答含む)」は、前年より0.6ポイント増加(26.0%→26.6%)し、過去最高となっている。



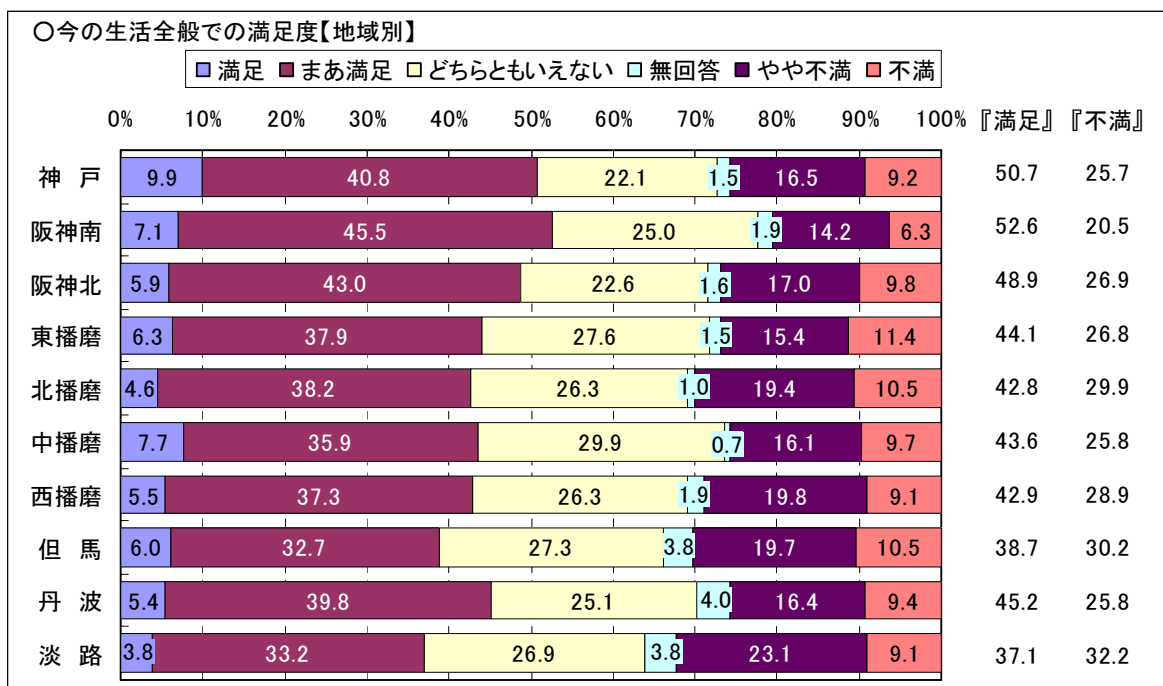
【参考：平成 22 年の全国調査】

- 内閣府が毎年(平成 9～13 年は隔年)実施している「国民生活に関する世論調査」では、「満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足』(63.9%)が、前年(61.0%)に引き続き増加している。一方、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』(34.9%)についても、引き続き減少しており、増減幅は本県調査結果の方が大きい、同様の傾向を示している。



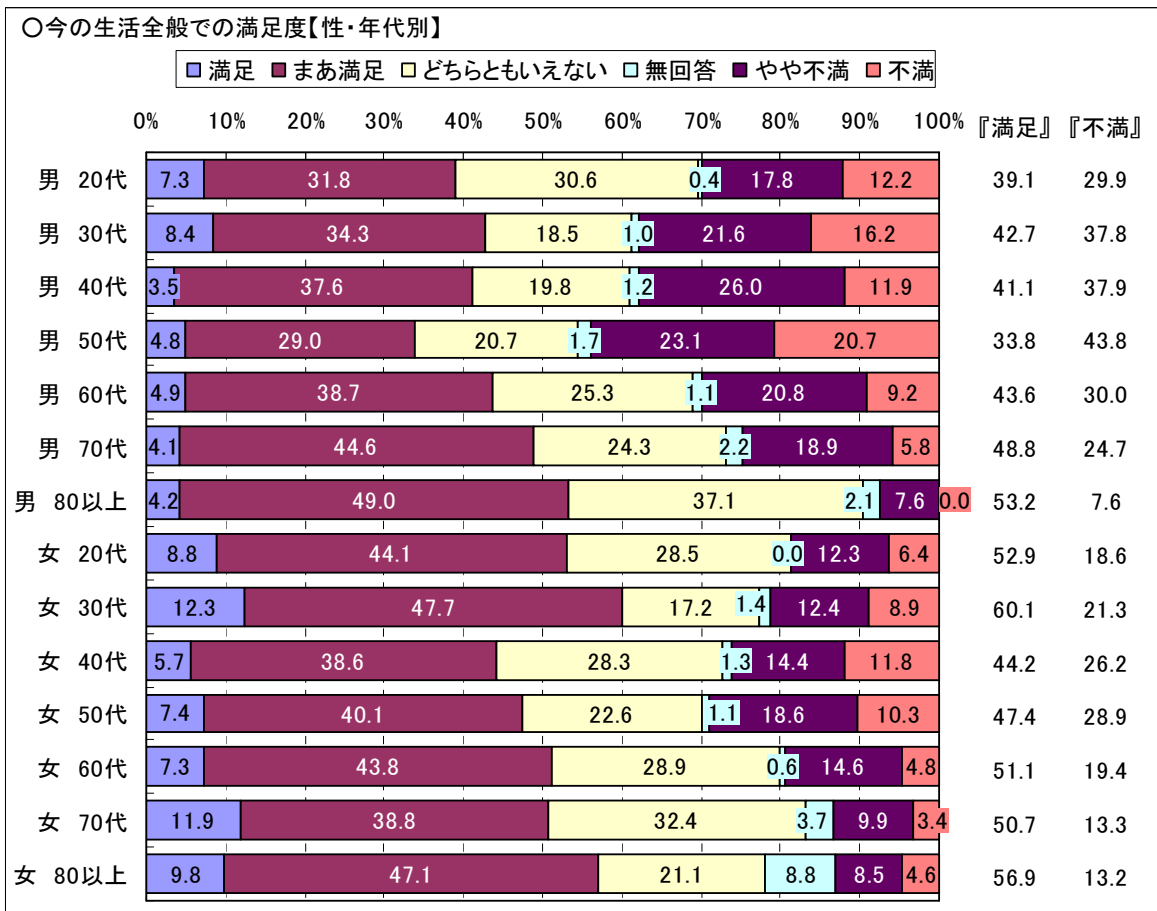
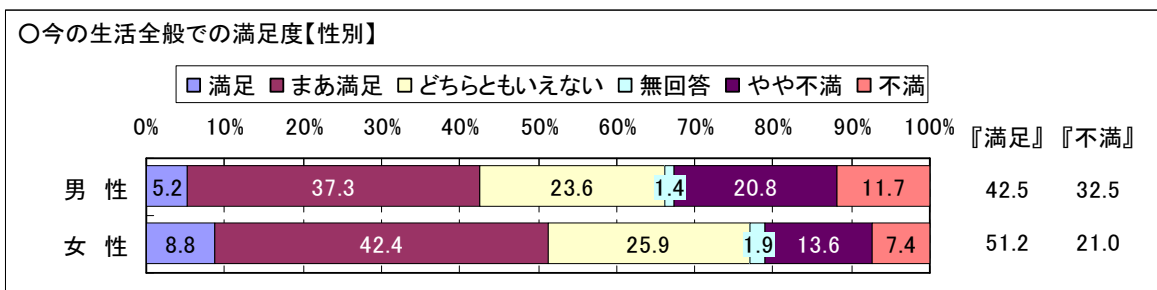
◆地域別

- 『満足』では、阪神南(52.6%)、神戸(50.7%)が5割を超え、阪神北(48.9%)、丹波(45.2%)など6地域が4割台で続いているが、淡路(37.1%)と但馬(38.7%)は3割台に止まっている。
- 一方、『不満』は、淡路(32.2%)、但馬(30.2%)が多く、その他の地域はいずれも2割台となっており、阪神南(20.5%)が最も少なくなっている。
- いずれの地域も『満足』が『不満』を上回っているが、『満足』と『不満』の差をみると、阪神南(32.1ポイント)が最も多く、神戸(25.0ポイント)、阪神北(22.0ポイント)でも20ポイントを超える差がみられる。他の地域では概ね10ポイント台後半の差の地域が多いが、淡路(4.9ポイント)、但馬(8.5ポイント)では10ポイント未満とその差は小さくなっている。



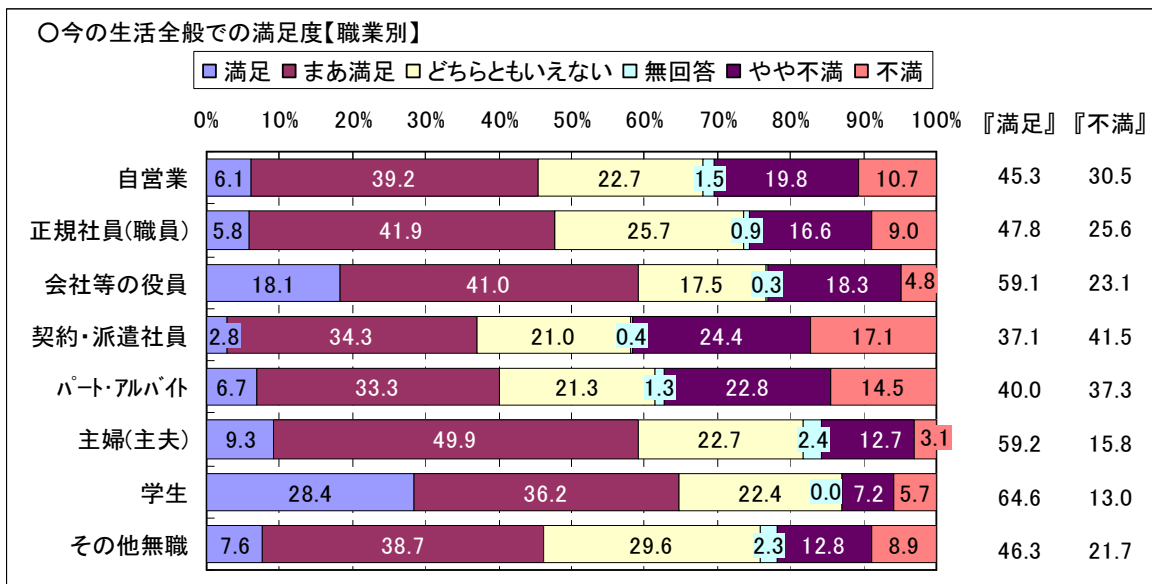
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』は男性(42.5%)より女性(51.2%)でやや多く、『不満』は女性(21.0%)より男性(32.5%)で多くなっている。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』で80歳以上(53.2%)が5割を超えるほか、70代(48.8%)、60代(43.6%)など4地域で4割を上回っているが、50代(33.8%)で最も少なくなっている。一方、『不満』では、50代(43.8%)が多く、40代(37.9%)、30代(37.8%)、60代(30.0%)で3割を超え、80歳以上(7.6%)で最も少なくなっている。
- 女性では、『満足』で30代(60.1%)が6割を超えるほか、20～30代及び60代以上でも5割を上回っているが、40代(44.2%)で最も低くなっている。一方、『不満』は30～50代で2割台と多いが、その他の世代では2割未満と少なくなっている。
- 『不満』が『満足』を上回っているのは、男性の50代のみである。



◆職業別

- 職業別でみると、『満足』は、学生(64.6%)で6割を超え、主婦(主夫)(59.2%)、会社等の役員(59.1%)も6割弱と多くなっているが、契約・派遣社員(37.1%)では3割台に止まる。一方、『不満』では、契約・派遣社員(41.5%)で4割を超え、パート・アルバイト(37.3%)、自営業(30.5%)も3割を上回りっているが、学生(13.0%)、主婦(主夫)(15.8%)では1割台に止まっている。
- 『不満』が『満足』を上回っているのは、契約・派遣社員のみである。



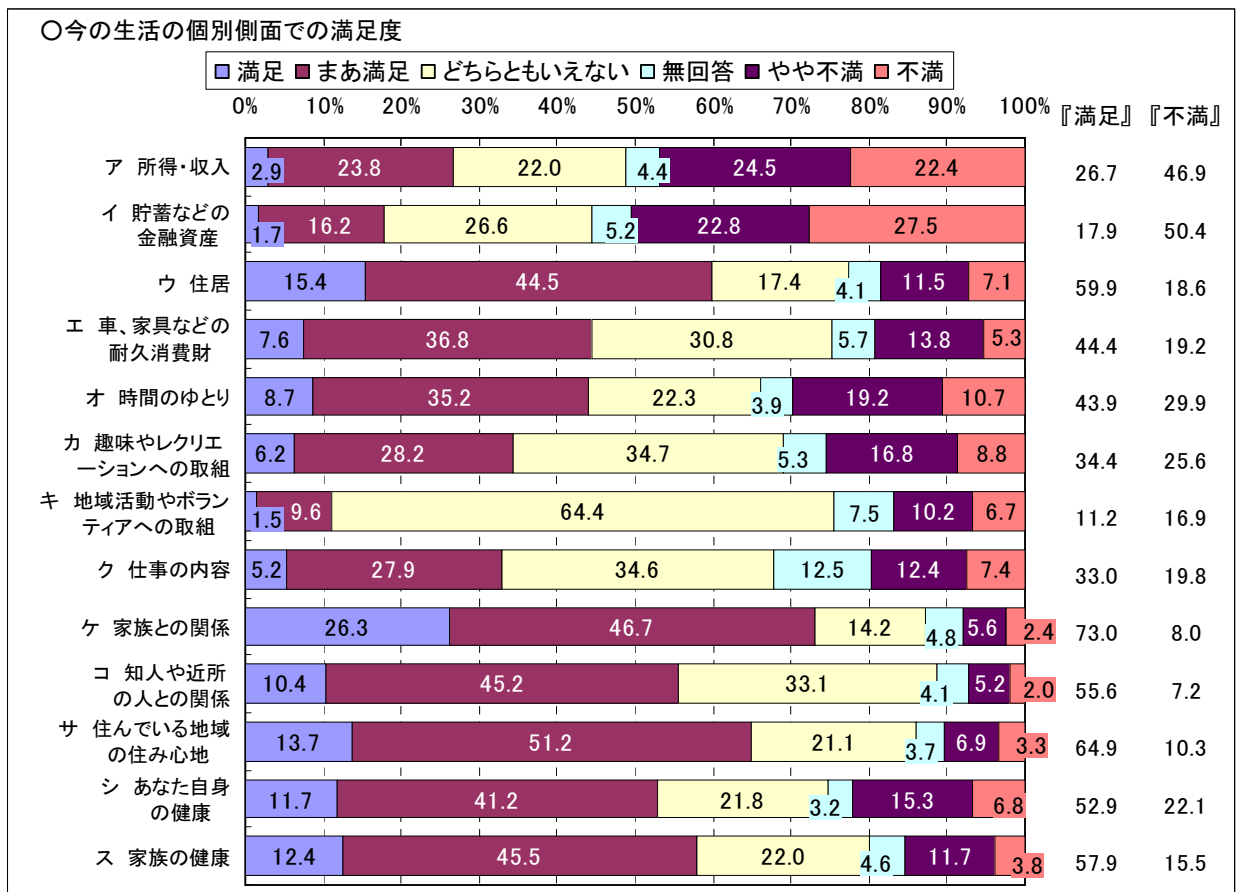
(2) 今の生活の個別側面での満足度

問 15 あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれどの程度満足していますか。ア～スの項目それぞれで1つ選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ア 所得・収入 | イ 貯蓄などの金融資産 |
| ウ 住居 | エ 車、家具などの耐久消費財 |
| オ 時間のゆとり | カ 趣味やレクリエーションへの取組 |
| キ 地域活動やボランティアへの取組 | ク 仕事の内容 |
| ケ 家族との関係 | コ 知人や近所の人との関係 |
| サ 住んでいる地域の住み心地 | シ あなた自身の健康 |
| ス 家族の健康 | |

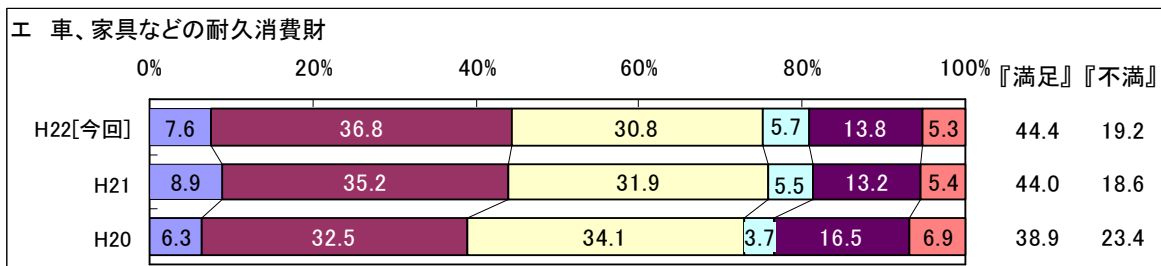
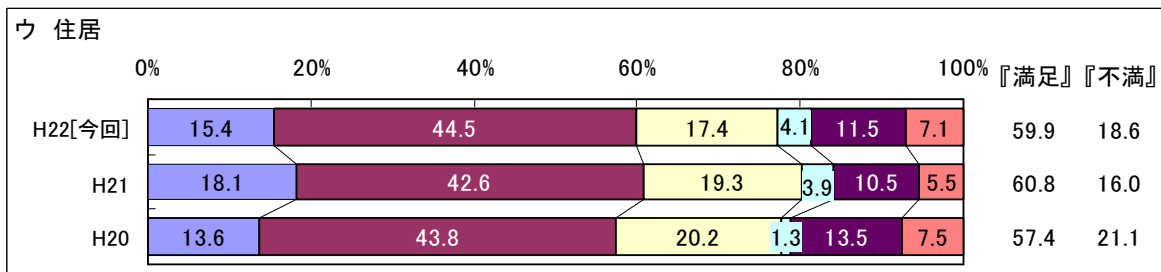
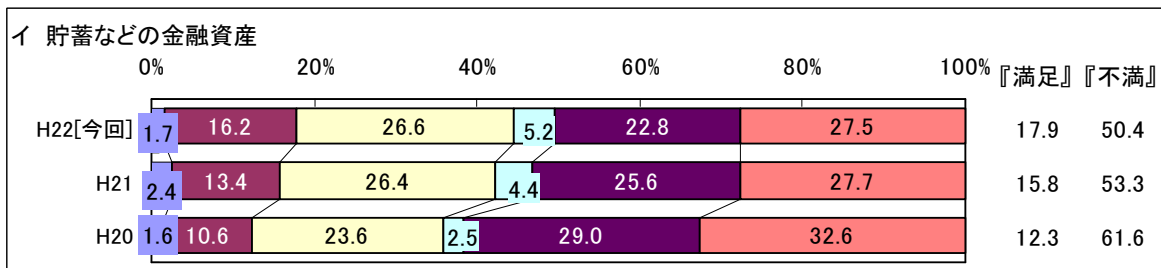
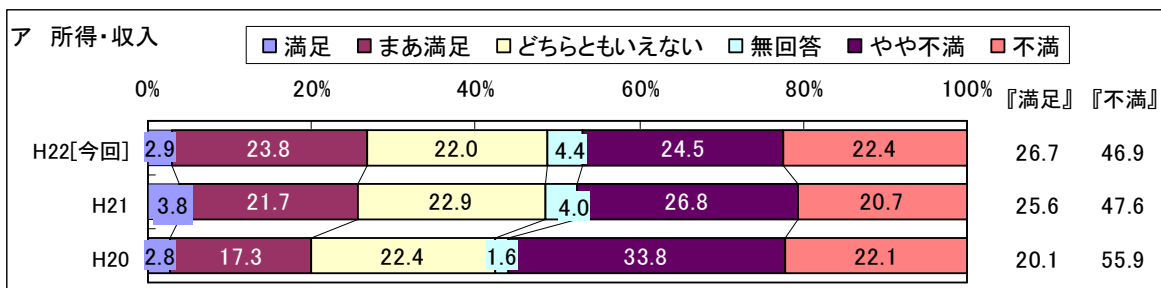
1 : 満足 2 : まあ満足 3 : どちらともいえない 4 : やや不満 5 : 不満

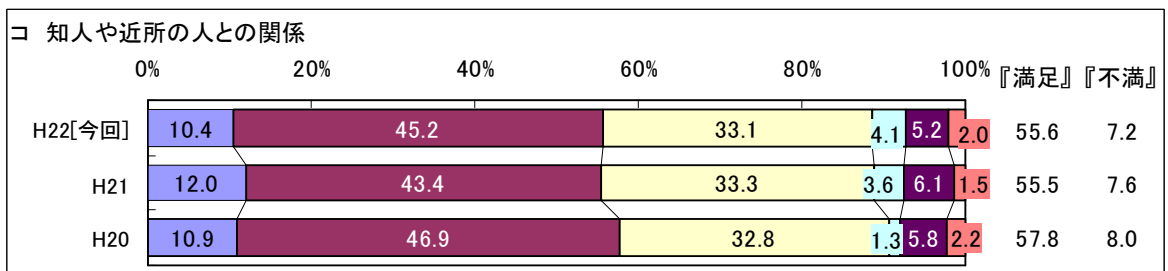
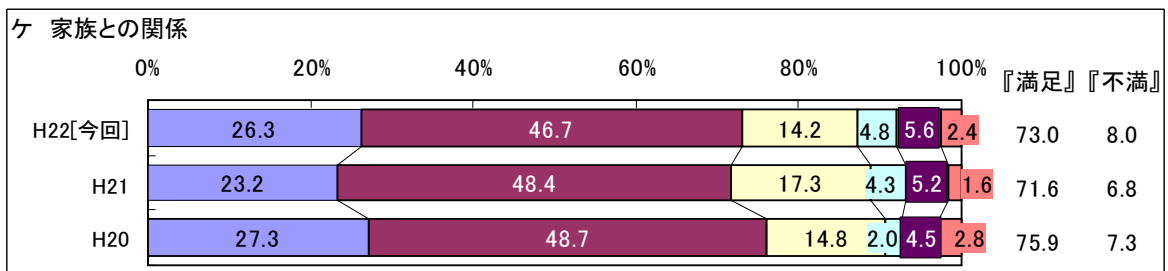
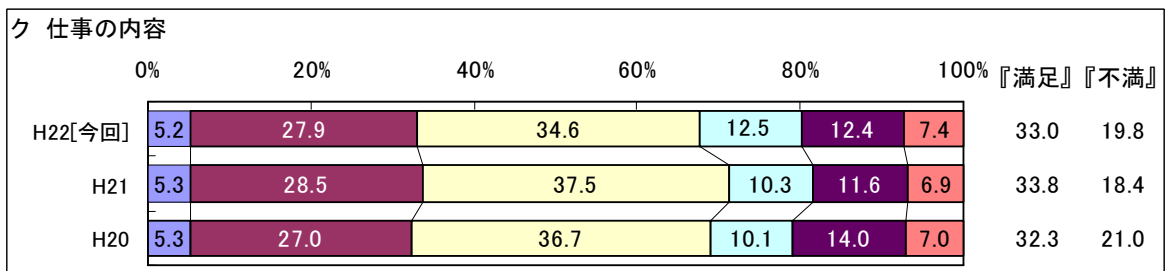
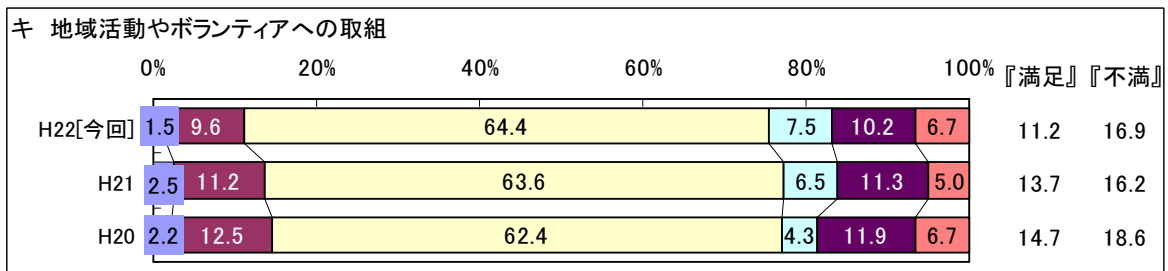
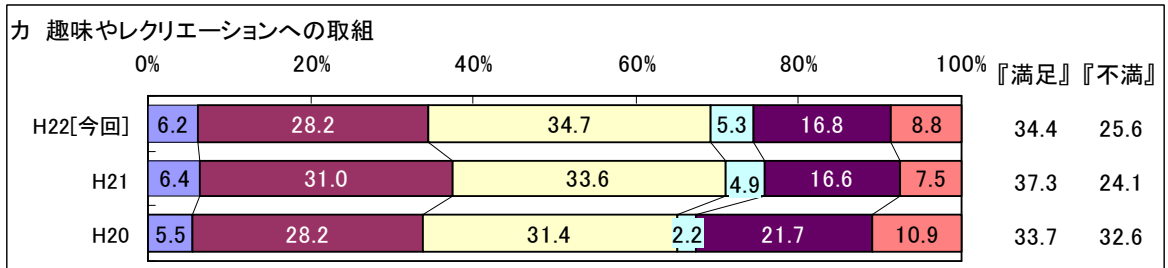
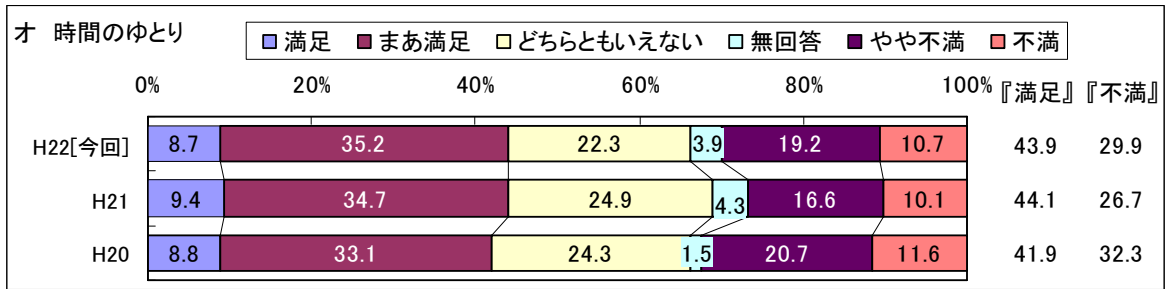
- 「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』では、「ケ 家族との関係」(73.0%)が最も多く7割を超え、「サ 住んでいる地域の住み心地」(64.9%)が6割台、「ウ 住居」(59.9%)、「ス 家族の健康」(57.9%)、「コ 知人や近所の人との関係」(55.6%)、「シ あなた自身の健康」(52.9%)の4項目で5割台となっている。一方、「ア 所得・収入」(26.7%)で2割台、「イ 貯蓄などの金融資産」(17.9%)は1割台に止まっている。
- 「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』では、「イ 貯蓄などの金融資産」(50.4%)が最も多く5割を超え、「ア 所得・収入」(46.9%)が4割台で続いているが、他の11項目では3割を下回っており、『不満』が『満足』を上回っているのは、「ア 所得・収入」、「イ 貯蓄などの金融資産」、「キ 地域活動やボランティアへの取組」の3項目である。
- また、「どちらともいえない」は、「キ 地域活動やボランティアへの取組」(64.4%)で6割を超えており、「カ 趣味やレクリエーションへの取組」(34.7%)、「ク 仕事の内容」(34.6%)を合わせた3項目で、「どちらともいえない」が『満足』や『不満』を上回っている。

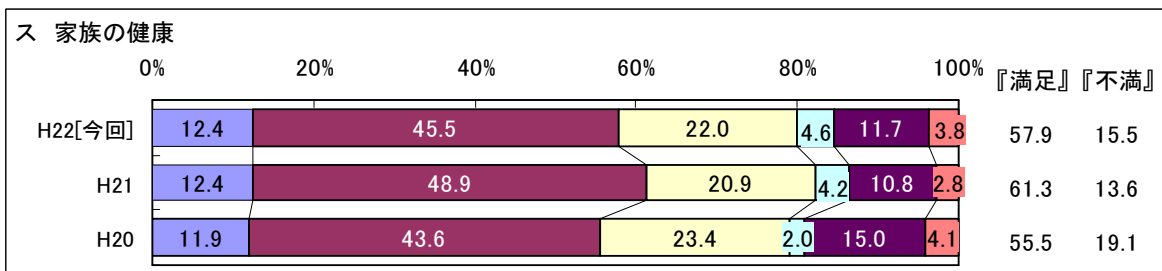
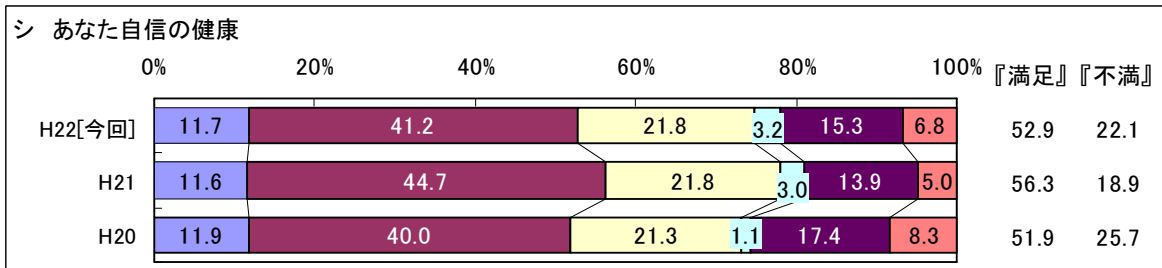
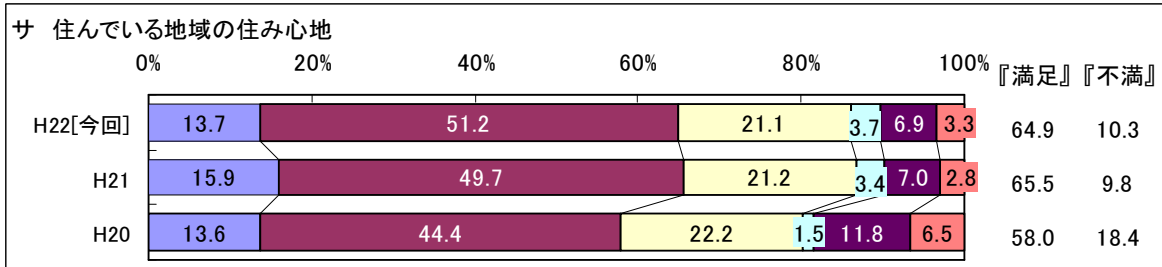


【参考：平成 20・21 年実施調査との比較】

- 平成 21 年に本県が実施した県民意識調査での結果と比較すると、『満足』で、全 13 項目中 5 項目で増加し 8 項目で減少している。最も増加したのは「イ 貯蓄などの金融資産」(15.8%→17.9% 2.1ポイント増)で、最も減少したのは「シ あなた自身の健康」(56.3%→52.9% 3.4ポイント減)と「ス 家族の健康」(61.3%→57.9% 3.4ポイント減)が同ポイントとなっている。
- 一方で、『不満』では、全 13 項目中 10 項目で増加し 3 項目で減少している。最も増加したのは「オ 時間のゆとり」(26.7%→29.9% 3.2ポイント増)と「シ あなた自身の健康」(18.9%→22.1% 3.2ポイント増)で同ポイント増加しており、最も減少したのは「イ 貯蓄などの金融資産」(53.3%→50.4% 2.9ポイント減)となっている。
- また、平成 20 年の同調査との比較では、『満足』で、全 13 項目中 10 項目で増加し 3 項目で減少している。最も増加したのは「サ 住んでいる地域の住み心地」(58.0%→64.9% 6.9ポイント増)で、最も減少したのは「キ 地域活動やボランティアへの取組」(14.7%→11.2% 3.5ポイント減)となっている。一方で、『不満』では、全 13 項目中 1 項目で増加し 12 項目で減少している。最も増加したのは「ケ 家族との関係」(7.3%→8.0% 0.7ポイント増)で、最も減少したのは「イ 貯蓄などの金融資産」(61.6%→50.4% 11.2ポイント減)となっている。



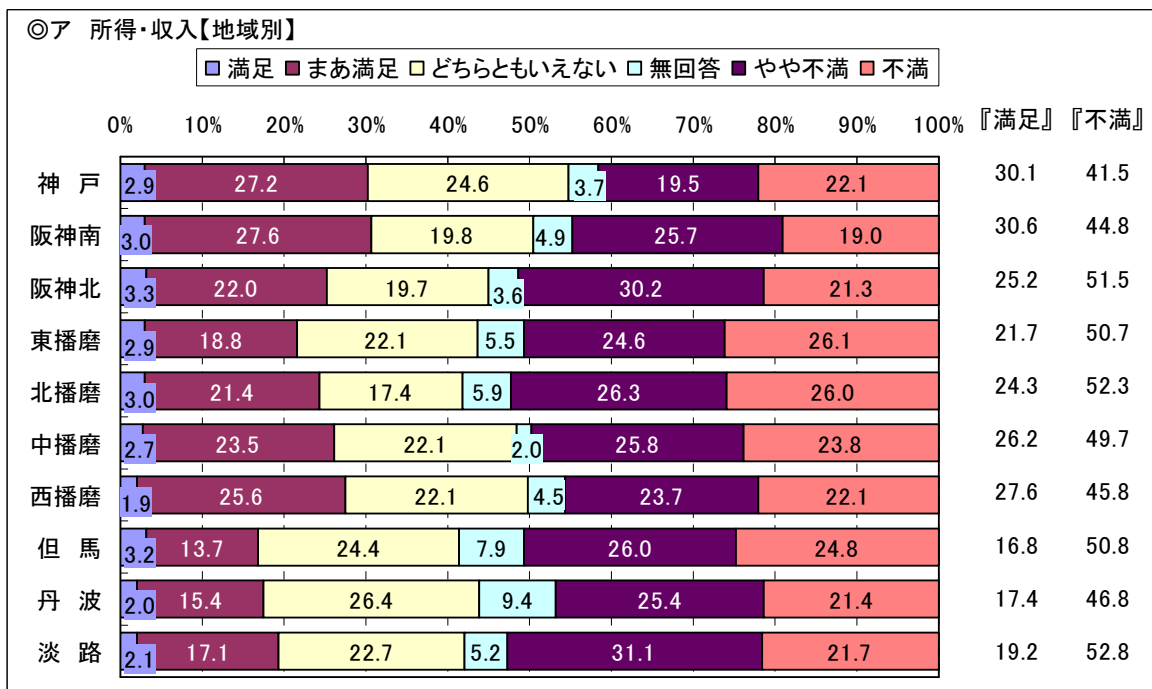




◎ア 所得・収入

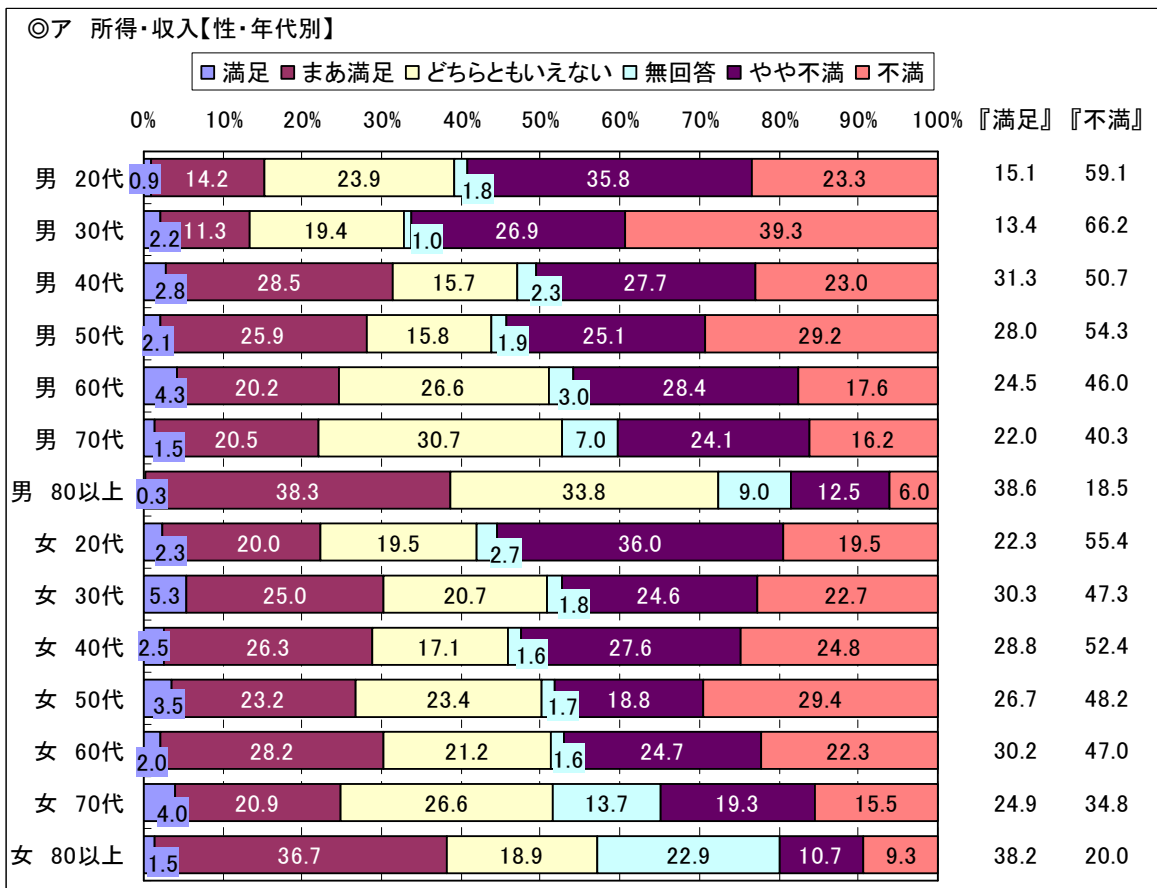
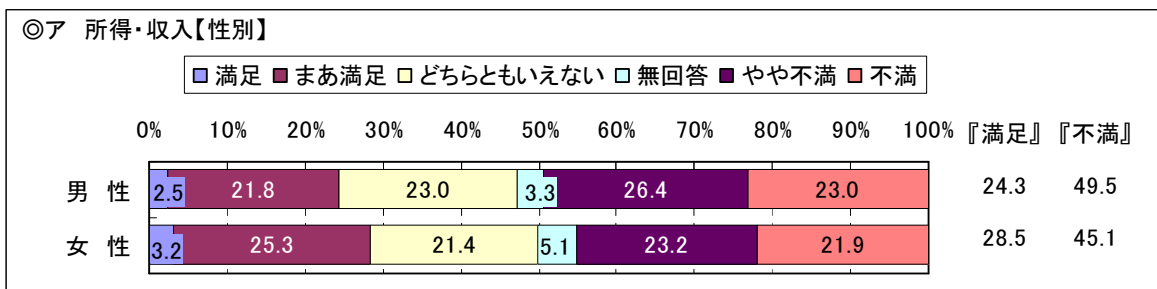
◆地域別

- 『満足』は、阪神南(30.6%)、神戸(30.1%)で3割を超えるが、西播磨(27.6%)はじめ5地域では2割台、最も少ない但馬(16.8%)を含む3地域で1割台となっている。
- 『不満』は、淡路(52.8%)、北播磨(52.3%)、阪神北(51.5%)、但馬(50.8%)、東播磨(50.7%)で5割を超え、他の5地域ではいずれも4割台となっており、神戸(41.5%)が最も少なくなっている。



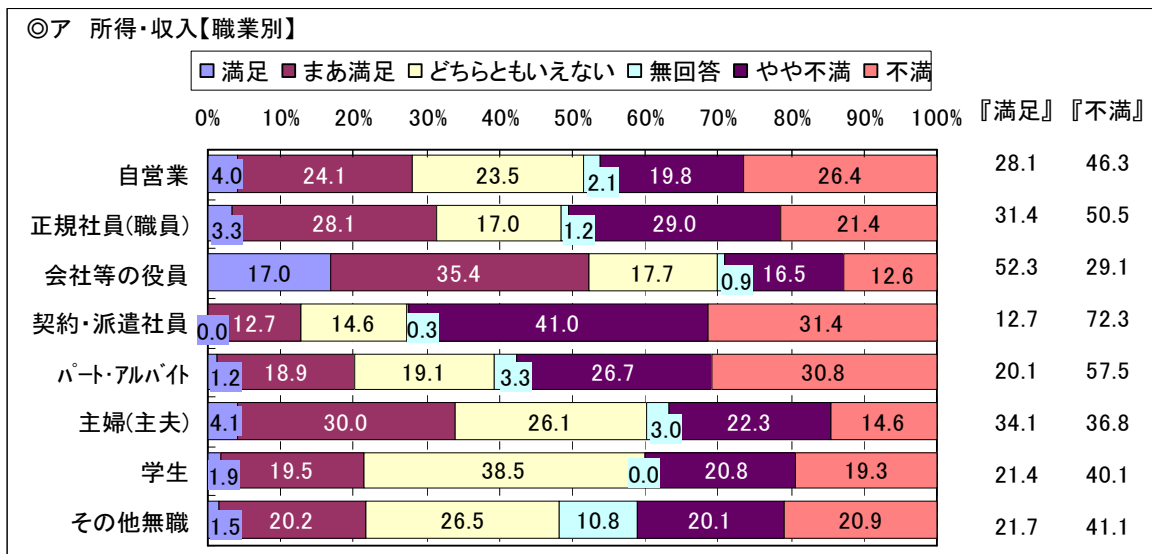
◆性別／性・年代別

- 性別で見ると、『満足』は男性(24.3%)より女性(28.5%)でやや多く、『不満』は女性(45.1%)より男性(49.5%)でやや多くなっている。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は80歳以上(38.6%)が3割後半で最も多く、40代(31.3%)も3割を超え、50～70代はいずれも2割台となっている中、20～30代は1割台となっている。一方で『不満』は、最も多い30代(66.2%)と20代(59.1%)で6割前後となり、40～50代で5割台、60～70代で4割台となっている中、80歳以上(18.5%)で2割を下回っている。
- 女性では、『満足』は、80歳以上(38.2%)が最も多く4割弱、次いで30代(30.3%)と60代(30.2%)で3割台となり、他の年代は2割台に止まっている。一方で『不満』は、20代(55.4%)と40代(52.4%)で5割を超え、50代(48.2%)、30代(47.3%)、60代(47.0%)が4割台で続いているが、最も少ない80歳以上(20.0%)で2割と少なくなっている。



◆職業別

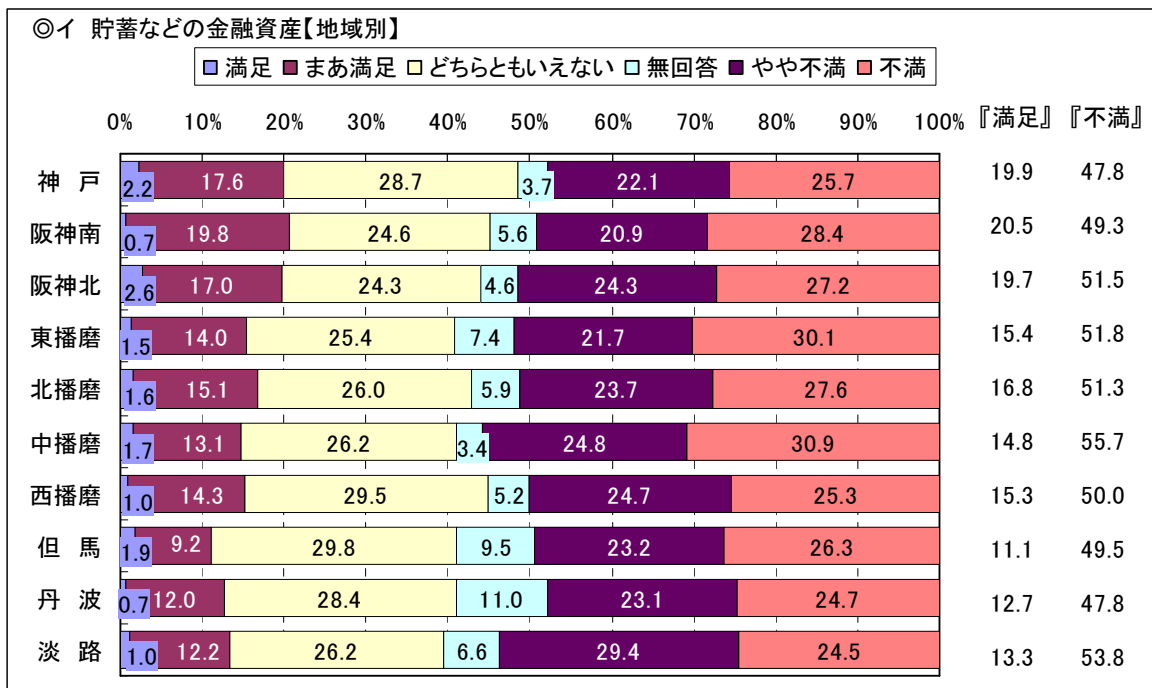
- 職業別でみると、『満足』で最も多いのは会社等の役員(52.3%)で、『満足』が『不満』を上回っている一方、契約・派遣社員(12.7%)は1割台と少なく、反対に『不満』が7割を上回っている。



◎イ 貯蓄などの金融資産

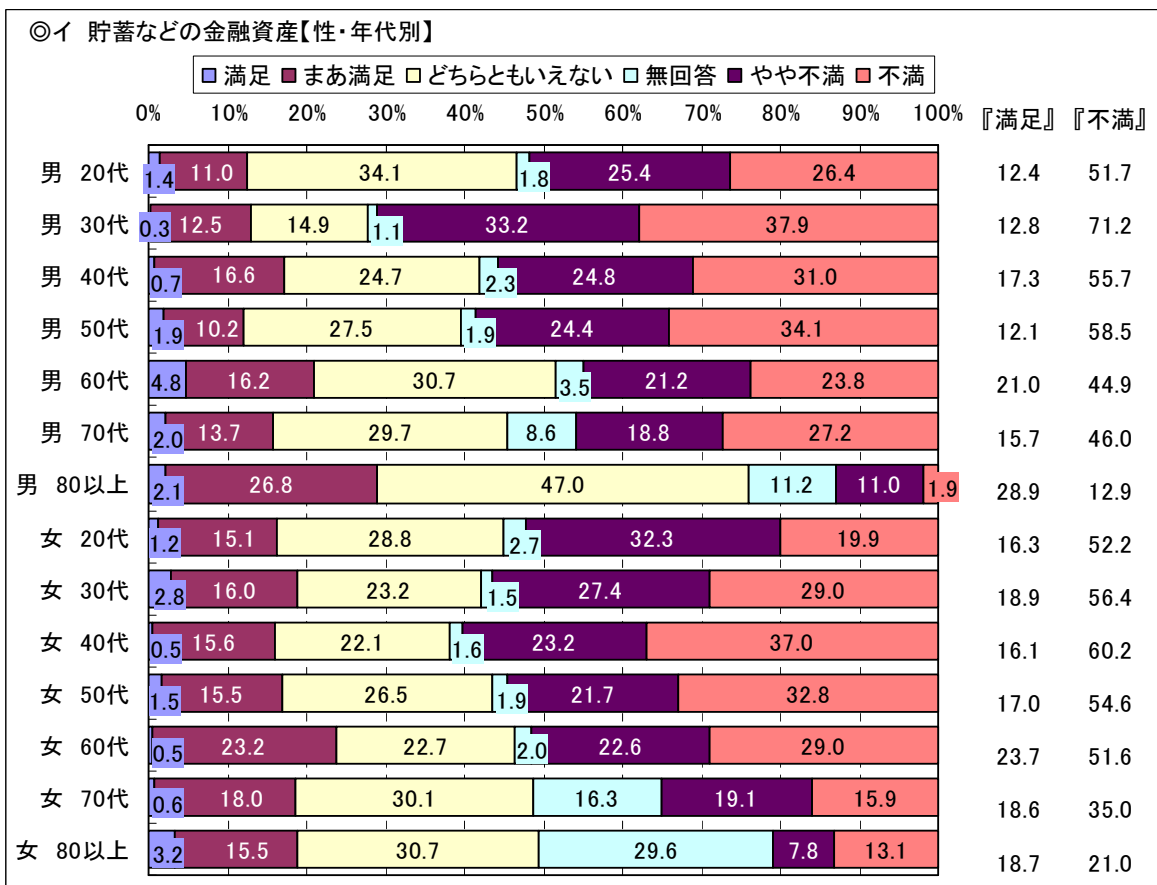
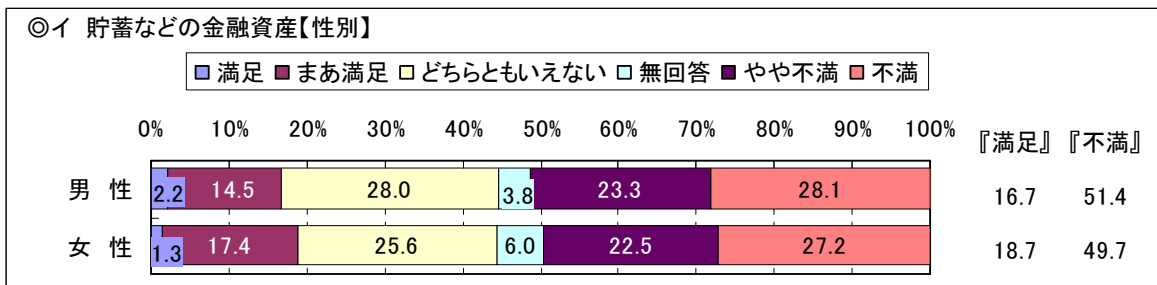
◆地域別

- 『満足』は阪神南(20.5%)で最も多く、神戸(19.9%)、阪神北(19.7%)と続き、但馬(11.1%)で最も少ない。反対に、『不満』は中播磨(55.7%)で最も多く、淡路(53.8%)はじめ5割前後が続き、神戸、丹波(ともに47.8%)が最も少ない。



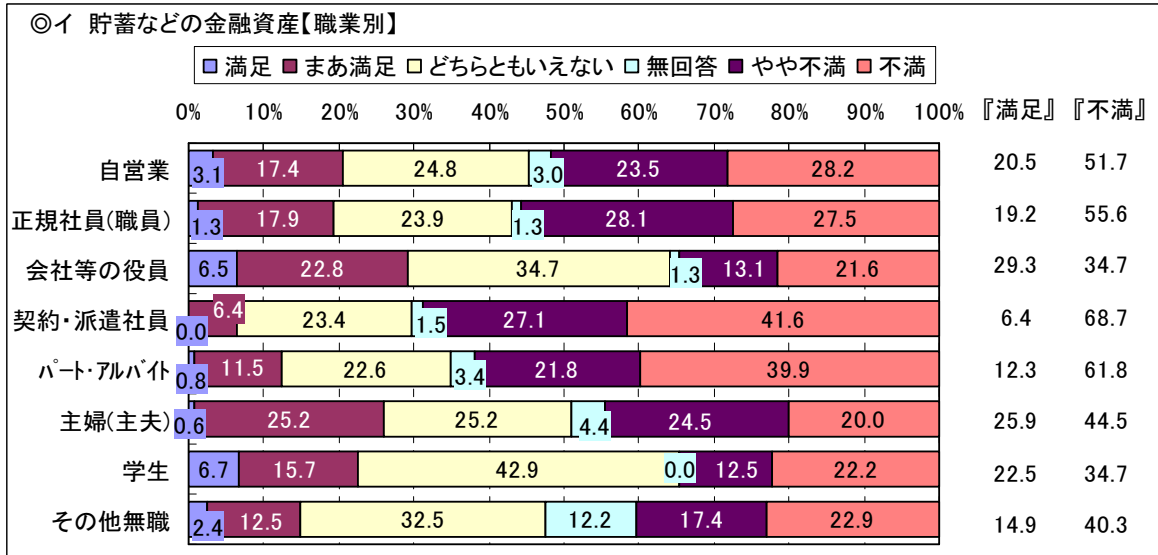
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』は男性(16.7%)より女性(18.7%)でやや多く、『不満』は女性(49.7%)より男性(51.4%)でやや多くなっている。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は80歳以上(28.9%)が3割弱で最も多く、60代(21.0%)も2割を超え、その他の年代はいずれも1割台となっている。一方で『不満』は、最も多い30代(71.2%)で7割を超え、50代(58.5%)、40代(55.7%)、20代(51.7%)が5割台、60～70代で4割台となる中、80歳以上(12.9%)で2割を下回っている。
- 女性では、『満足』は60代(23.7%)が最も多く2割を超え、30代(18.9%)はじめ他の年代は1割台後半に止まっている。一方で『不満』は、40代(60.2%)と6割を超え、20～30代、50～60代が5割台で続く中、80歳以上(21.0%)で約2割と少なくなっている。



◆職業別

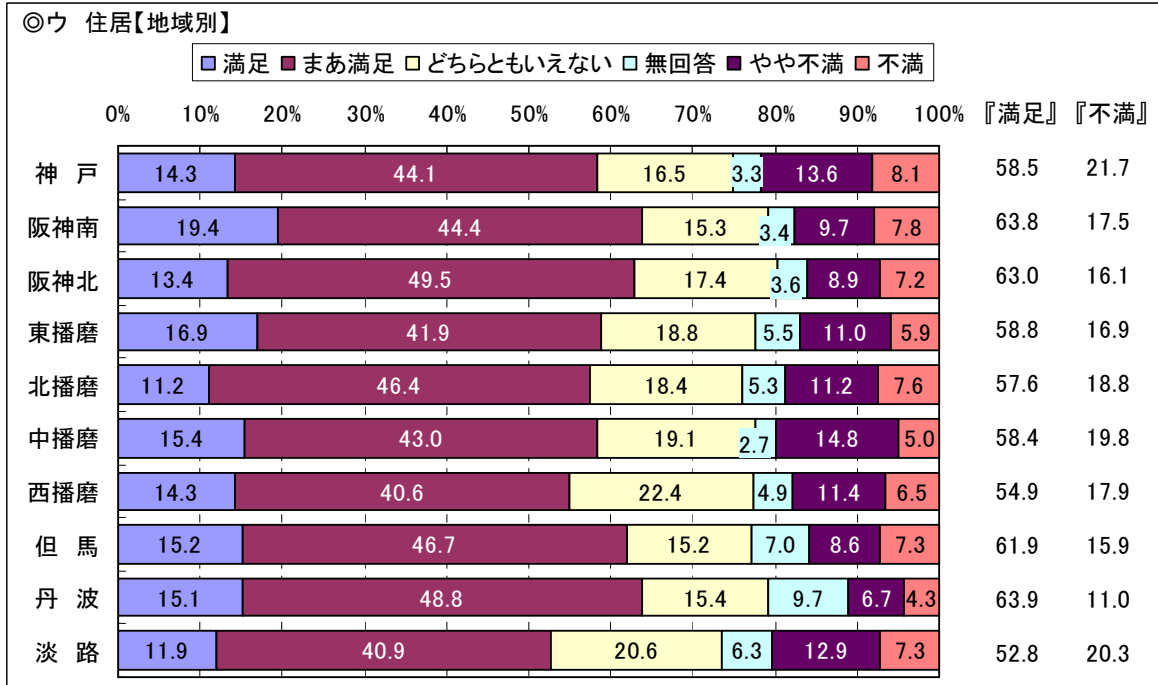
- 職業別でみると、『満足』は会社等の役員(29.3%)が最も多く約3割で、主婦(主夫)(25.9%)が2割台半ばで続く中、最も少ないのは契約・派遣社員(6.4%)で1割を下回る。逆に、『不満』は、契約・派遣社員(68.7%)で7割弱に及び、次いでパート・アルバイト(61.8%)が6割台で続いており、最も少ないのは会社等の役員、学生(ともに34.7%)となっている。



◎ウ 住居

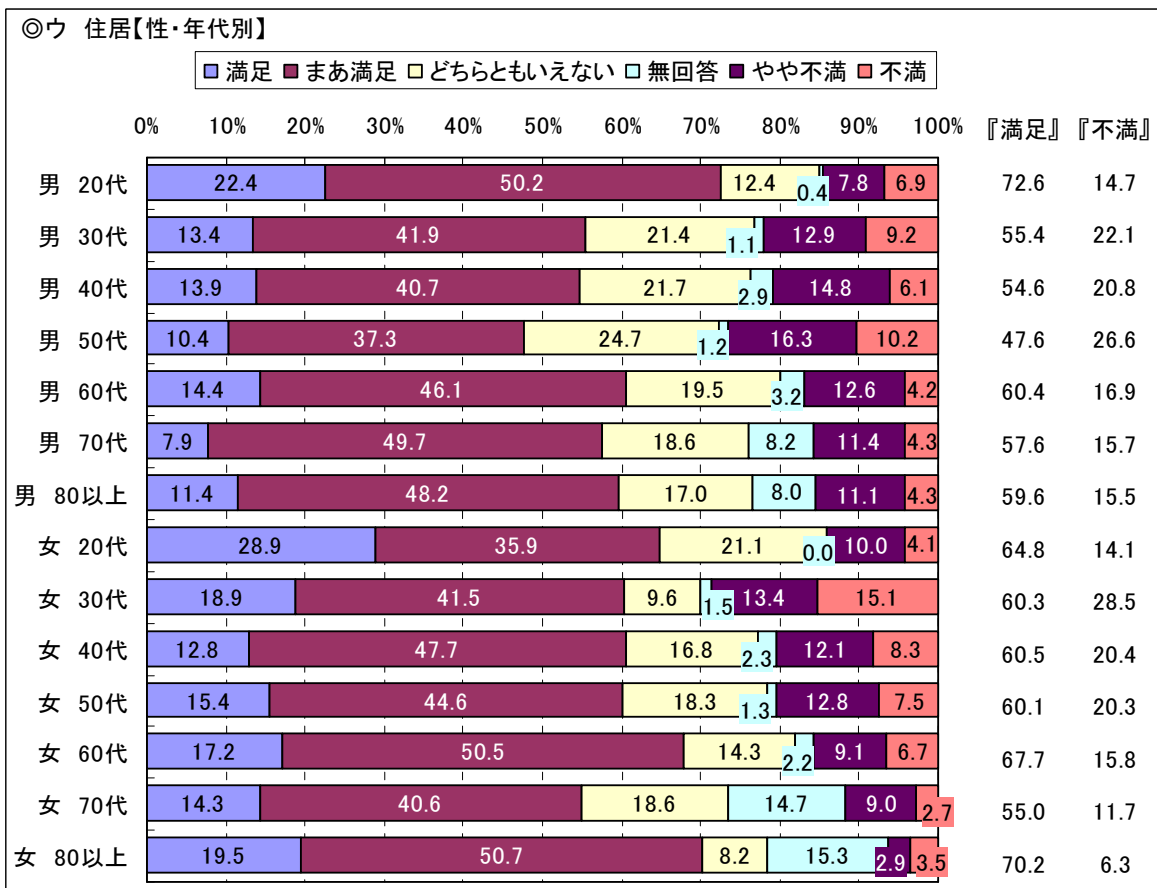
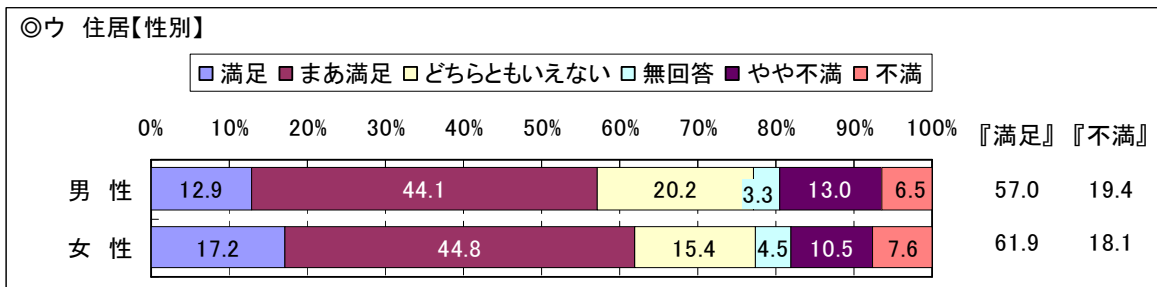
◆地域別

- 『満足』は丹波(63.9%)をはじめ、阪神南(63.8%)、阪神北(63.0%)、但馬(61.9%)が6割台で多く、最も少ない淡路(52.8%)も5割を超える。一方で、『不満』は神戸(21.7%)と淡路(20.3%)で2割を上回り、その他の地域はいずれも1割台で、丹波(11.0%)が最も少なくなっている。



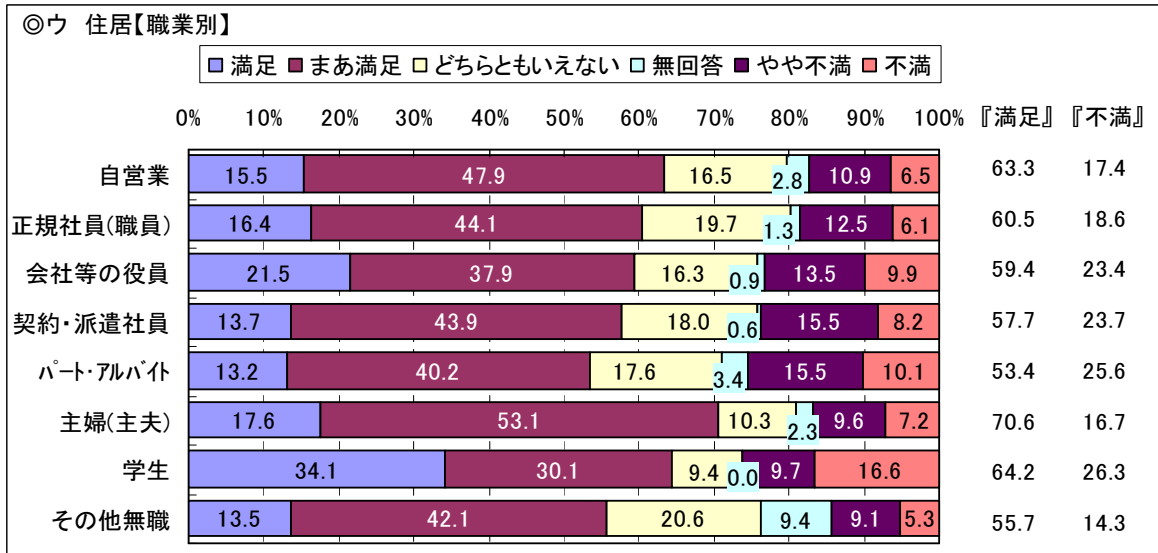
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』は男性(57.0%)より女性(61.9%)で多く、『不満』は女性(18.1%)より男性(19.4%)でやや多くなっている。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は20代(72.6%)が7割を超え最も多く、60代(60.4%)が約6割、70代～80歳以上で5割台後半と続いている。一方で『不満』は、50代(26.6%)で最も多く、30～40代で約2割と続き、20代(14.7%)で最も少なくなっている。
- 女性では、『満足』は80歳以上(70.2%)で7割を超え、20～60代で6割台がと続き、70代(55.0%)で最も少なくなっている。一方で『不満』は、30代(28.5%)で最も多く、年代が高くなるごとに少なくなり80歳以上(6.3%)で最も少なくなっている。



◆職業別

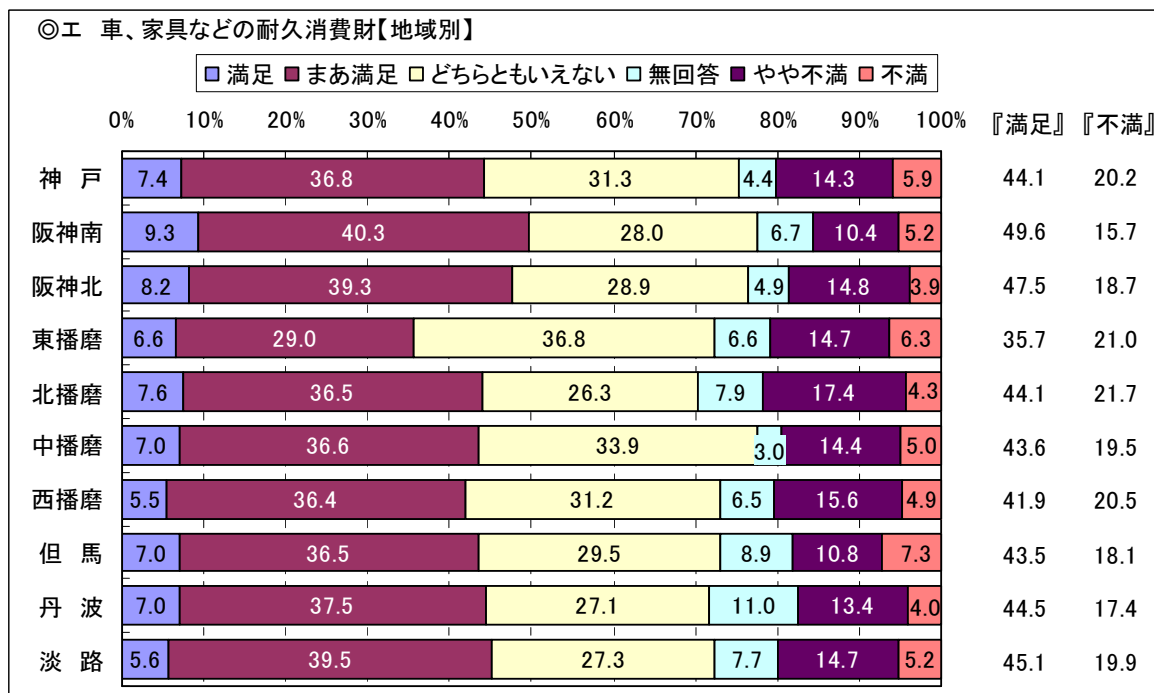
- 職業別でみると、『満足』は主婦（主夫）（70.6%）が7割を超え最も多く、最も少ないパート・アルバイト（53.4%）でも5割を上回っている。
- 一方、『不満』は、学生（26.3%）で、パート・アルバイト（25.6%）、契約・派遣社員（23.7%）、会社等の役員（23.4%）が続いており、最も少ないのはその他職業（14.3%）で1割台半ばとなっている。



◎エ 車、家具などの耐久消費財

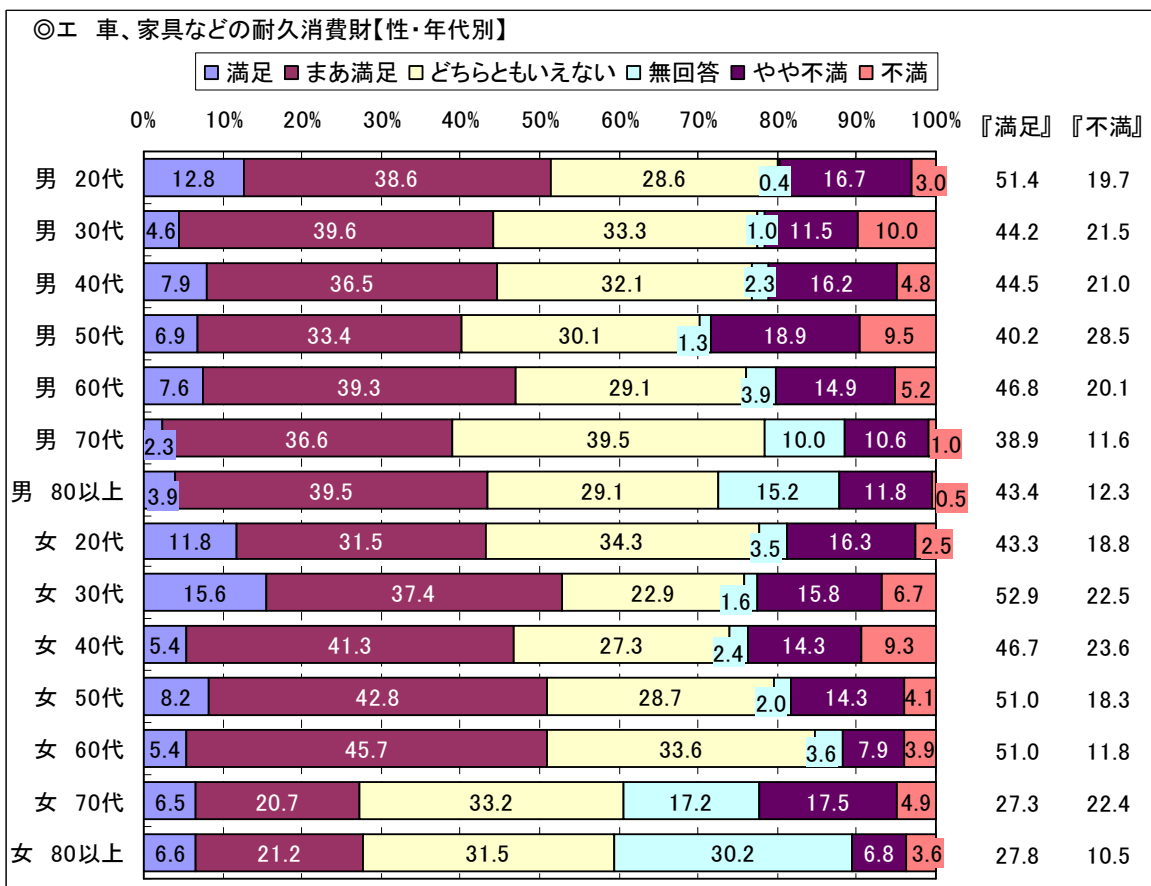
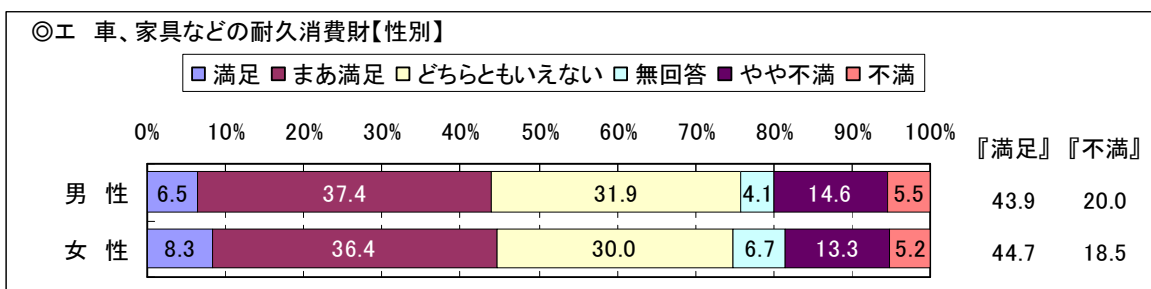
◆地域別

- 『満足』は、阪神南(49.6%)や阪神北(47.5%)など4割台の地域が多いが、最も少ない東播磨(35.7%)では3割台に止まっている。
- 一方、『不満』は、2割を超える北播磨(21.7%)、東播磨(21.0%)をはじめ、いずれの地域も概ね2割前後だが、阪神南(15.7%)では1割台半ばとやや少なくなっている。



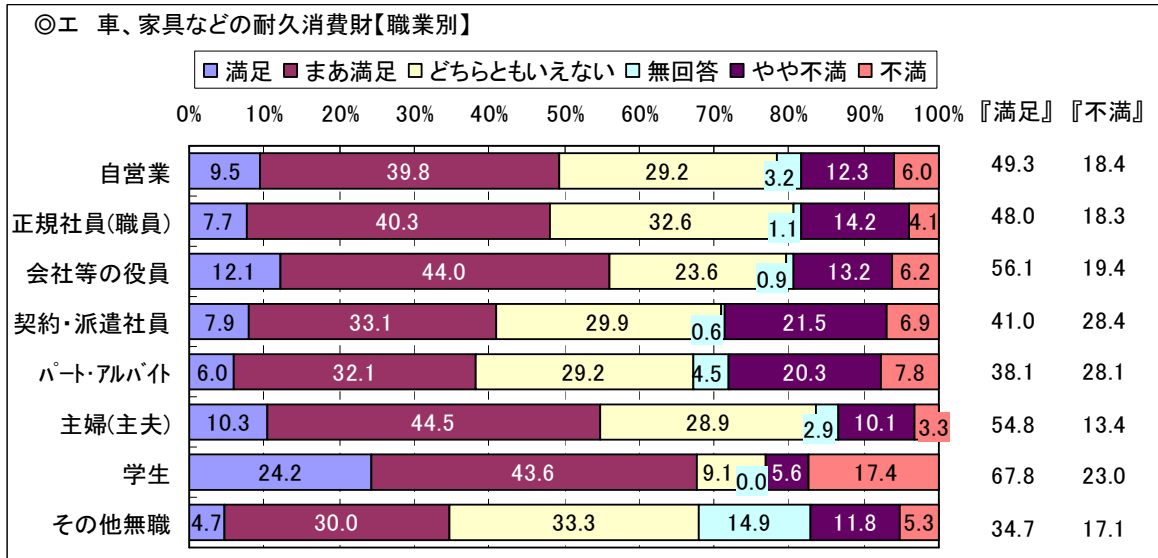
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』は男性(43.9%)より女性(44.7%)で多く、『不満』は女性(18.5%)より男性(20.0%)でやや多くなっている。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は、20代(51.4%)が最も多く、60代(46.8%)、40代(44.5%)など4割台で続いているが、70代(38.9%)は4割を下回っている。一方、『不満』は、50代(28.5%)が3割弱と最も多く、30代(21.5%)、40代(21.0%)、60代(20.1%)で約2割と続いているが、70代以上では約1割と少なくなっている。
- 一方、女性では、『満足』は、30代(52.9%)で最も多く、50代及び60代(ともに51.0%)も5割を超えているが、70代以上では3割を下回っている。一方、『不満』は、40代(23.6%)が最も多く、30代(22.5%)、70代(22.4%)が2割強で続いているが、60代と80歳以上では約1割と少なくなっている。



◆職業別

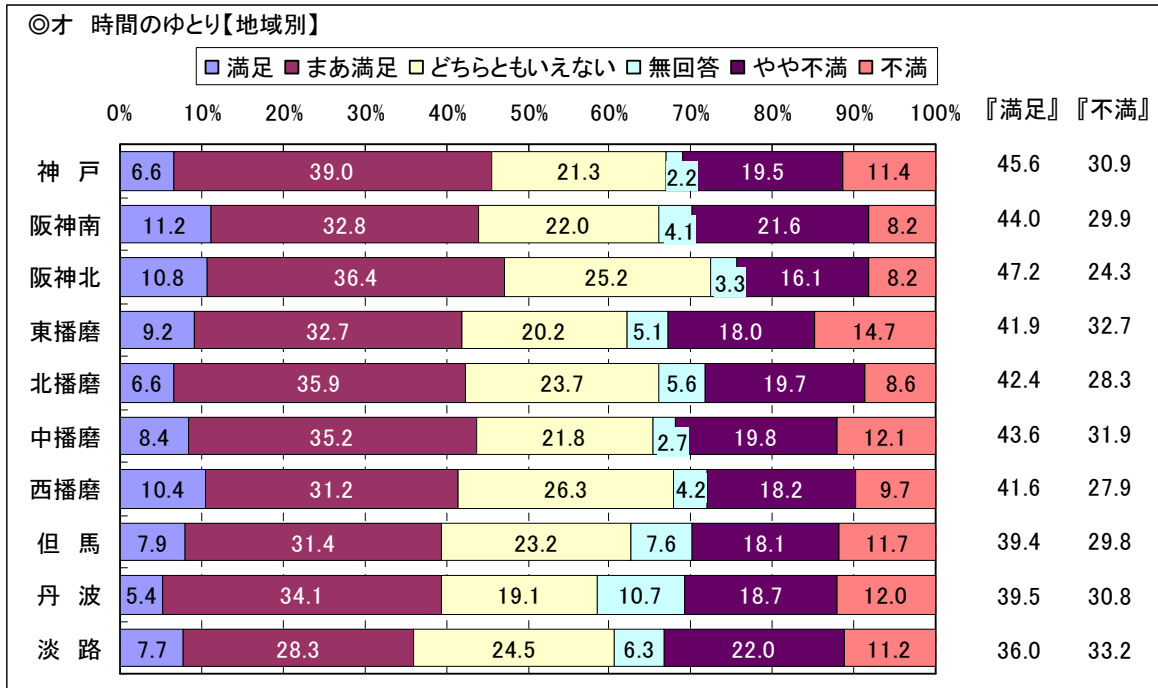
- 職業別でみると、『満足』は、学生(67.8%)が6割台後半で最も多く、会社等の役員(56.1%)と主婦(主夫)(54.8%)が5割台で続いているが、他の職業では5割を下回り、その他無職(34.7%)では3割台半ばとなっている。
- 一方、『不満』は、2割前後の職業が多くなっているが、契約・派遣社員(28.4%)とパート・アルバイト(28.1%)で多く、反対に主婦(主夫)(13.4%)が1割強と少なくなっている。



◎オ 時間のゆとり

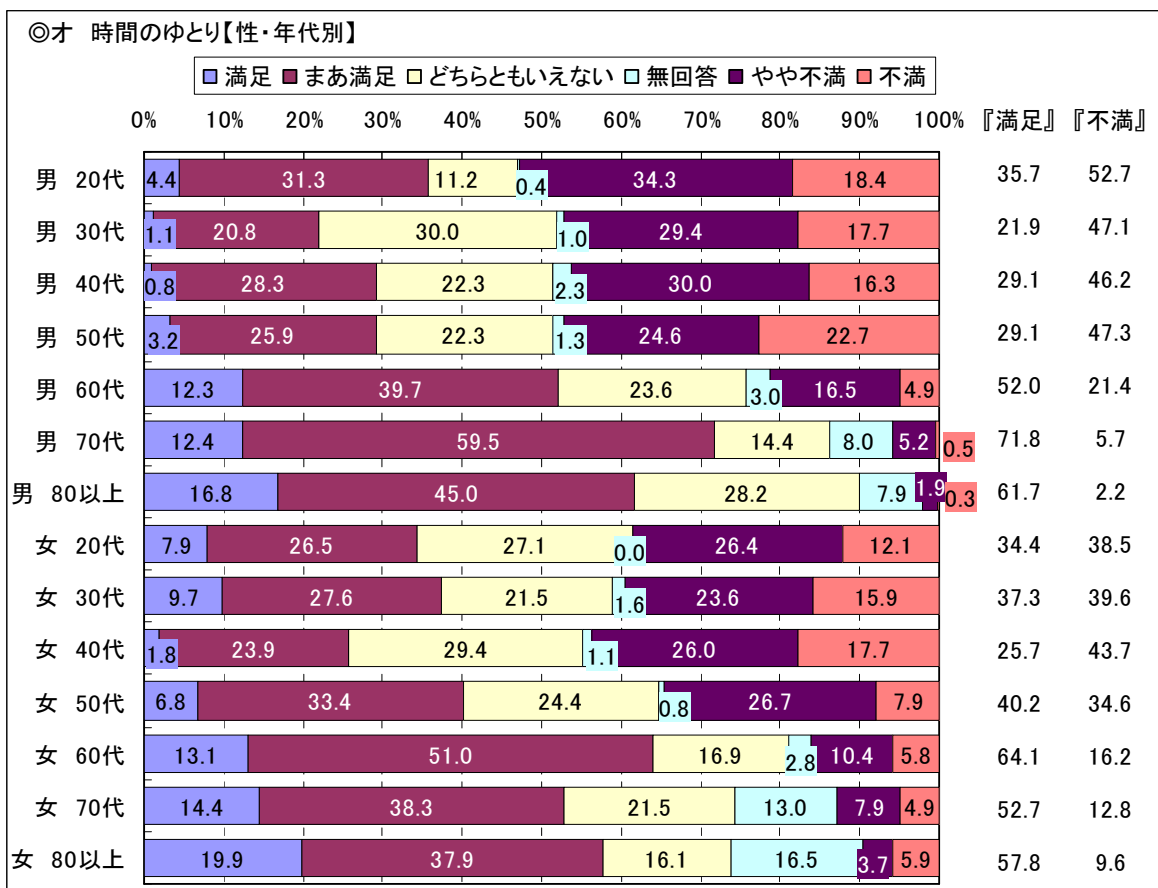
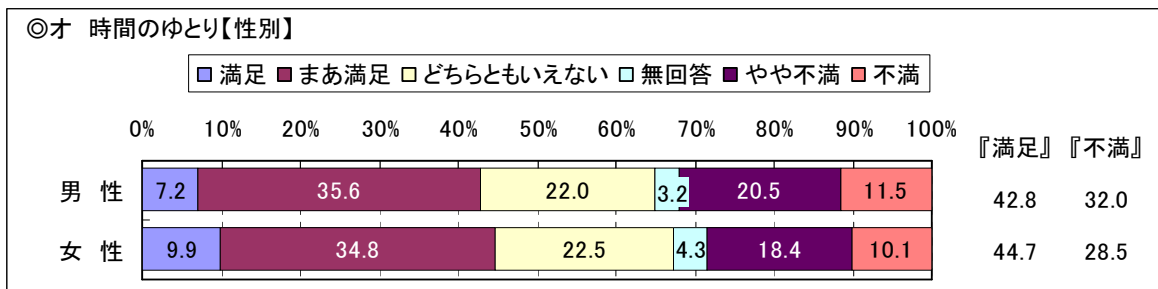
◆地域別

- 『満足』は、阪神北(47.2%)が最も多く、神戸(45.6%)、阪神南(44.0%)と続き、7地域が4割台であるが、最も少ない淡路(36.0%)をはじめ、3地域が4割を下回っている。
- 一方、『不満』は、最も多い淡路(33.2%)で3割強となっているが、いずれの地域も2割台半ば～3割前後となっている。



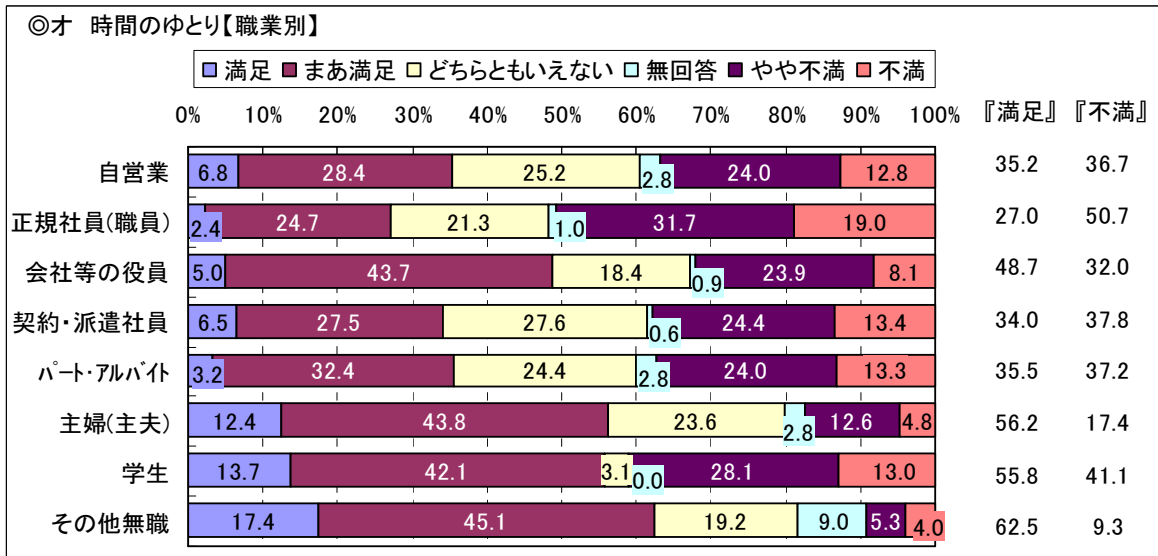
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』は、男性(42.8%)より女性(44.7%)で多く、『不満』は、女性(28.5%)より男性(32.0%)が多い。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は、70代(71.8%)が7割を超え、80歳以上(61.7%)で6割、60代(52.0%)で5割を超えるが、30～50代では2割台に止まる。また、『不満』では、20代(52.7%)が最も多く5割を超え、30～50代でも4割後半と多くなっている。
- 一方、女性では、『満足』は、60代(64.1%)で6割を超え、70代以上でも5割を超えているが、40代(25.7%)で最も少なく、30代以下でも3割台に止まる。また、『不満』では、40代(43.7%)で最も多く、30代以下で4割弱、50代でも3割台半ばとなっており、80歳以上では1割を下回っている。



◆職業別

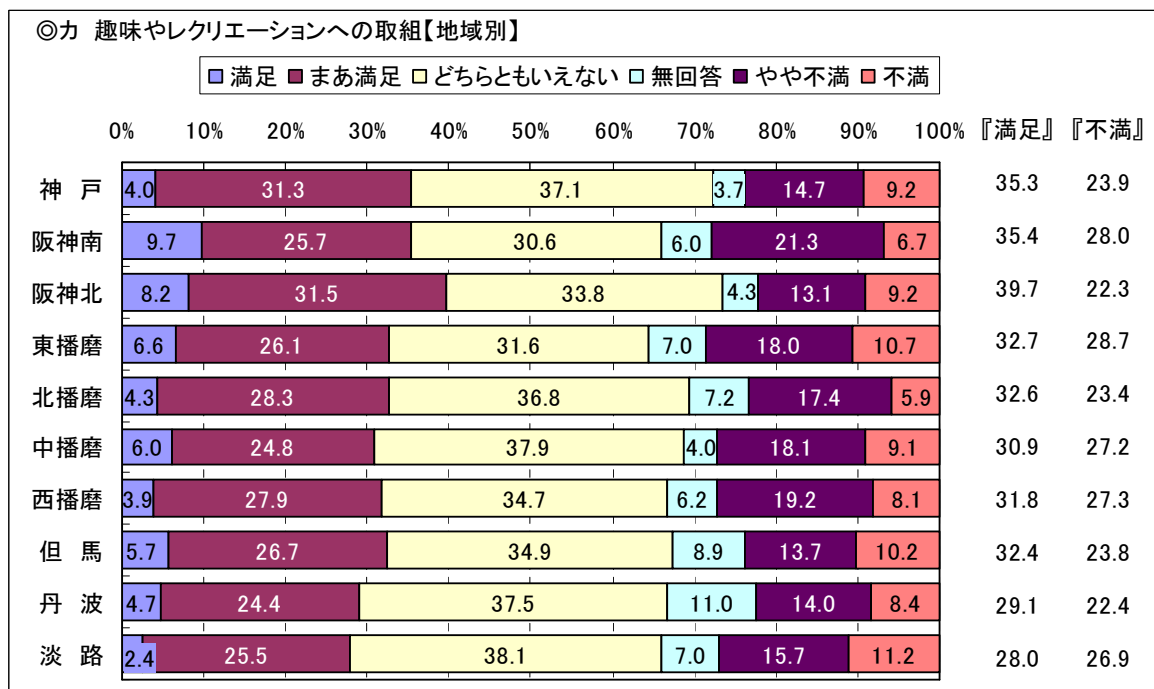
- 職業別で見ると、『満足』は、その他無職(62.5%)で6割を超え、主婦(主夫)(56.2%)、学生(55.8%)も5割を超えている。他の職業も3割台が多くみられるが、正規社員(職員)(27.0%)は3割を下回っている。
- 『不満』では、正規社員(職員)(50.7%)で5割を超え、学生(41.1%)も4割を超えている。他の職業も3割台が多くみられる一方で、その他無職(9.3%)が1割を下回り少なくなっている。



◎カ 趣味やレクリエーションへの取組

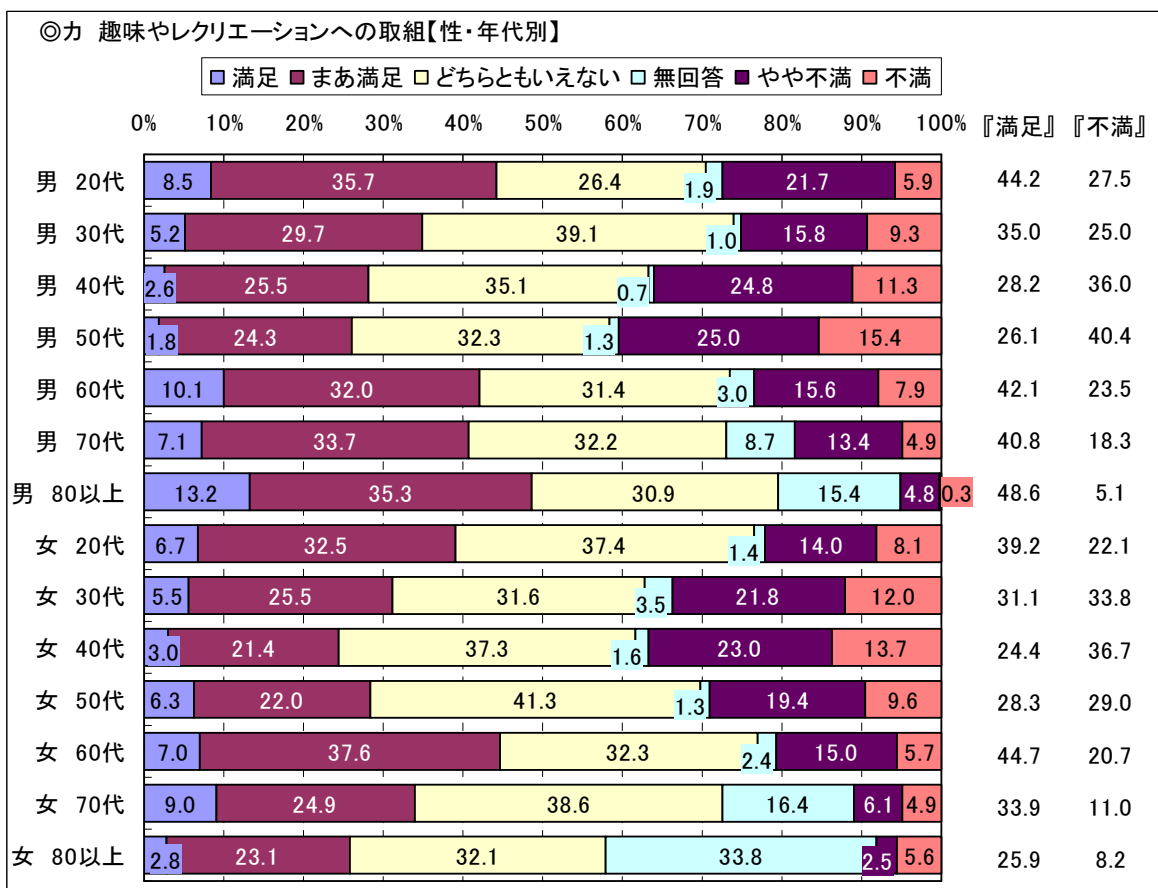
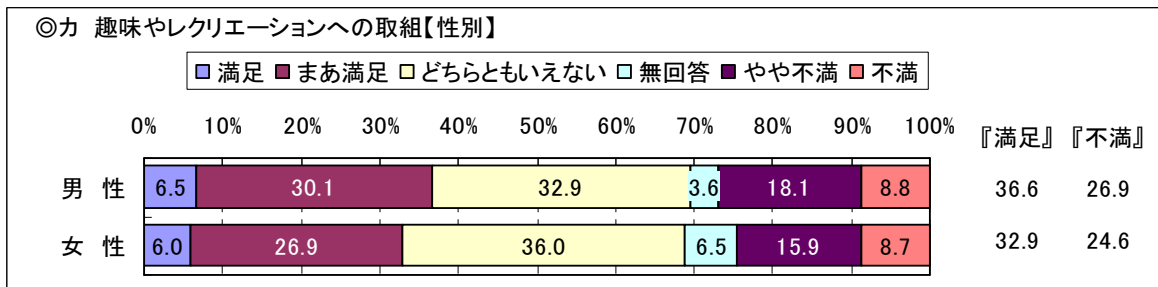
◆地域別

- 『満足』は、最も多い阪神北(39.7%)はじめ、8地域が3割台となっている一方、淡路(28.0%)と丹波(29.1%)では3割を下回っている。
- 一方、『不満』は、いずれの地域も2割台となっているが、東播磨(28.7%)が最も多く、阪神北(22.3%)が最も少なくなっている。



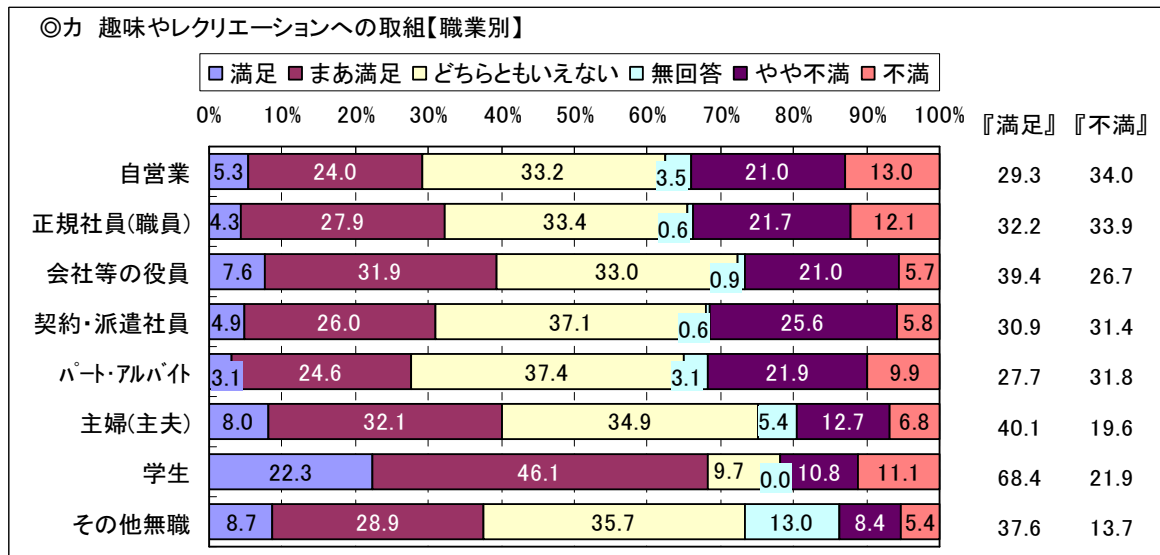
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』(男 36.6%、女 32.9%)、『不満』(男 26.9%、女 24.6%)ともに女性より男性でやや多い。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は、80歳以上(48.6%)が最も多く、次いで20代(44.2%)、60代(42.1%)、70代(40.8%)で4割を超えるが、30~50代は徐々に少なくなり、50代(26.1%)で最も少なくなっている。また、『不満』は、50代(40.4%)で4割を超え、40代(36.0%)で3割台半ばに及ぶが、60代以上で3割を下回り、80歳以上(5.1%)で1割を下回っている。
- 一方、女性では、『満足』は、60代(44.7%)が最も多く4割を超え、次いで20代(39.2%)、70代(33.9%)、30代(31.1%)で3割を超えるが、他の年代は2割台に止まっており、40代(24.4%)が最も少なくなっている。また、『不満』は、40代(36.7%)で最も多く、30代(33.8%)でも3割を超えるが、70代以上で1割前後となっている。



◆職業別

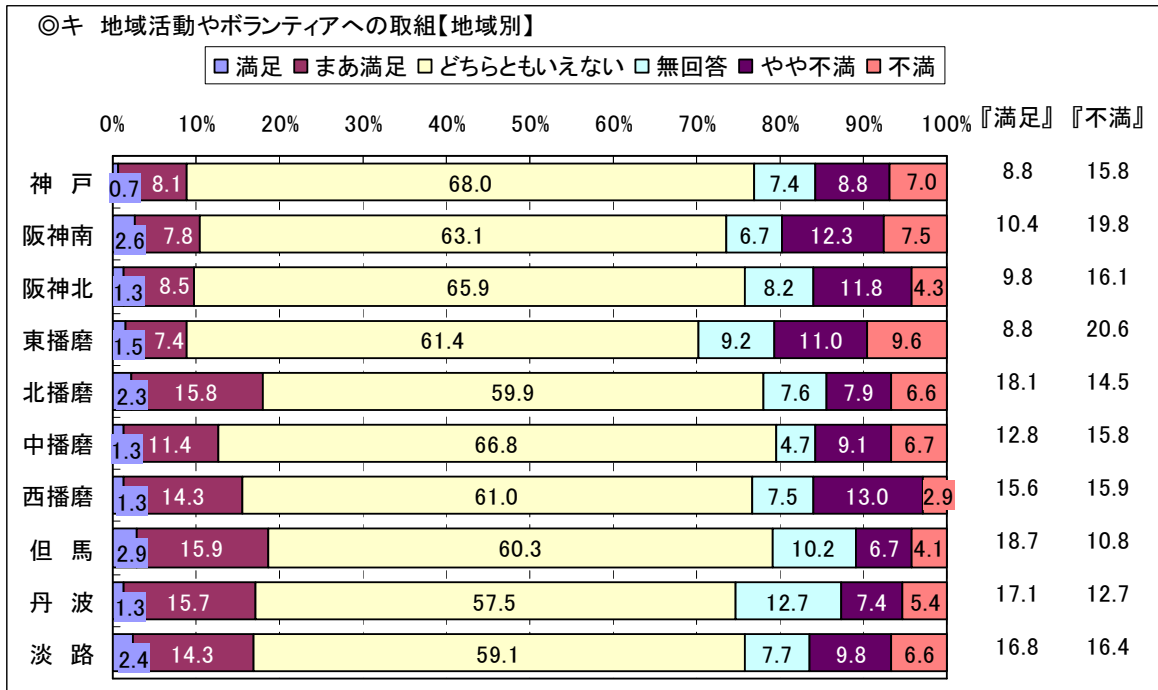
- 職業別でみると、『満足』は、学生(68.4%)で最も多く約7割となっており、主婦(主夫)(40.1%)が4割を超え続けている。他の職業が概ね3割台である中、最も少ないパート・アルバイト(27.7%)と自営業(29.3%)は3割を下回っている。
- 一方、『不満』は、自営業(34.0%)と正規社員(職員)(33.9%)はじめ、4つの職業で3割を超えているが、その他無職(13.7%)と主婦(主夫)(19.6%)では2割を下回っている。



◎キ 地域活動やボランティアへの取組

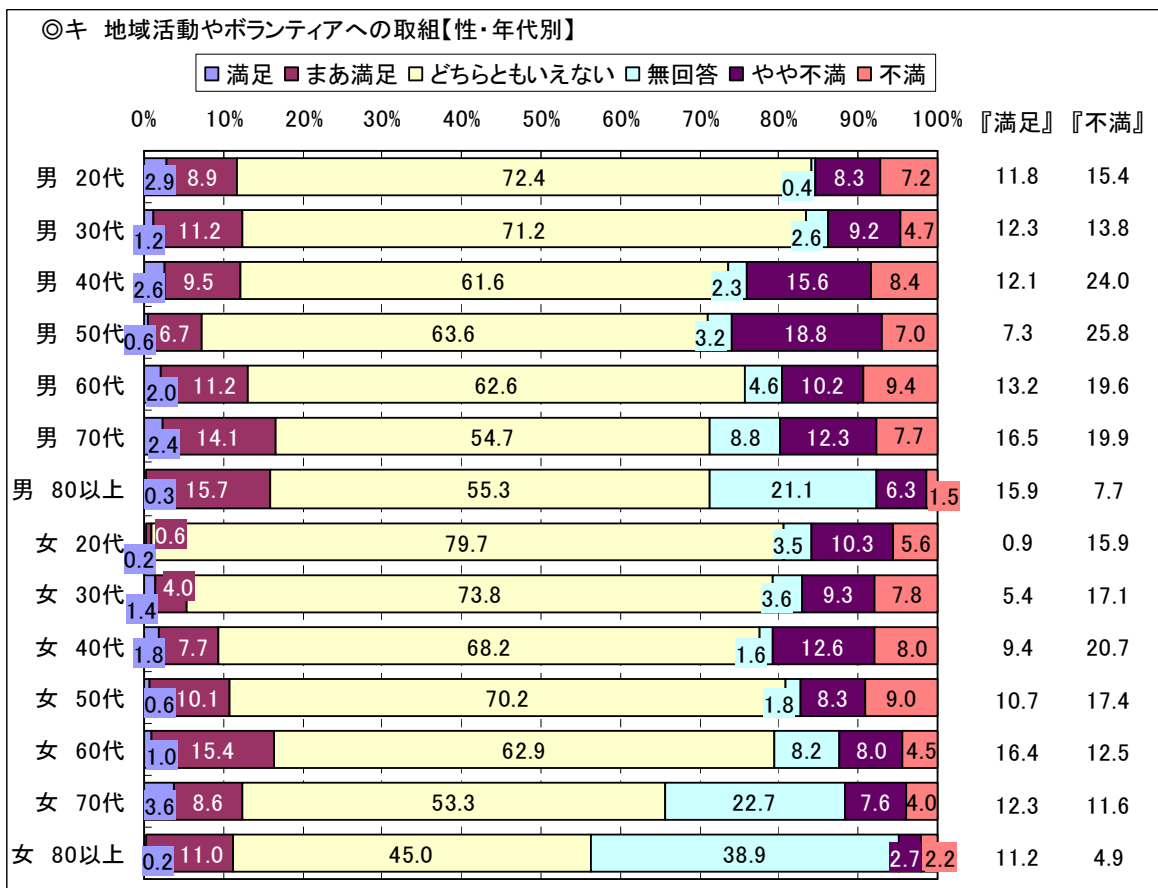
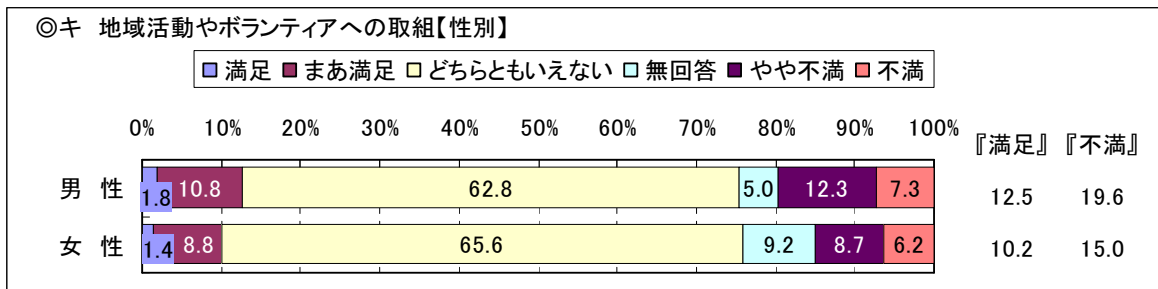
◆地域別

- 『満足』は、但馬(18.7%)、北播磨(18.1%)をはじめ、1割台後半が多くなっているが、神戸、東播磨(ともに8.8%)が最も少なく、阪神北(9.8%)とともに1割を下回っているが、『不満』では、東播磨(20.6%)が2割を超え最も多く、他の地域は1割台となっている。
- また、全ての地域で、「どちらともいえない」が半数を超えている。



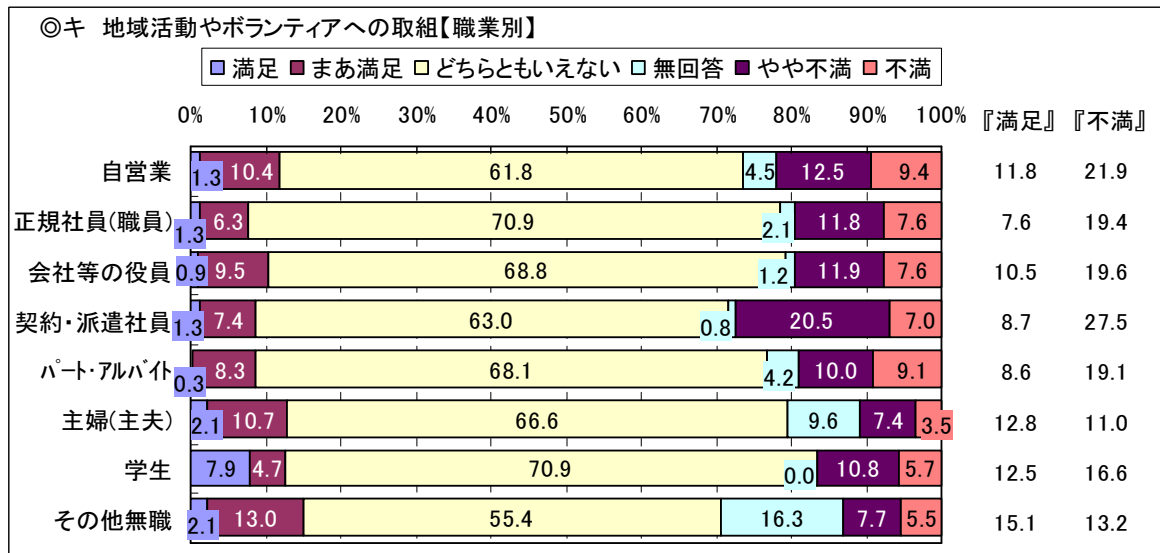
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』(男 12.5%、女 10.2%)、『不満』(男 19.6%、女 15.0%)ともに女性より男性でやや多い。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は70代(16.5%)で最も多く、1割強～半ばの地域が多いが、50代(7.3%)のみ1割を下回っている。また、『不満』では50代(25.8%)と40代(24.0%)が多く2割半ばとなっているが、80歳以上(7.7%)は1割に満たず少なくなっている。
- 一方、女性では、『満足』は60代(16.4%)が最も多く、70代(12.3%)ははじめ1割前後の地域が多い中、20代(0.9%)が非常に少なくなっている。また、『不満』は40代(20.7%)で2割を超え、1割台の地域が多くなっているが、80歳以上(4.9%)は1割に満たず少なくなっている。



◆職業別

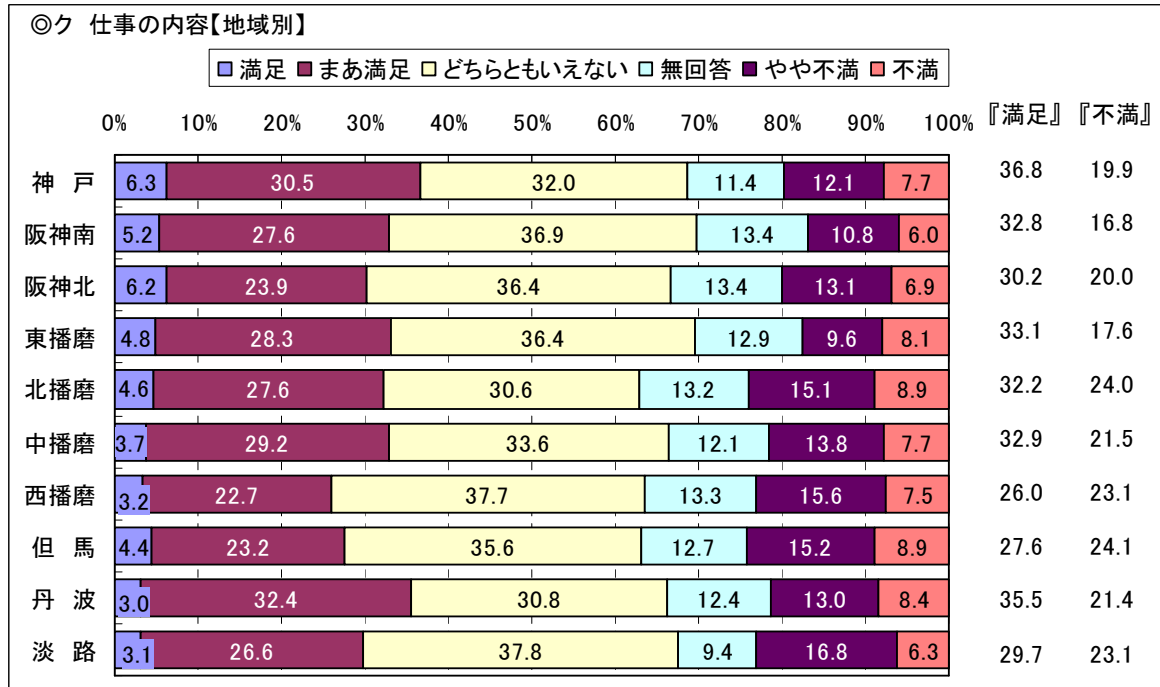
- 職業別で見ると、『満足』は、その他無職(15.1%)が最も多く、主婦(主夫)(12.8%)、学生(12.5%)が続いているが、正規社員(職員)(7.6%)、パート・アルバイト(8.6%)、契約・派遣社員(8.7%)では1割に満たず少なくなっている。
- 一方、『不満』は、契約・派遣社員(27.5%)が最も多く、自営業(21.9%)も2割を超えているが、他の職業はいずれも1割台で、主婦(主夫)(11.0%)が最も少なくなっている。



◎ク 仕事の内容

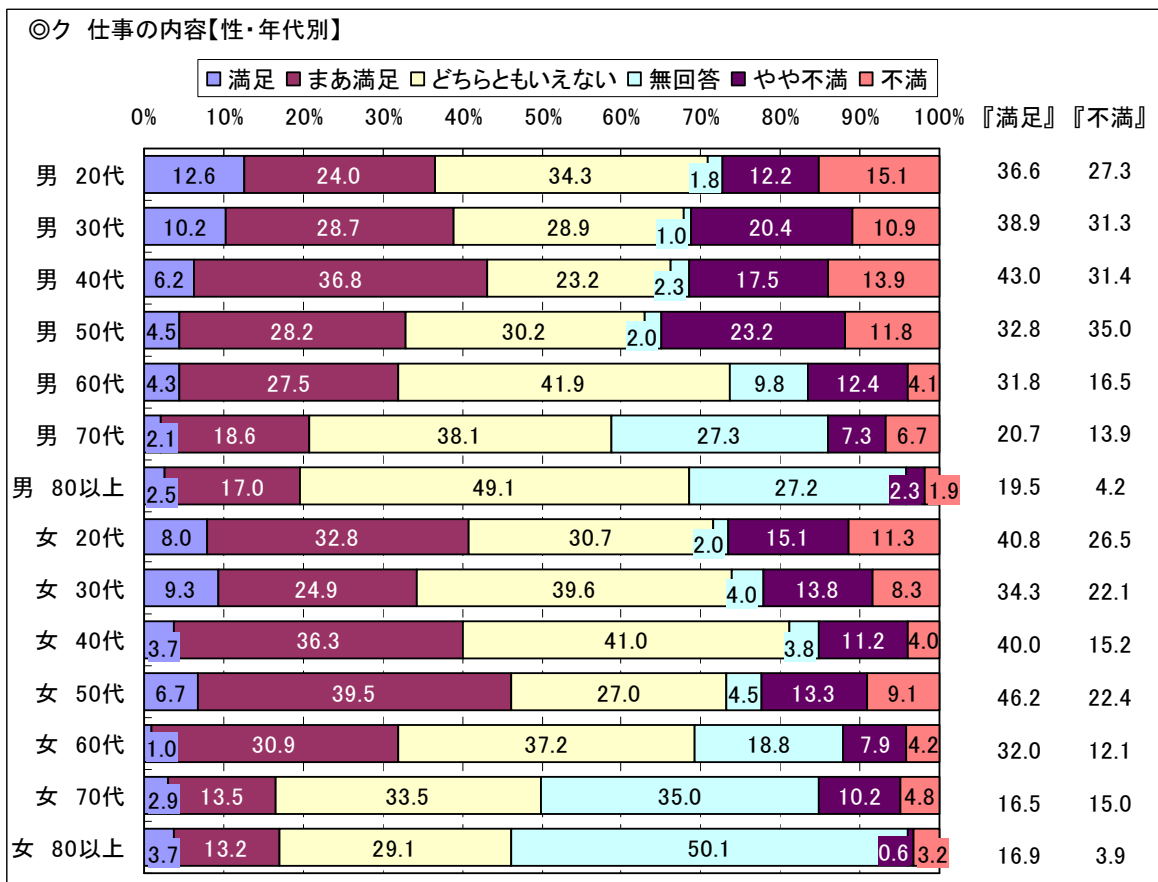
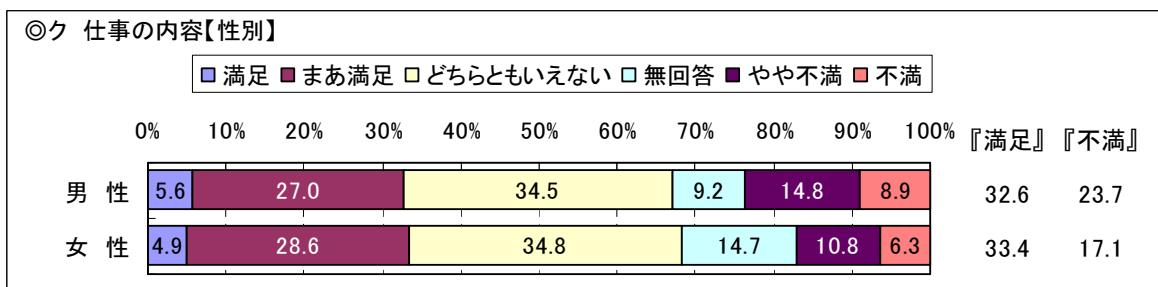
◆地域別

- 『満足』は、神戸(36.8%)をはじめ3割を超える地域が多く、最も少ない西播磨(26.0%)でも2割半ばとなっている。『不満』は但馬(24.1%)が最も多いが、最も少ない阪神南(16.8%)でも1割半ばと大きな差はみられない。



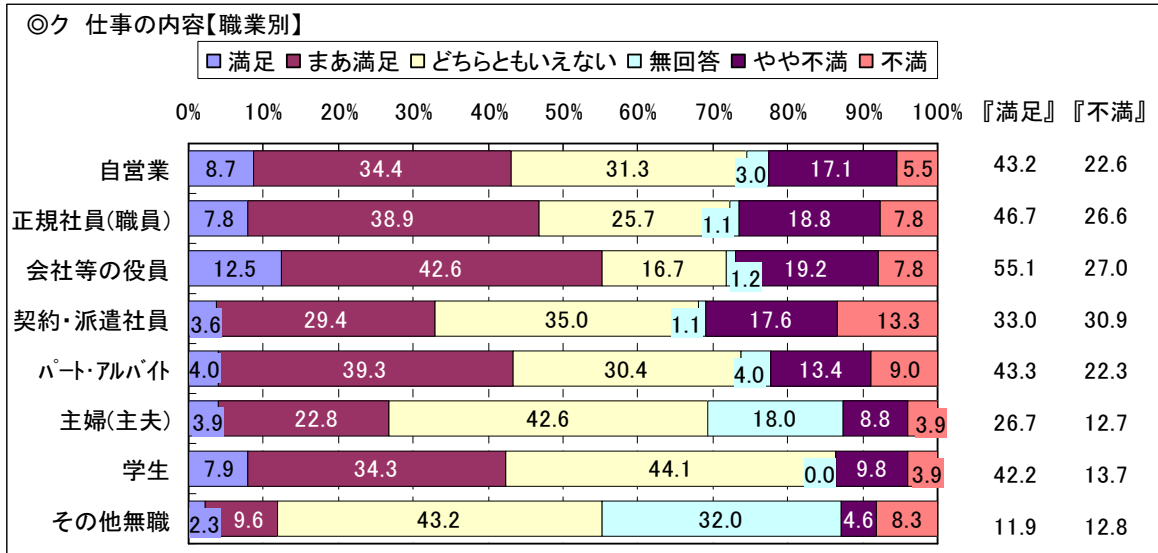
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』は、男性(32.6%)より女性(33.4%)で多く、『不満』は、女性(17.1%)より男性(23.7%)が多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『満足』は20～60代はいずれも3割を超えており、最も多いのは40代(43.0%)で4割に及ぶが、70代以降では2割前後と少なくなっている。また、『不満』では50代(35.0%)が最も多く、20～40代で3割前後となっているほか、60代以上では1割台、最も少ない80歳以上(4.2%)では1割に満たない。
- 一方で、女性では『満足』は、50代(46.2%)が最も多く、20代(40.8%)、40代(40.0%)で約4割、30代(34.3%)と60代(32.0%)で3割台となり、70代以上は1割台半ばとなっている。また、『不満』は、20代(26.5%)が最も多く、同じく30代(22.1%)、50代(22.4%)も2割台、その他の世代は1割台半ばが多くなっているが、80歳以上(3.9%)は1割に満たず少なくなっている。



◆職業別

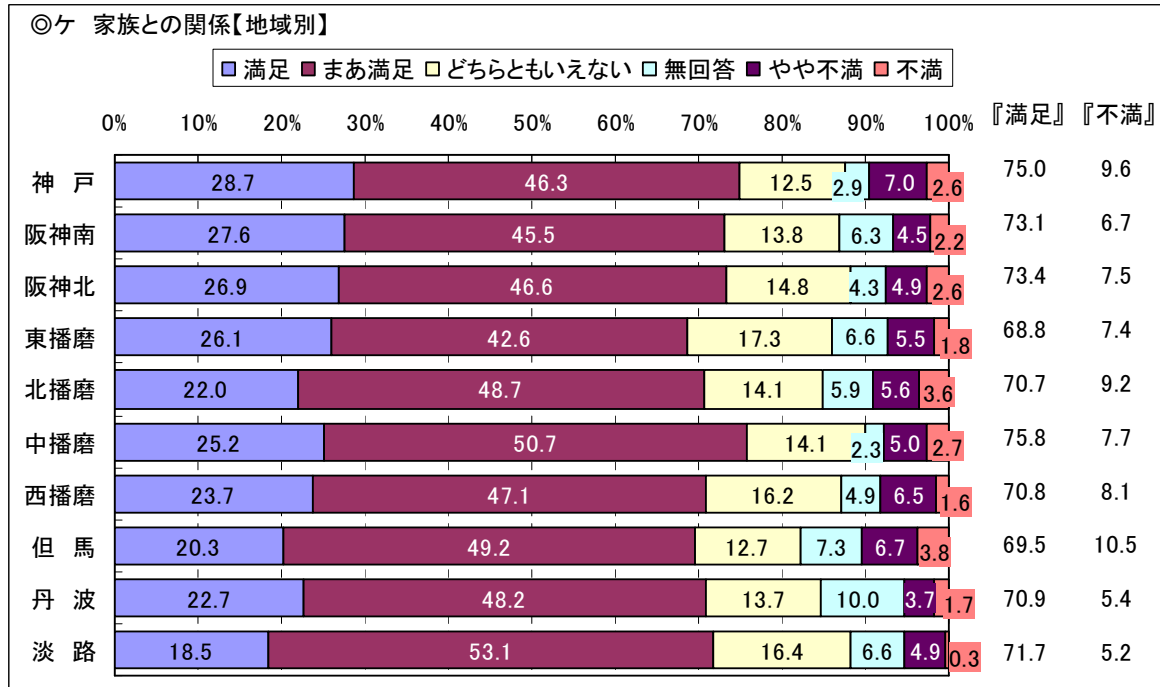
- 職業別でみると、『満足』は、会社等の役員(55.1%)で5割を超え最も多く、正規社員(職員)(46.7%)、パート・アルバイト(43.3%)はじめ4割台の職業が多い中、その他無職(11.9%)が最も少なく約1割に止まっている。
- 一方、『不満』は、契約・派遣社員(30.9%)で3割を超え、会社等の役員(27.0%)、正規社員(職員)(26.6%)などが2割台で続いているが、最も少ない主婦(主夫)(12.7%)、その他無職(12.8%)、学生(13.7%)では1割台前半に止まっている。



◎ケ 家族との関係

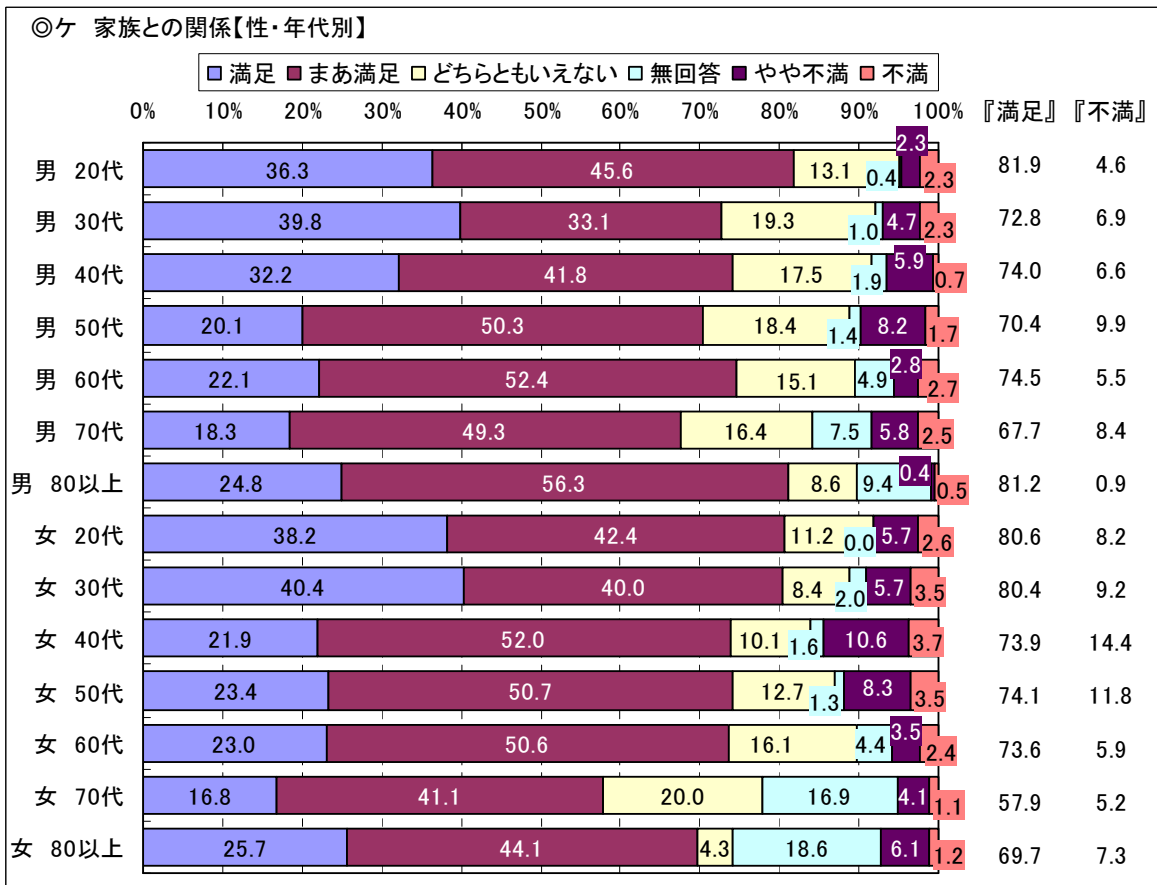
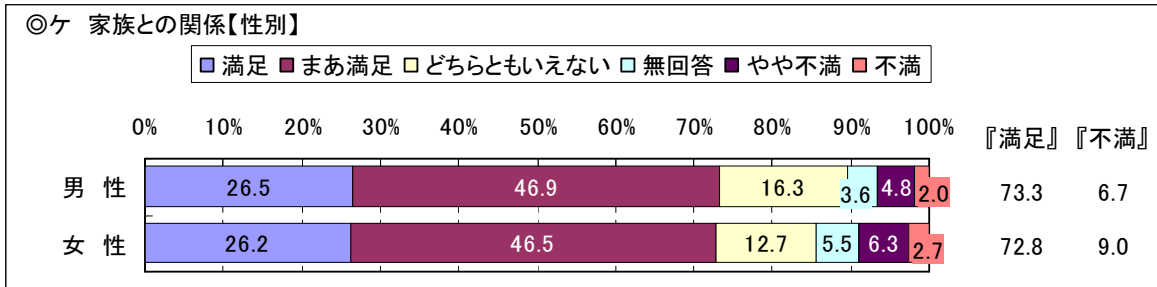
◆地域別

- 『満足』は、中播磨(75.8%)はじめ8地域で7割台となっているが、東播磨(68.8%)、但馬(69.5%)で7割を下回っている。
- 『不満』は、但馬(10.5%)を除き、他の地域では1割を下回っている。



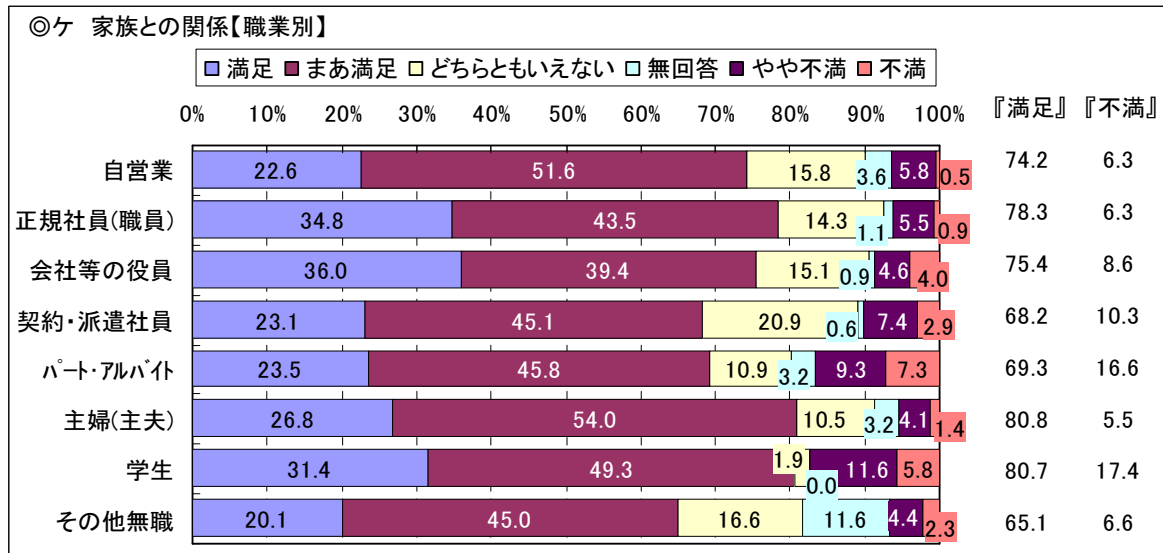
◆性別／性・年代別

- 性別では、『不満』で、男性(6.7%)より女性(9.0%)でやや多いが大きな差はない。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は20代(81.9%)、80歳以上(81.2%)で8割を超え、他の世代も7割台で続いているが、70代(67.7%)のみ7割を下回っている。また、『不満』は全ての世代で1割を下回っている。
- 女性では、『満足』は、20代(80.6%)と30代(80.4%)で約8割と多く、7割前後の年代が多い中、70代(57.9%)と6割を下回っている。また、『不満』は、40代(14.4%)と50代(11.8%)で1割を上回っている。



◆職業別

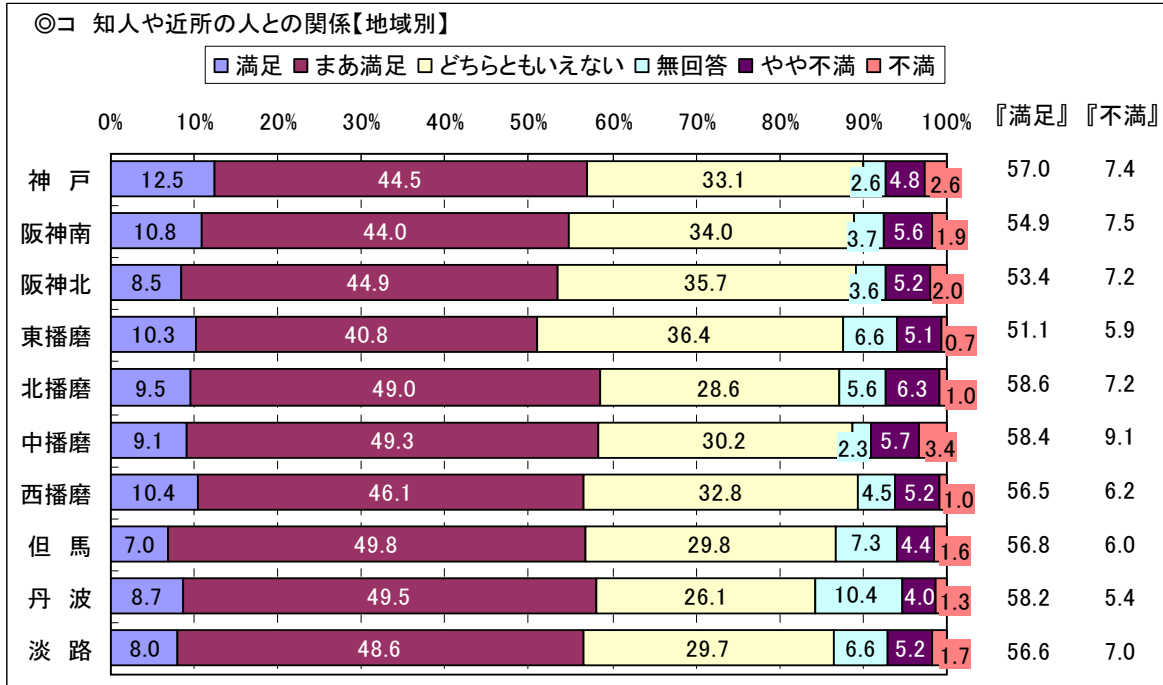
- 職業別でみると、『満足』は、主婦（主夫）（80.8%）、学生（80.7%）で8割を超え、正規社員（職員）（78.3%）、会社等の役員（75.4%）などが7割台で続いている中、その他無職（65.1%）、契約・派遣社員（68.2%）、パート・アルバイト（69.3%）では7割を下回っている。
- 一方、『不満』では、学生（17.4%）、パート・アルバイト（16.6%）、契約・派遣社員（10.3%）の順で多くなっており、その他の職業では1割を下回っている。



◎コ 知人や近所の人との関係

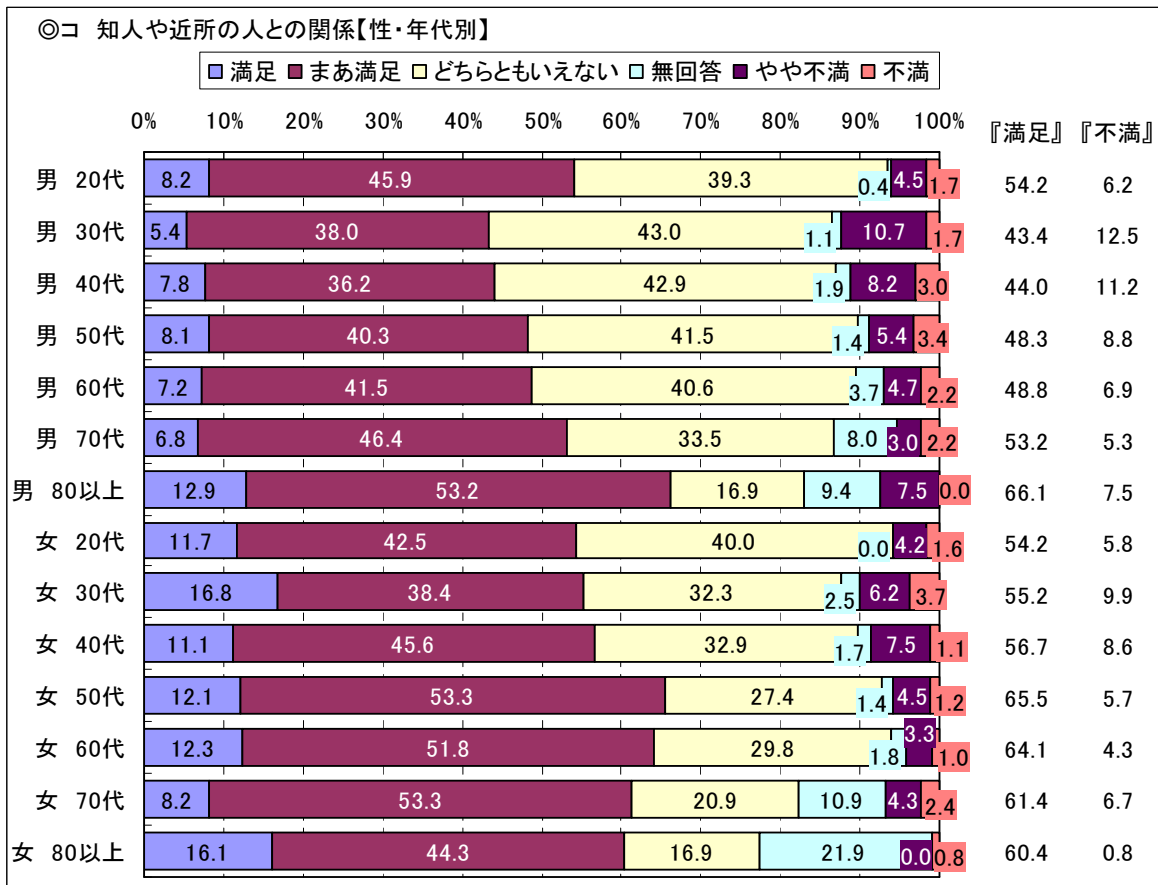
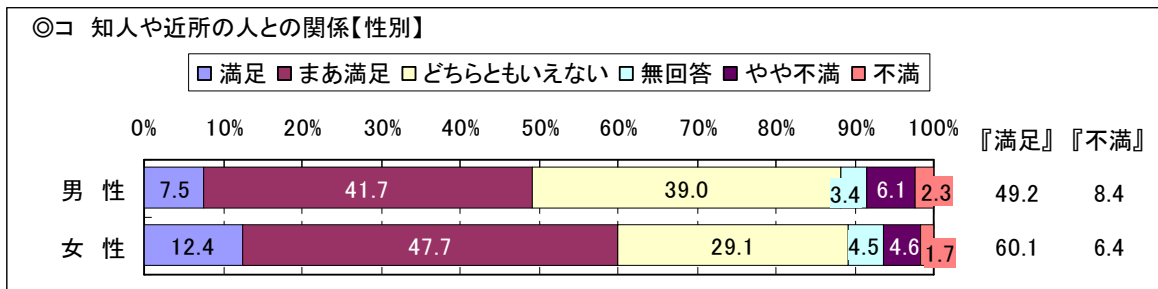
◆地域別

- 『満足』は、北播磨(58.6%)が最も多く、最も少ない東播磨(51.1%)はじめ、全ての地域で5割を超えている。
- 『不満』は、いずれの地域も1割を下回っている。



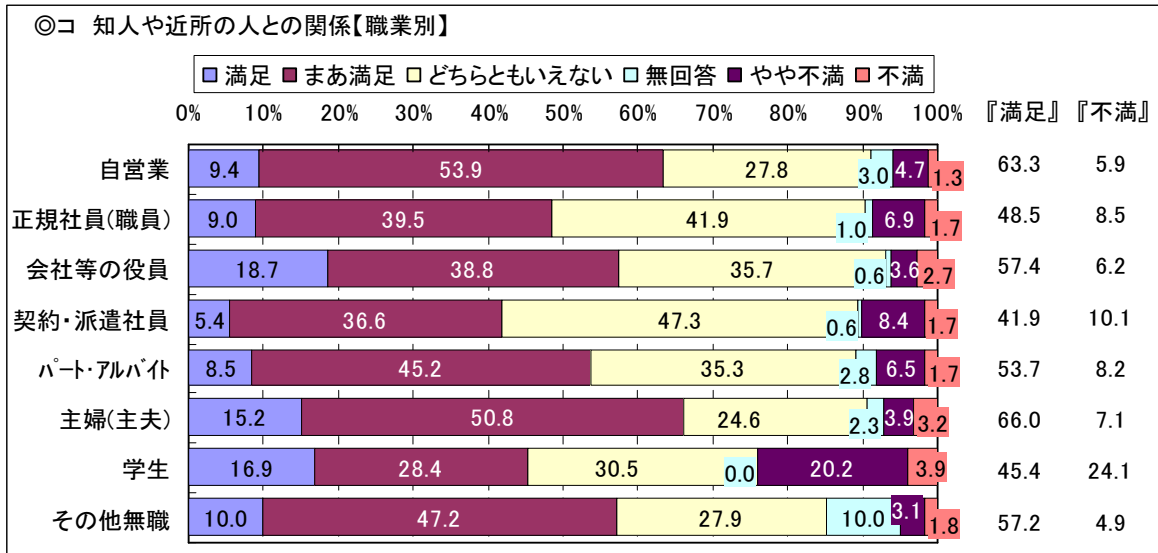
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』は男性(49.2%)より女性(60.1%)で多く、10.9ポイントの差が生じている。また、『不満』では大きな差はないが、女性(6.4%)より男性(8.4%)がやや多い。
- 性・年代別でみると、男性では、『満足』は、80歳以上(66.1%)で6割半ばとなっており、20代(54.2%)と70代(53.2%)が5割台で続く中、30～60代では4割台に止まっている。また、『不満』は、30代(12.5%)と40代(11.2%)を除き1割を下回っている。
- 一方、女性では、『満足』は、50代(65.5%)が最も高く、50代以上の年代はいずれも6割を超える中、20～40代では5割台に止まっている。一方、『不満』は、いずれの年代でも1割を下回っている。



◆職業別

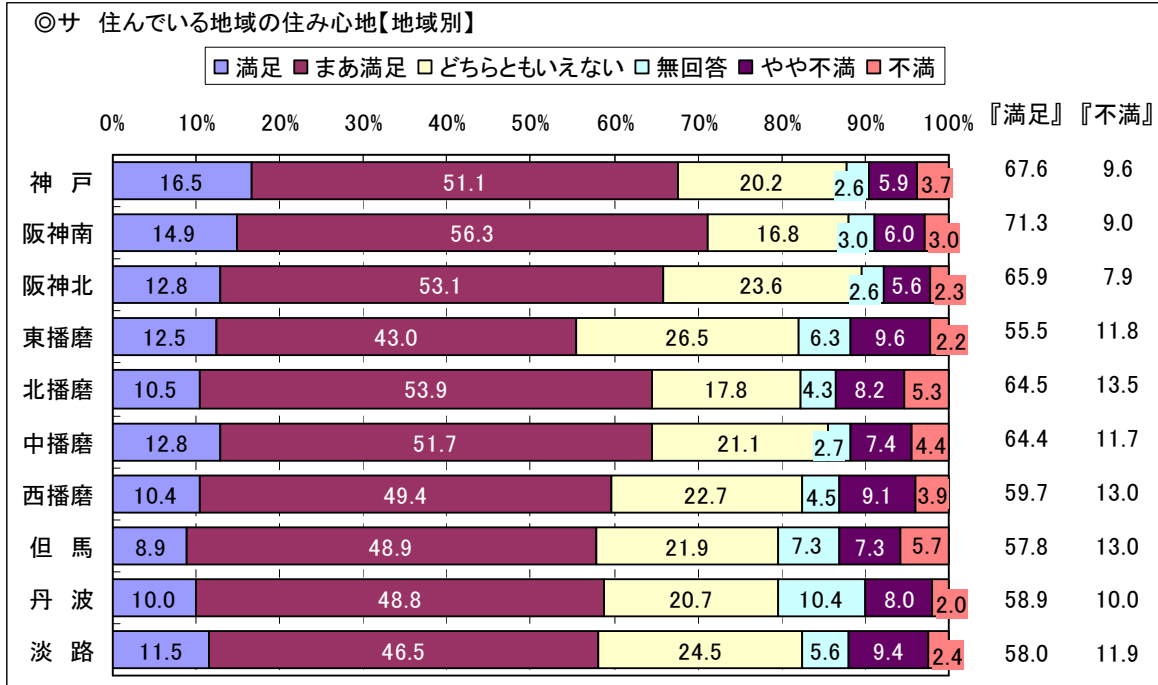
- 職業別で見ると、『満足』は、主婦（主夫）（66.0%）で最も多く、自営業（63.3%）が6割台で続いており、他の職業では4割台後半～5割後半程度となっている。
- 一方、『不満』は、学生（24.1%）が2割台半ばに及び最も多く、次いで契約・派遣社員（10.1%）で続いているが、他の職業では1割を下回っている。



◎サ 住んでいる地域の住み心地

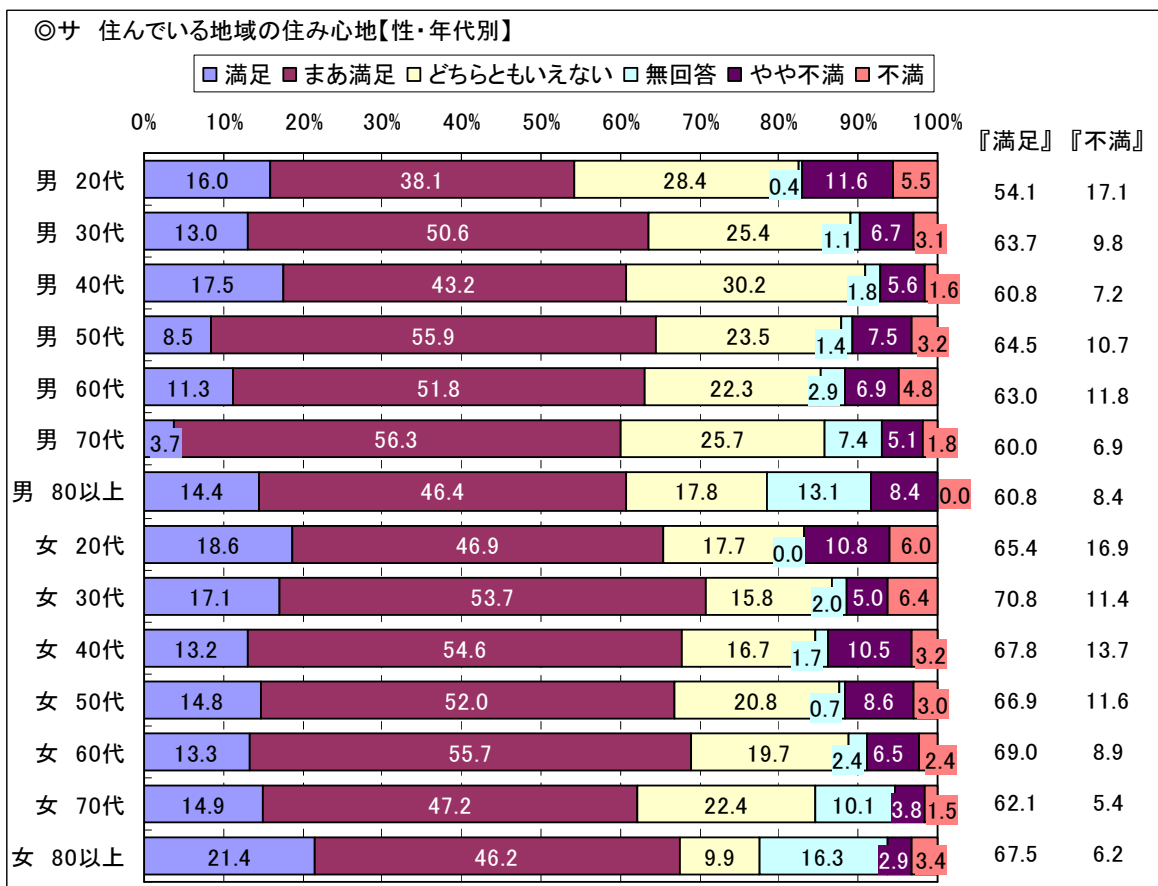
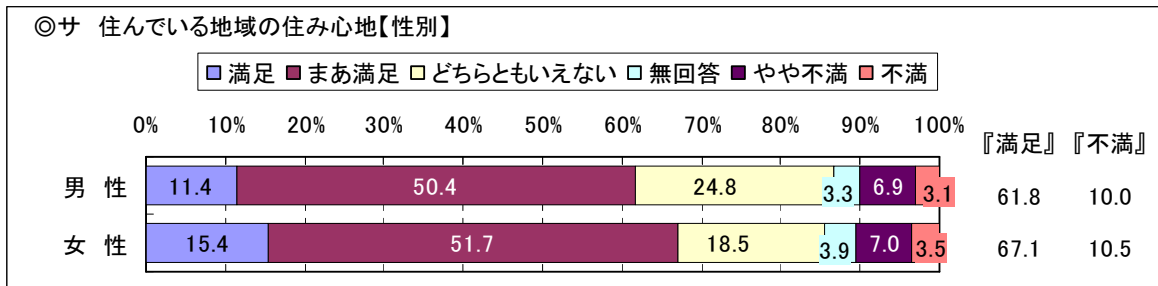
◆地域別

- 『満足』は、阪神南(71.3%)で7割を超え、神戸(67.6%)、阪神北(65.9%)など4地域が6割台で続く中、東播磨(55.5%)ははじめ5地域が5割台に止まっている。
- 『不満』は、いずれの地域も概ね1割前後となっている。



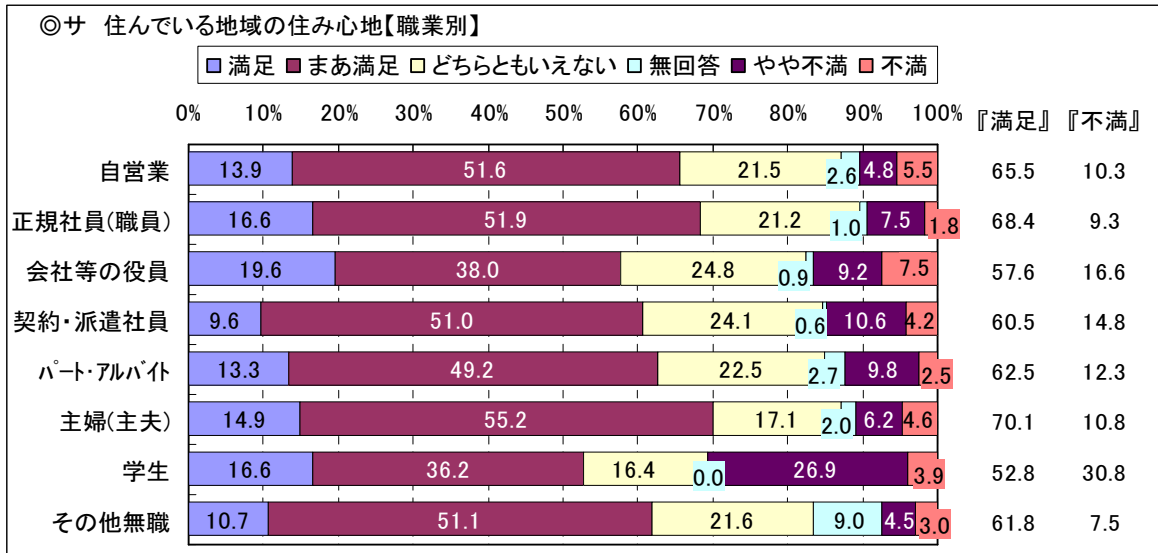
◆性別／性・年代別

- 性別では、『満足』(男 61.8%、女 67.1%)、『不満』(男 10.0%、女 10.5%)ともに男性より女性でやや多い。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は、50代(64.5%)はじめ6割台の年代が多い中、20代(54.1%)で5割台半ばに止まっている。また、『不満』では、多くの年代で概ね1割前後となっているが、20代(17.1%)で1割台後半と多くなっている。
- 『満足』は、女性では、全ての年代で6割を超え、最も多い30代(70.8%)で7割を上回っている。また、『不満』では、1割前後の年代が多い中、20代(16.9%)で1割台後半に及んでいる。



◆職業別

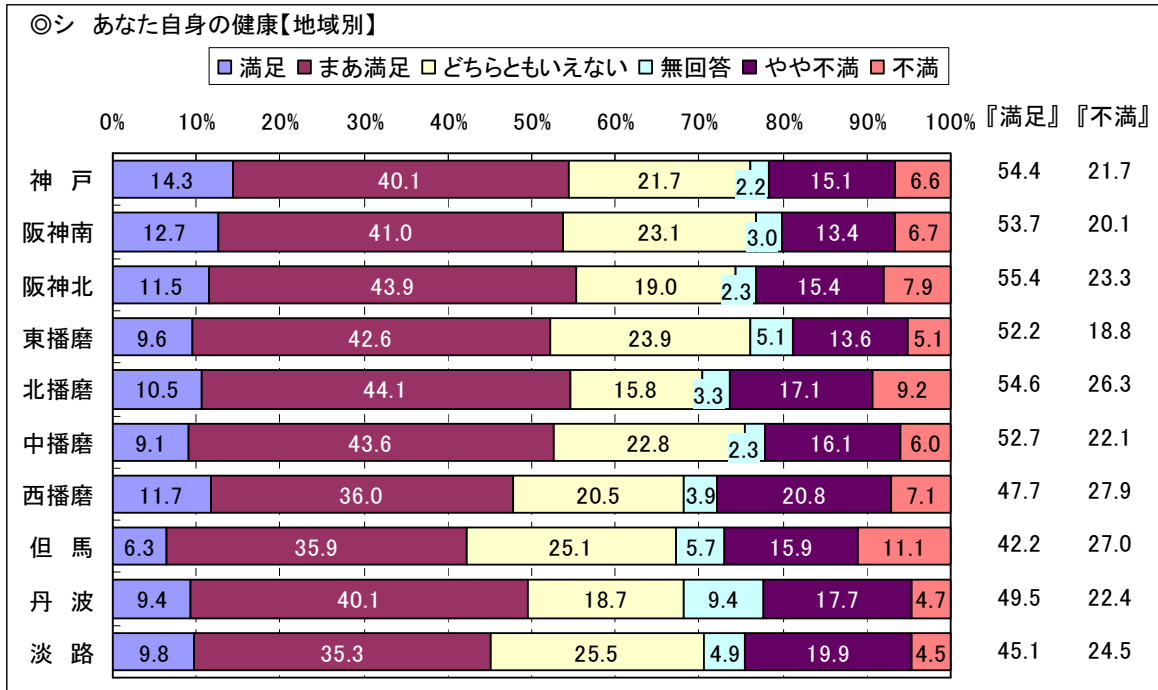
- 職業別でみると、『満足』は、主婦（主夫）（70.1%）で7割を超え、正規社員（職員）（68.4%）と自営業（65.5%）が6割台後半で続いているが、学生（52.8%）と会社等の役員（57.6%）で5割台に止まっている。
- 一方、『不満』は、1割台の職業が多い中、学生（30.2%）のみ3割を上回っている。



◎シ あなた自身の健康

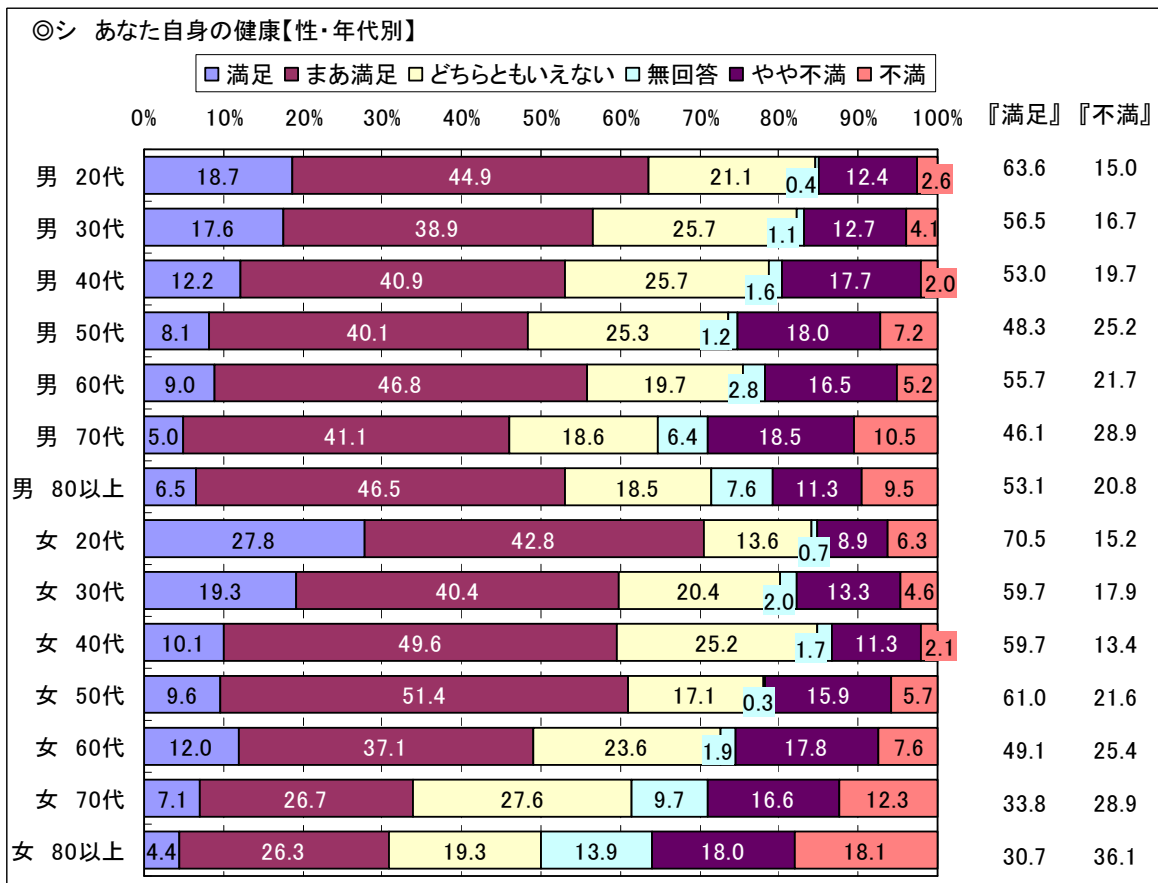
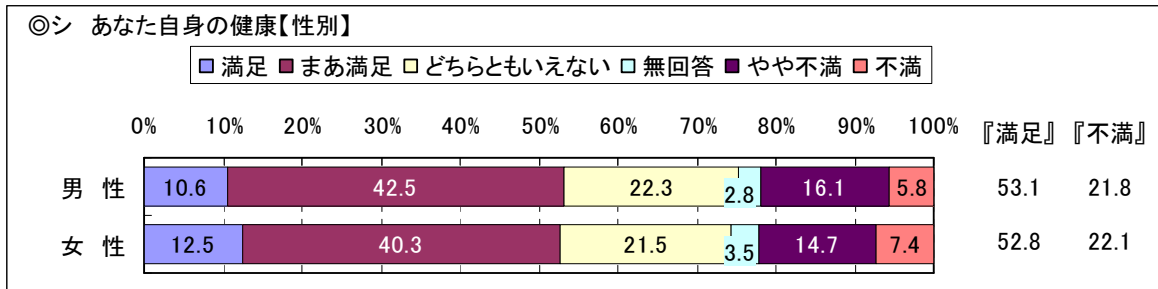
◆地域別

- 『満足』は、阪神北(55.4%)で最も多く、北播磨(54.6%)、神戸(54.4%)など6地域で5割を超えているが、最も少ない但馬(42.2%)をはじめ、4地域で5割を下回っている。一方、『不満』では、東播磨(18.8%)のみ1割台で、他の地域はいずれも2割を超え、西播磨(27.9%)が最も多くなっている。



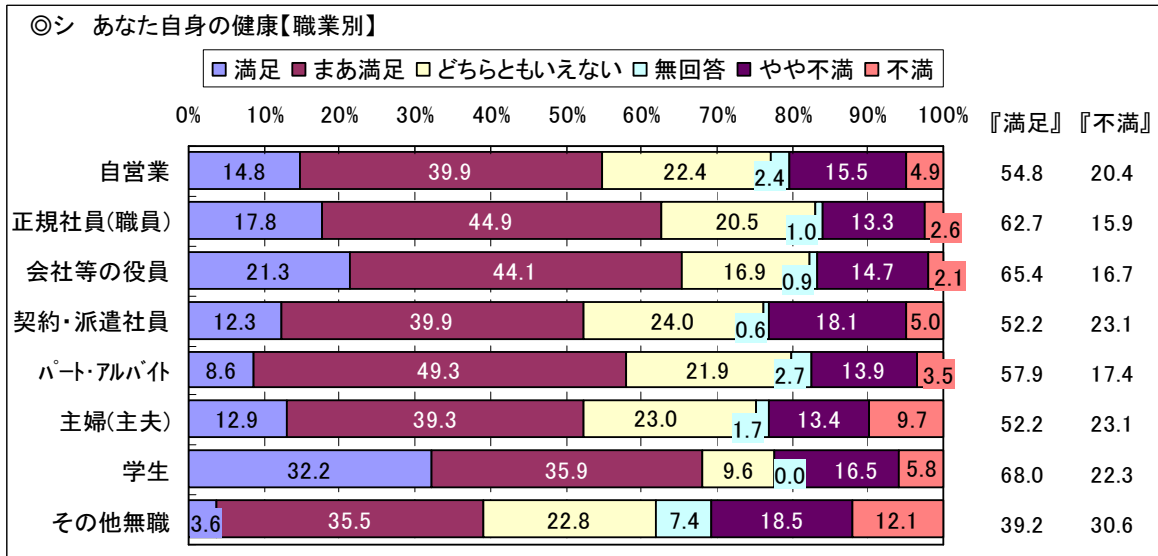
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別で見ると、男性では、『満足』は、20代(63.6%)で6割を超えるが、最も少ない70代(46.1%)と50代(48.3%)で4割台に止まっている。一方、『不満』は、50代以上でいずれも2割を超え、70代(28.9%)で最も多くなっている。
- 女性では、『満足』は、20代(70.5%)で7割を超え最も多く、30~50代で約6割となっているものの、60代以上で減少し、80歳以上(30.7%)では3割に止まっている。一方、『不満』は、50代以上でいずれも2割を超え、80歳以上(36.1%)で最も多くなっている。



◆職業別

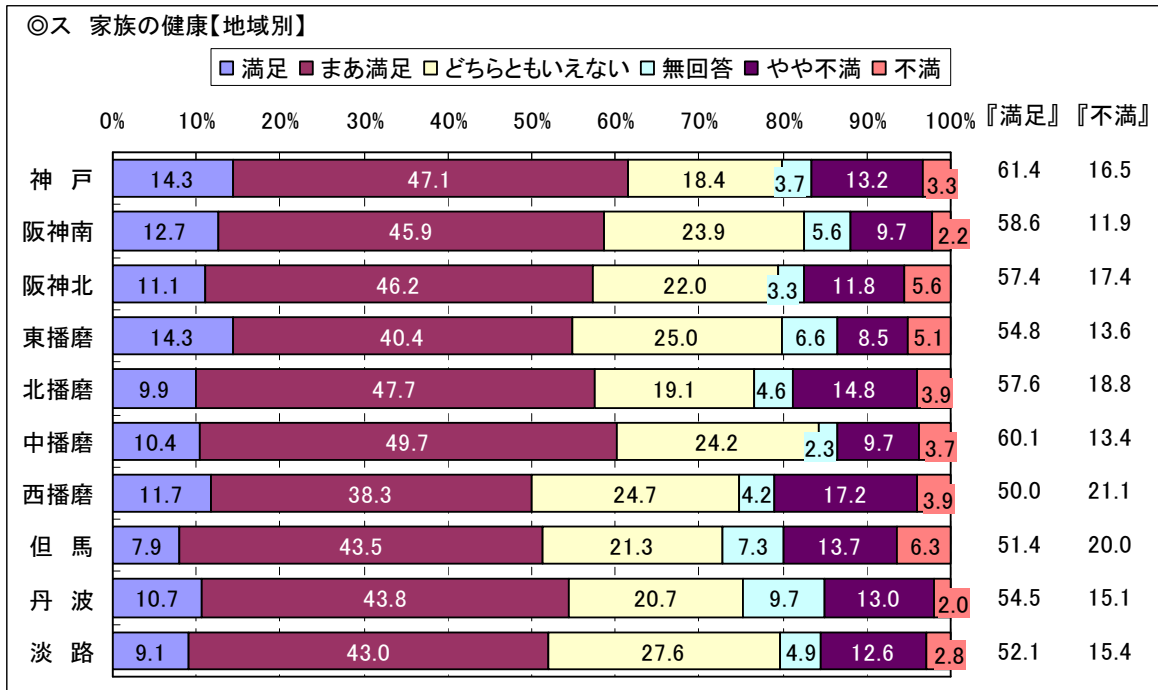
- 職業別でみると、『満足』は、学生(68.0%)が最も多く、会社等の役員(65.4%)、正規社員(職員)(62.7%)と6割台が続いているが、他の職業では5割台が多く、その他無職(39.2%)では4割を下回っている。
- 一方、『不満』は、その他無職(30.6%)で最も多く、正規社員(職員)(15.9%)で最も少なくなっている。



◎ス 家族の健康

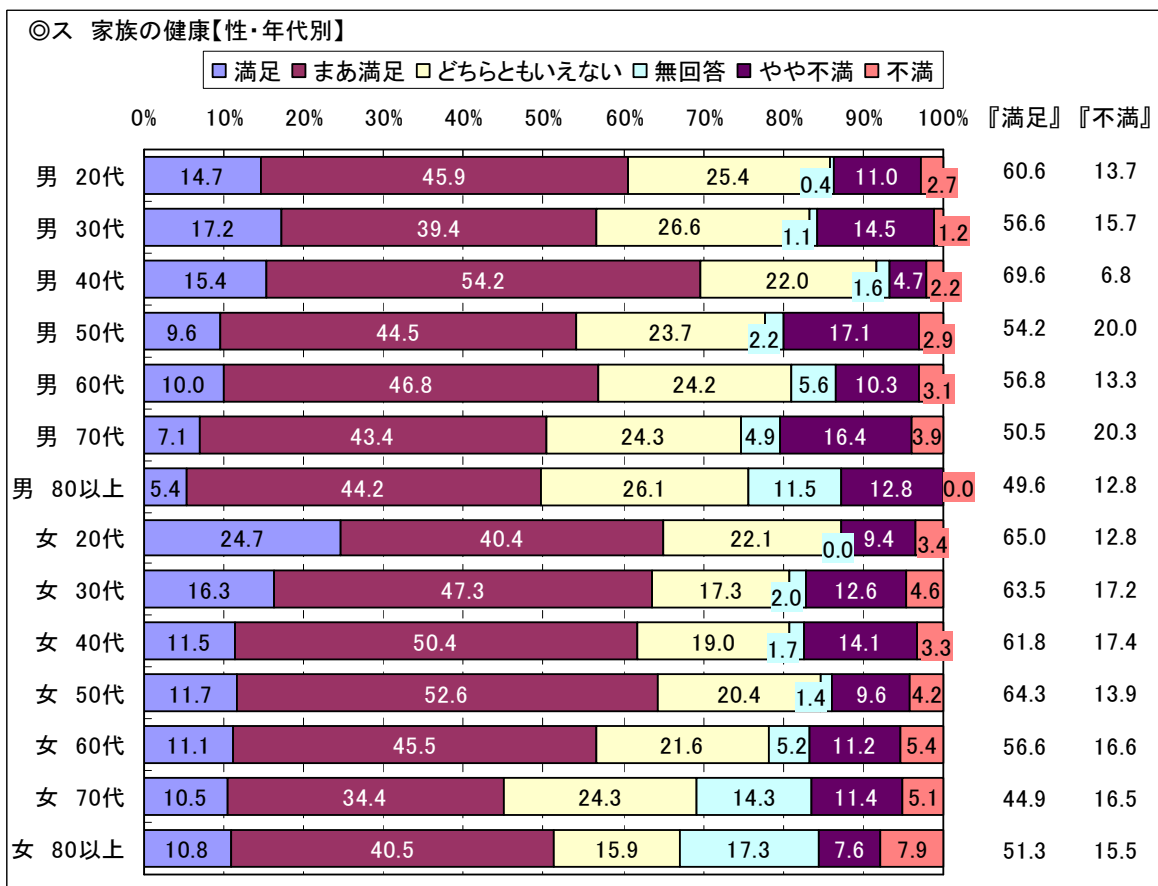
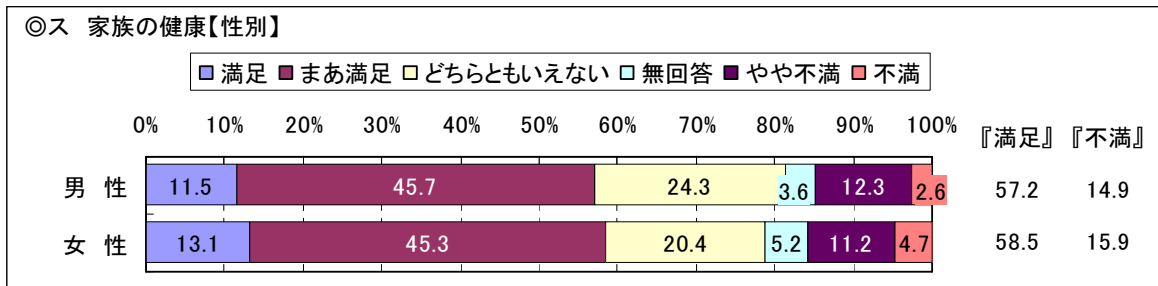
◆地域別

- 『満足』は、最も多い神戸(61.4%)、次いで中播磨(60.1%)で6割を超え、最も少ない西播磨(50.0%)でも5割を上回っている。
- 『不満』は、西播磨(21.1%)、但馬(20.0%)で約2割となっているが、他の地域ではいずれも1割台となっている。



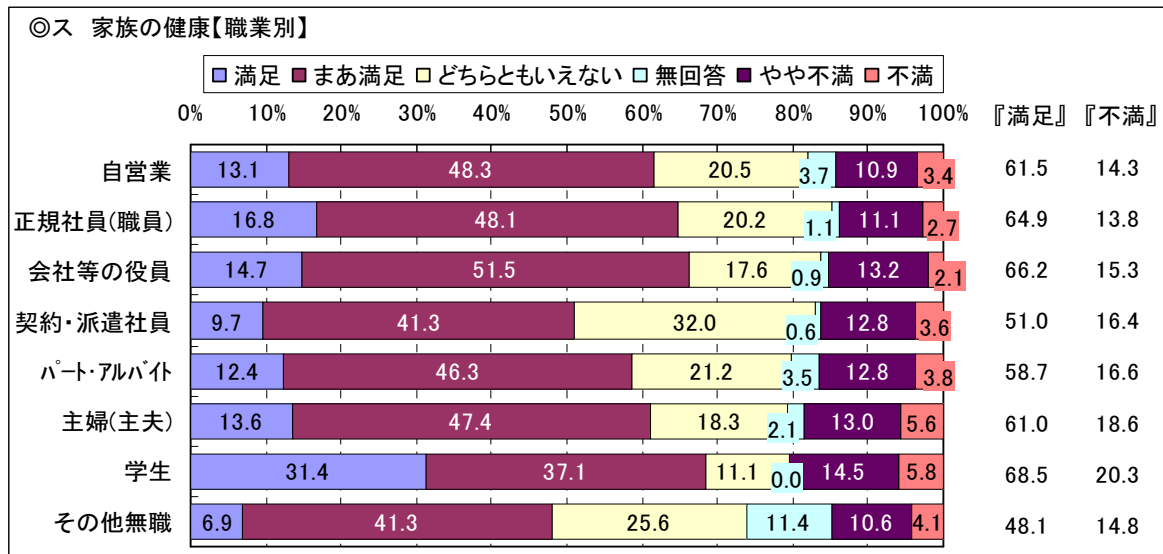
◆性別／性・年代別

- 性別では、特段の差はみられない。
- 性・年代別でみると、男性では、『満足』は、40代(69.6%)が最も多く約7割、次いで20代(60.6%)が6割で続いている。他の年代は概ね5割台が多く、最も少ない年代で80歳以上(49.6%)となっている。一方、『不満』は、1～2割の年代が多いが、40代(6.8%)のみ1割を下回っている。
- 女性では、『満足』は、20～50代が6割を超えており、20代(65.0%)で最も多くなっているが、60代(56.6%)以上で6割を下回り、70代(44.9%)では4割台に止まっている。また、『不満』は、最も多い40代(17.4%)はじめ、全ての年代で1割台に止まっている。



◆職業別

- 職業別でみると、『満足』は、学生(68.5%)で最も多く、会社等の役員(66.2%)、正規社員(職員(64.9%)などが6割台で続いている中、その他無職(48.1%)では5割に満たない。また、『不満』は、学生(20.3%)で2割を超えているが、他の職業ではいずれも1割台となっている。



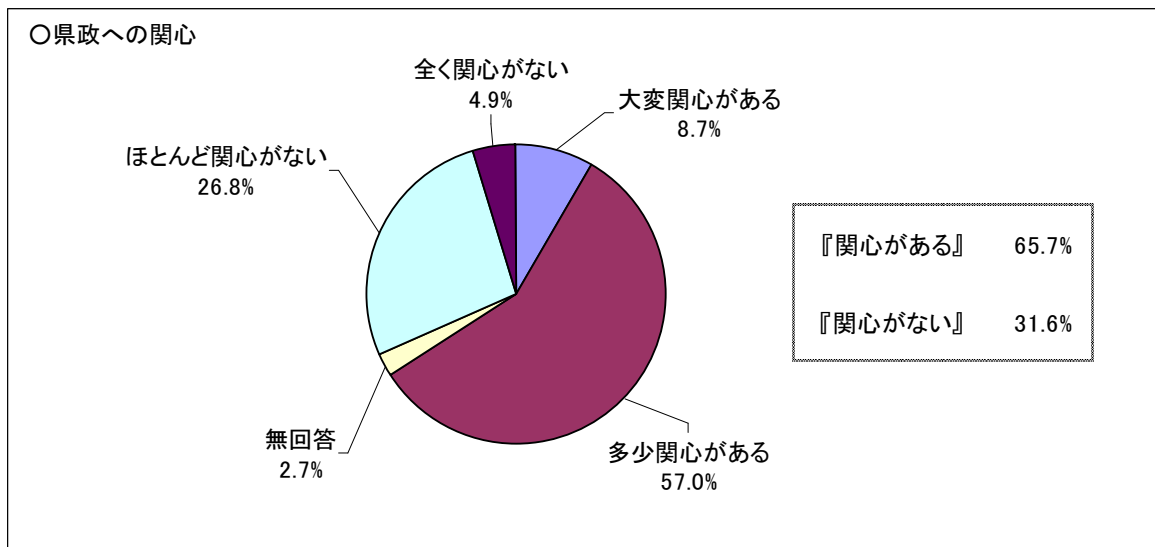
7 県政への関心

(1) 県政に対する関心の有無・程度

問 16 あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○印をつけてください。

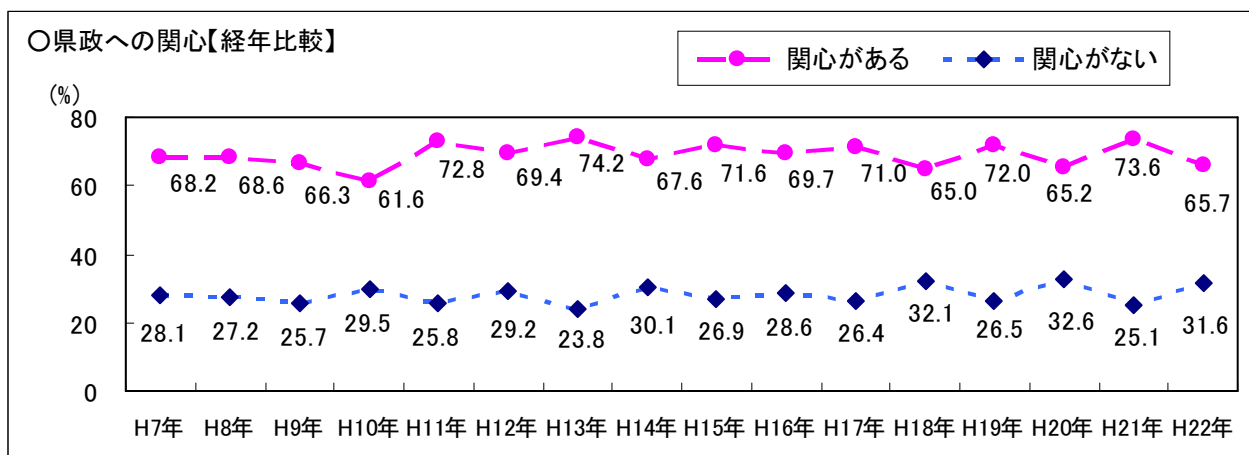
- | | |
|-----------|-------------|
| 1 大変関心がある | 3 ほとんど関心がない |
| 2 多少関心がある | 4 全く関心がない |

- 「大変関心がある」(8.7%)と「多少関心がある」(57.0%)を合わせた『関心がある』(65.7%)では6割台半ばとなっている。
- 「ほとんど関心がない」(26.8%)と「全く関心がない」(4.9%)を合わせた、『関心がない』(31.6%)は約3割となっており、『関心がある』は『関心がない』の倍以上多くなっている。



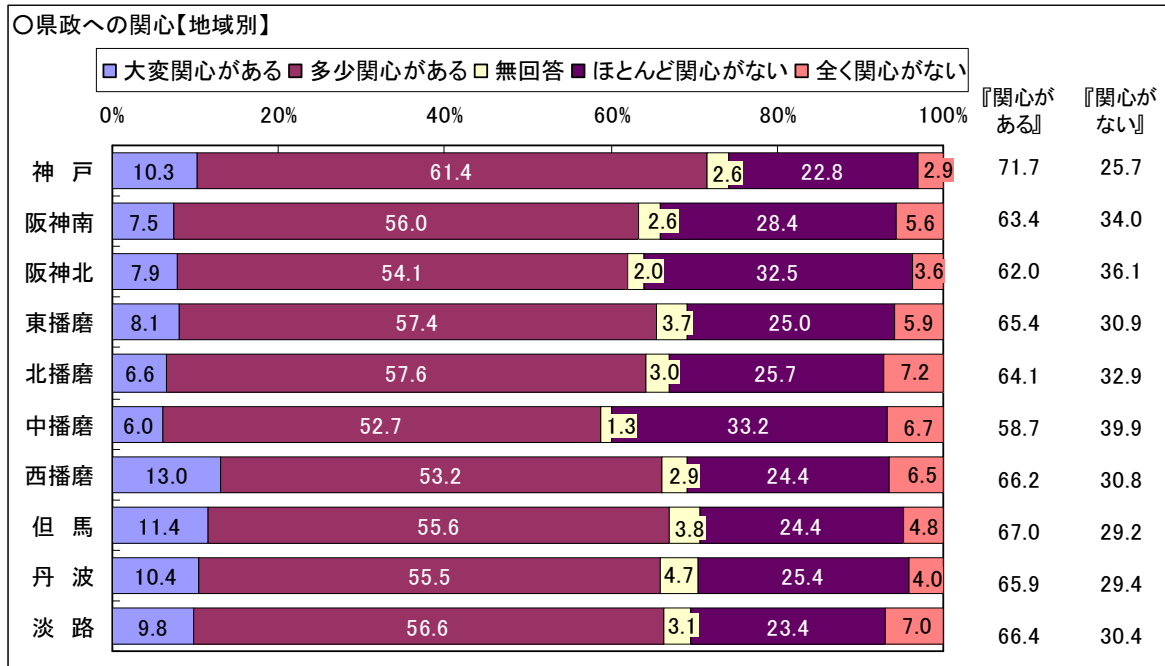
◆経年比較

- 『関心がある』は前年より7.9ポイント減少(73.6%→65.7%)し、過去4番目に少ない水準で、『関心がない』は前年より6.5ポイント増加(25.1%→31.6%)し、こちらは過去最高の平成20年(32.6%)に迫る3番目に多い水準となっている。



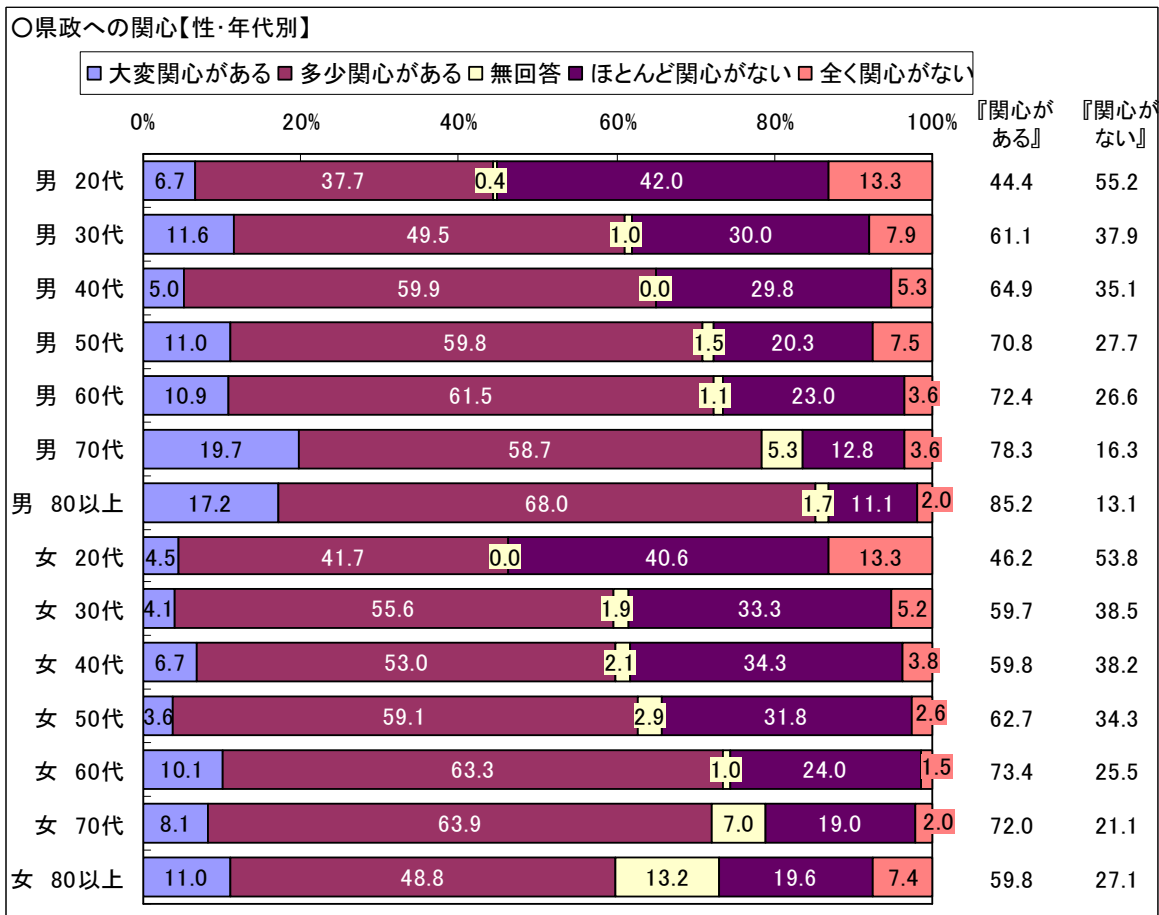
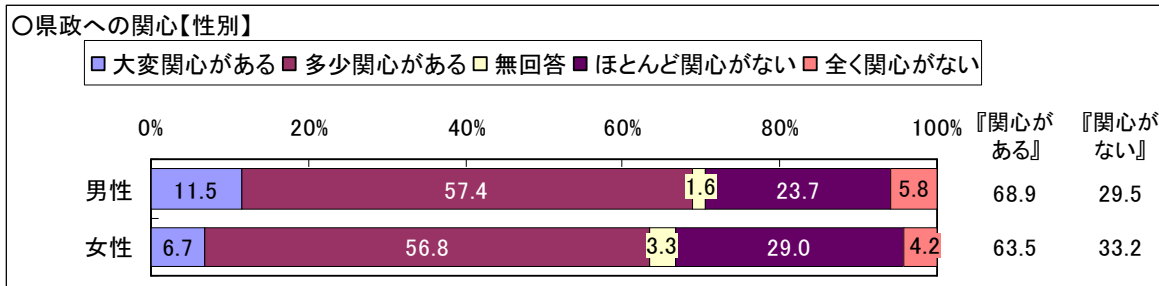
◆地域別

- 『関心がある』では、神戸(71.7%)のみ7割を上回るものの、次いで多くなっている但馬(67.0%)を含む8地域で6割台に止まっており、最も少ない中播磨(58.7%)では5割台後半に止まっている。
- 一方、『関心がない』では、中播磨(39.9%)が約4割と多く、阪神北(36.1%)を含む6地域で3割台となっているものの、最も少ない神戸(25.7%)はじめ、但馬(29.2%)、丹波(29.4%)では2割台となっている。



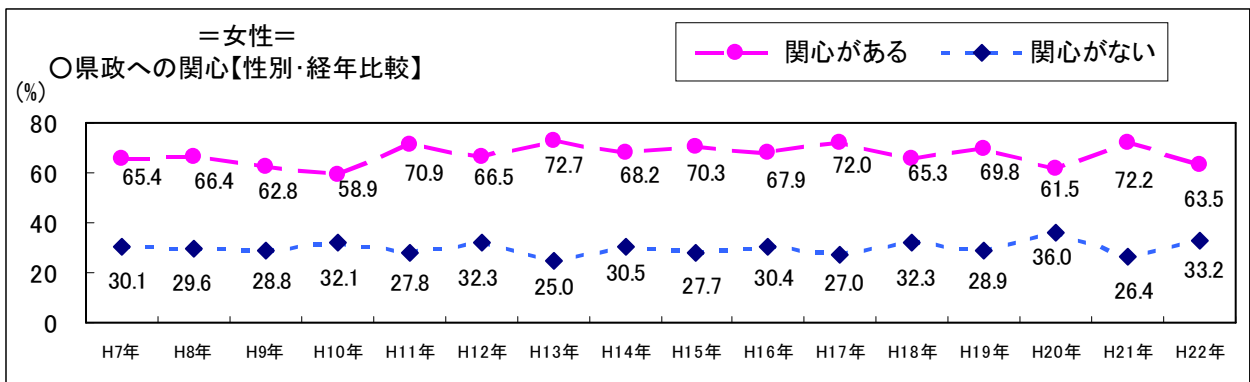
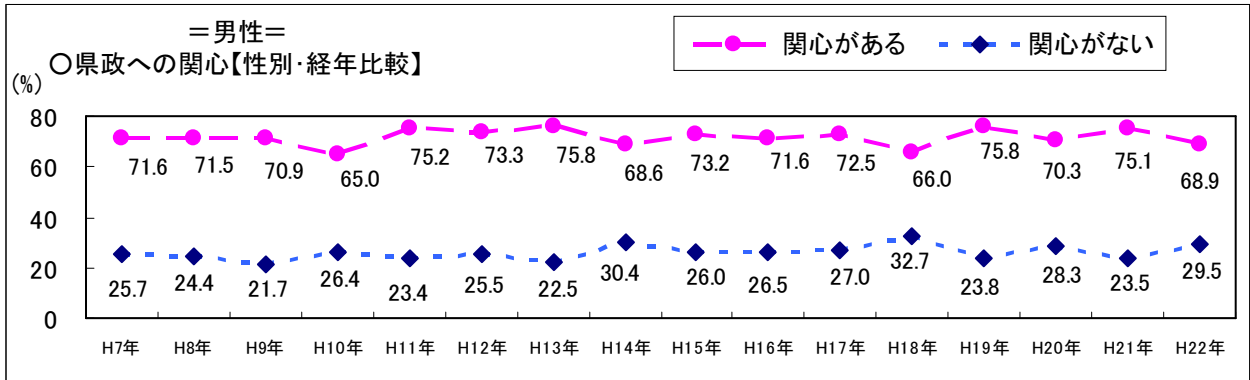
◆性別、性・年代別

- 性別でみると、『関心がある』では、女性(63.5%)より男性(68.9%)がやや多い。
- 性・年代別でみると、『関心がある』は、男性が20代(44.4%)で最も低く、年代が高くなるごとに徐々に増加し、30～40代で6割、50～70代で7割を超え、最も多い80歳以上(85.2%)で8割台半ばに達している。一方、女性では、同じく20代(46.2%)が最も低く、30～50代で6割前後となり、60代(73.4%)で7割を超え最も多くなるものの、70～80歳以上で再び減少している。
- 『関心がない』をみると、男性では20代(55.2%)が最も多く5割を超え、年代が高くなるごとに徐々に減少し、最も少ない80歳以上(13.1%)で1割台となっている。一方、女性でも、20代(53.8%)が最も多く5割を超え、年代が高くなるごとに徐々に減少し、70代(21.1%)で最も少なくなるが、80歳以上(27.1%)で若干増加している。



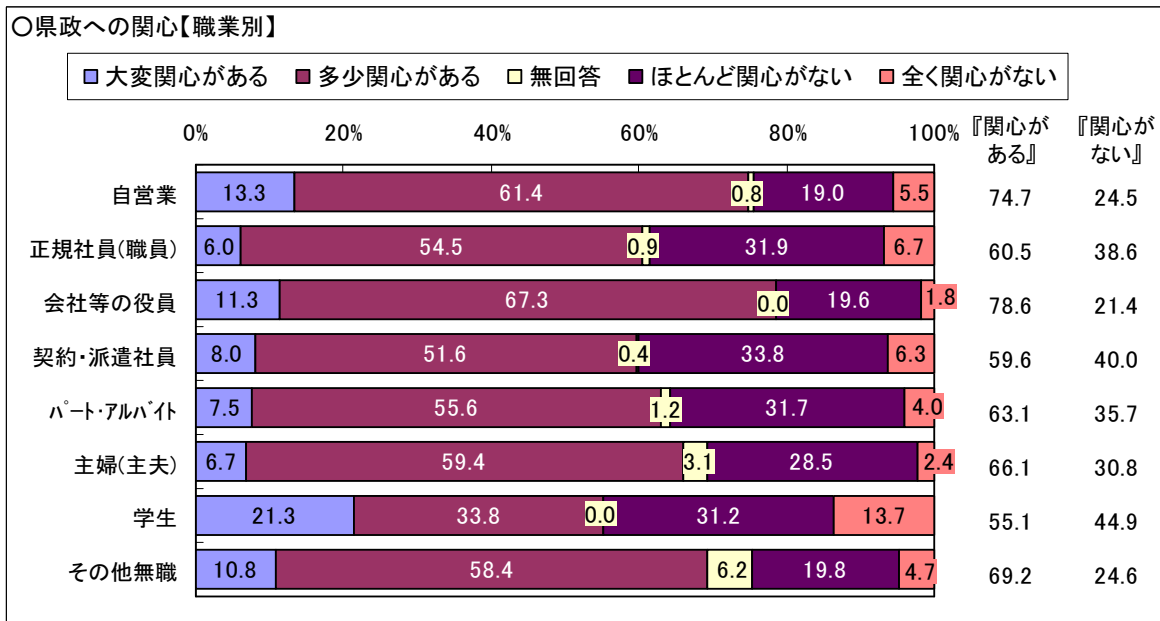
◆性別（経年比較）

- 性別の経年変化では、男女とも前年よりも『関心がある』が減少（男 75.1%→68.9%、女 72.2%→63.5%）し、『関心がない』が増加（23.5%→29.5%、女 26.4%→33.2%）しており、女性の方が増減の幅が大きい。



◆職業別

- 職業別でみると、『関心がある』は、会社等の役員(78.6%)、自営業(74.7%)で7割を超える一方、学生(55.1%)は5割台半ばに止まっている。



(2) 県政への評価

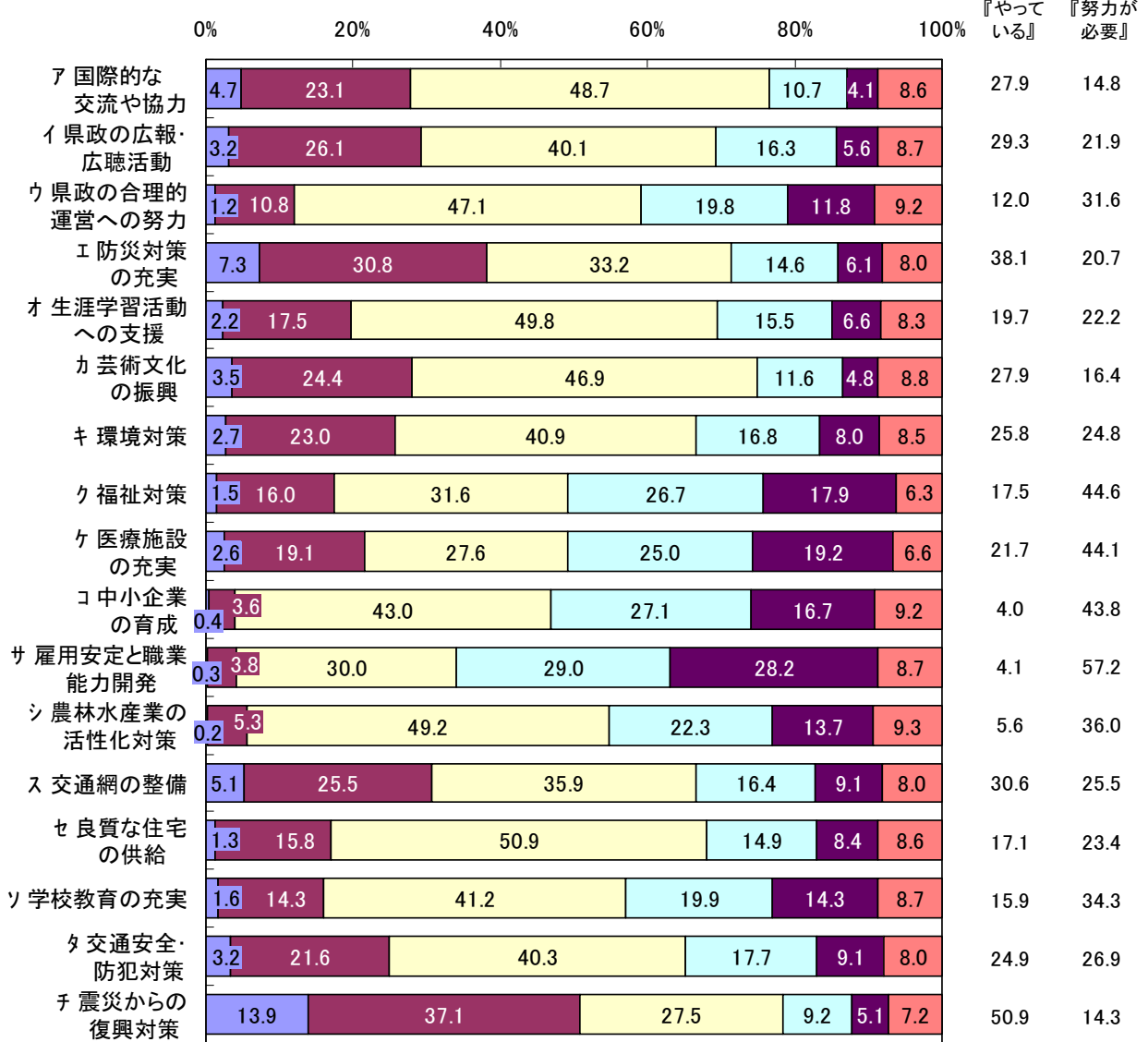
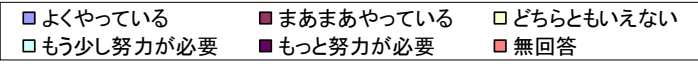
問 17 県が行っている仕事をあげています。それぞれについて、あなたのお考えに近いものを1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

- (ア) 国際的な交流や協力
- (イ) 県政の広報・広聴活動
- (ウ) 県政の合理的運営（行政改革）への努力
- (エ) 防災対策の充実
- (オ) 豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援
- (カ) 豊かな感性を培う芸術文化の振興
- (キ) 自然環境を守り育てる環境対策
- (ク) お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- (ケ) 病気の予防や病院などの医療施設の充実
- (コ) 創造的活力に富む中小企業の育成
- (サ) 雇用の安定と職業能力の開発
- (シ) 農林水産業の活性化対策
- (ス) 道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- (セ) 良質な住宅の供給
- (ソ) 個性と能力を伸ばす学校教育の充実
- (タ) 交通安全・防犯対策
- (チ) 震災からの復興対策

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1 : よくやっている | 3 : どちらともいえない | 5 : もっと努力が必要 |
| 2 : まあまあやっている | 4 : もう少し努力が必要 | |

- 「よくやっている」と「まあまあやっている」を合わせた『やっている』では、「チ 震災からの復興対策」(50.9%)で約5割と最も多く、「エ 防災対策の充実」(38.1%)、「ス 交通網の整備」(30.6%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(29.3%)の順で続いている。
- 「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」を合わせた『努力が必要』では、「サ 雇用安定と職業能力開発」(57.2%)で5割台後半と最も多く、「ク 福祉対策」(44.6%)、「ケ 医療施設の充実」(44.1%)、「コ 中小企業の育成」(43.8%)の順で続いている。
- 全17項目中、「サ 雇用安定と職業能力開発」はじめ10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。
- 「どちらともいえない」は、「セ 良質な住宅の供給」(50.9%)、「オ 生涯学習活動への支援」(49.8%)、「シ 農林水産業の活性化対策」(49.2%)、「ア 国際的な交流や協力」(48.7%)で約5割となっているが、「ケ 医療施設の充実」(27.6%)、「チ 震災からの復興対策」(27.5%)では2割台である。

○県政への評価



◆前年度比較

- 前年との比較では『やっている』は、「ケ 医療施設の充実」(2.7ポイント増)、「ク 福祉対策」(0.2ポイント増)の2項目のみ増加しており、一方『努力が必要』では、「サ 雇用安定と職業能力開発」(7.3ポイント増)、「ス 交通網の整備」(5.5ポイント増)など15項目で増加している。

◎県政への評価【前年度比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
ケ 医療施設の充実	2.7
ク 福祉対策	0.2
ソ 学校教育の充実	-0.1
セ 良質な住宅の供給	-0.5
オ 生涯学習活動への支援	-1.5
シ 農林水産業の活性化対策	-1.6
コ 中小企業の育成	-2.0
サ 雇用安定と職業能力開発	-2.1
キ 環境対策	-2.2
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.4
チ 震災からの復興対策	-3.8
ア 国際的な交流や協力	-4.2
ス 交通網の整備	-4.5
エ 防災対策の充実	-5.1
カ 芸術文化の振興	-5.5
タ 交通安全・防犯対策	-6.3
イ 県政の広報・広聴活動	-10.0

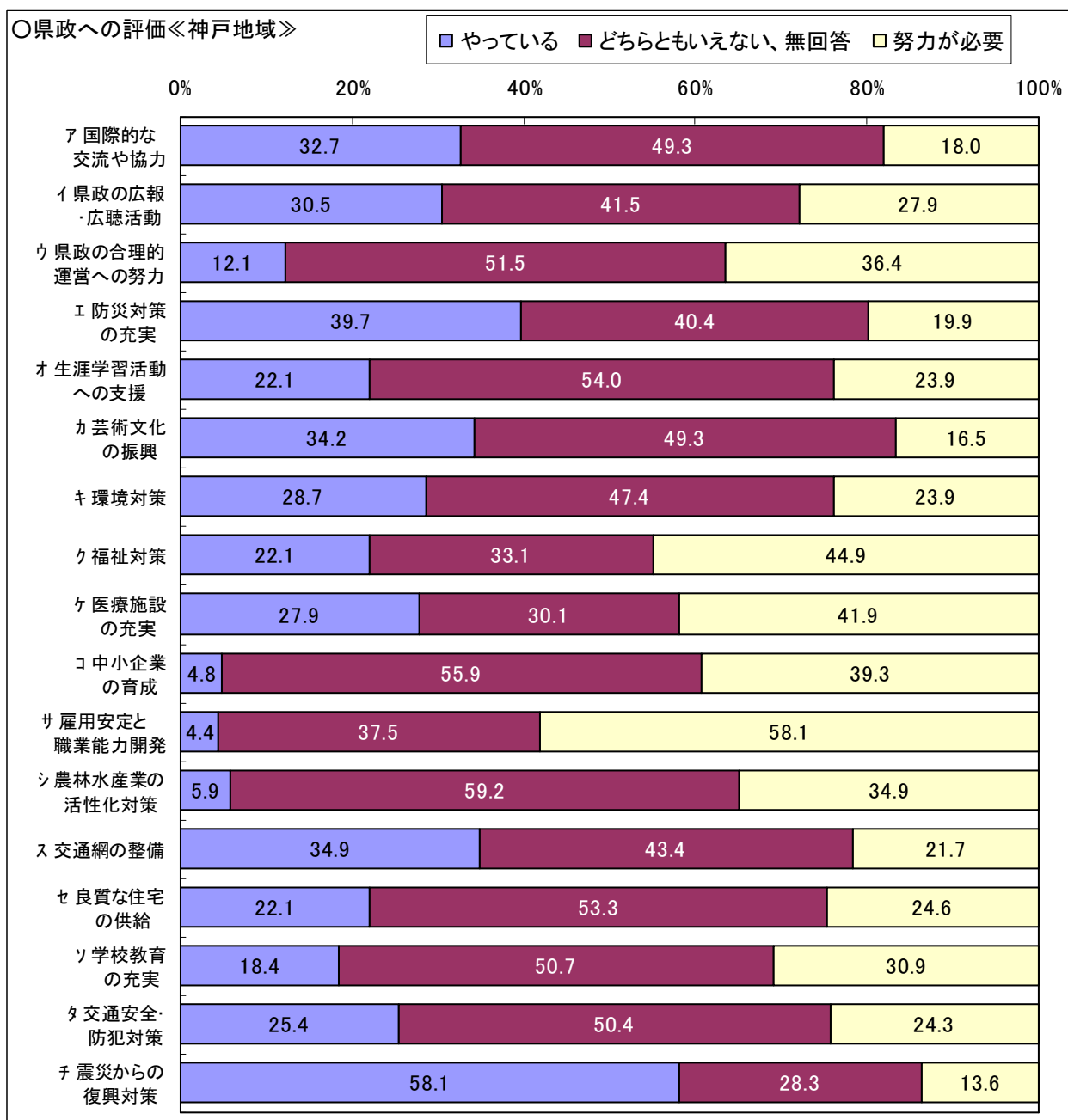
◎県政への評価【前年度比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
サ 雇用安定と職業能力開発	7.3
ス 交通網の整備	5.5
イ 県政の広報・広聴活動	4.4
ア 国際的な交流や協力	4.1
ク 福祉対策	4.0
オ 生涯学習活動への支援	3.9
カ 芸術文化の振興	3.3
ソ 学校教育の充実	3.1
チ 震災からの復興対策	2.3
セ 良質な住宅の供給	2.1
コ 中小企業の育成	2.0
タ 交通安全・防犯対策	1.7
エ 防災対策の充実	1.4
シ 農林水産業の活性化対策	1.0
キ 環境対策	0.6
ウ 県政の合理的運営への努力	-0.6
ケ 医療施設の充実	-2.0

《神戸》

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(58.1%)で5割台後半と最も多く、「エ 防災対策の充実」(39.7%)、「ス 交通網の整備」(34.9%)、「カ 芸術文化の振興」(34.2%)など、5項目が3割台で続いている。
- 『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力開発」(58.1%)で最も多く、「ク 福祉対策」(44.9%)、「ケ 医療施設の充実」(41.9%)が4割台で続いている。
- 17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



- 神戸で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「チ 震災からの復興対策」(7.2ポイント)、「ケ 医療施設の充実」(6.3ポイント)、「カ 芸術文化の振興」(6.3ポイント)など、17項目全てで上回っている。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「イ 県政の広報・広聴活動」(6.0ポイント)、「ウ 県政の合理的運営への努力」(4.8ポイント)、「ア 国際的な交流や協力」(3.2ポイント)など8項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「ク 福祉対策」(5.0ポイント)、「ケ 医療施設の充実」(4.7ポイント)、「ソ 学校教育の充実」(3.7ポイント)など7項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「サ 雇用安定と職業能力開発」(11.6ポイント)、「ア 国際的な交流や協力」(7.5ポイント)、「イ 県政の広報・広聴活動」(7.4ポイント)、「オ 生涯学習活動への支援」(7.2ポイント)など11項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
チ 震災からの復興対策	7.2
ケ 医療施設の充実	6.3
カ 芸術文化の振興	6.3
セ 良質な住宅の供給	4.9
ア 国際的な交流や協力	4.9
ク 福祉対策	4.5
ス 交通網の整備	4.3
キ 環境対策	2.9
ソ 学校教育の充実	2.5
オ 生涯学習活動への支援	2.3
エ 防災対策の充実	1.6
イ 県政の広報・広聴活動	1.2
コ 中小企業の育成	0.8
タ 交通安全・防犯対策	0.5
サ 雇用安定と職業能力開発	0.3
シ 農林水産業の活性化対策	0.3
ウ 県政の合理的運営への努力	0.1

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
イ 県政の広報・広聴活動	6.0
ウ 県政の合理的運営への努力	4.8
ア 国際的な交流や協力	3.2
オ 生涯学習活動への支援	1.7
セ 良質な住宅の供給	1.3
サ 雇用安定と職業能力開発	0.9
ク 福祉対策	0.3
カ 芸術文化の振興	0.1
チ 震災からの復興対策	-0.7
エ 防災対策の充実	-0.8
キ 環境対策	-0.9
シ 農林水産業の活性化対策	-1.0
ケ 医療施設の充実	-2.2
タ 交通安全・防犯対策	-2.6
ソ 学校教育の充実	-3.4
ス 交通網の整備	-3.8
コ 中小企業の育成	-4.5

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
ク 福祉対策	5.0
ケ 医療施設の充実	4.7
ソ 学校教育の充実	3.7
セ 良質な住宅の供給	1.9
チ 震災からの復興対策	1.9
オ 生涯学習活動への支援	1.5
キ 環境対策	0.8
シ 農林水産業の活性化対策	-0.7
コ 中小企業の育成	-1.0
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.4
カ 芸術文化の振興	-1.9
ス 交通網の整備	-1.9
ア 国際的な交流や協力	-2.6
エ 防災対策の充実	-3.7
サ 雇用安定と職業能力開発	-3.7
タ 交通安全・防犯対策	-8.7
イ 県政の広報・広聴活動	-12.1

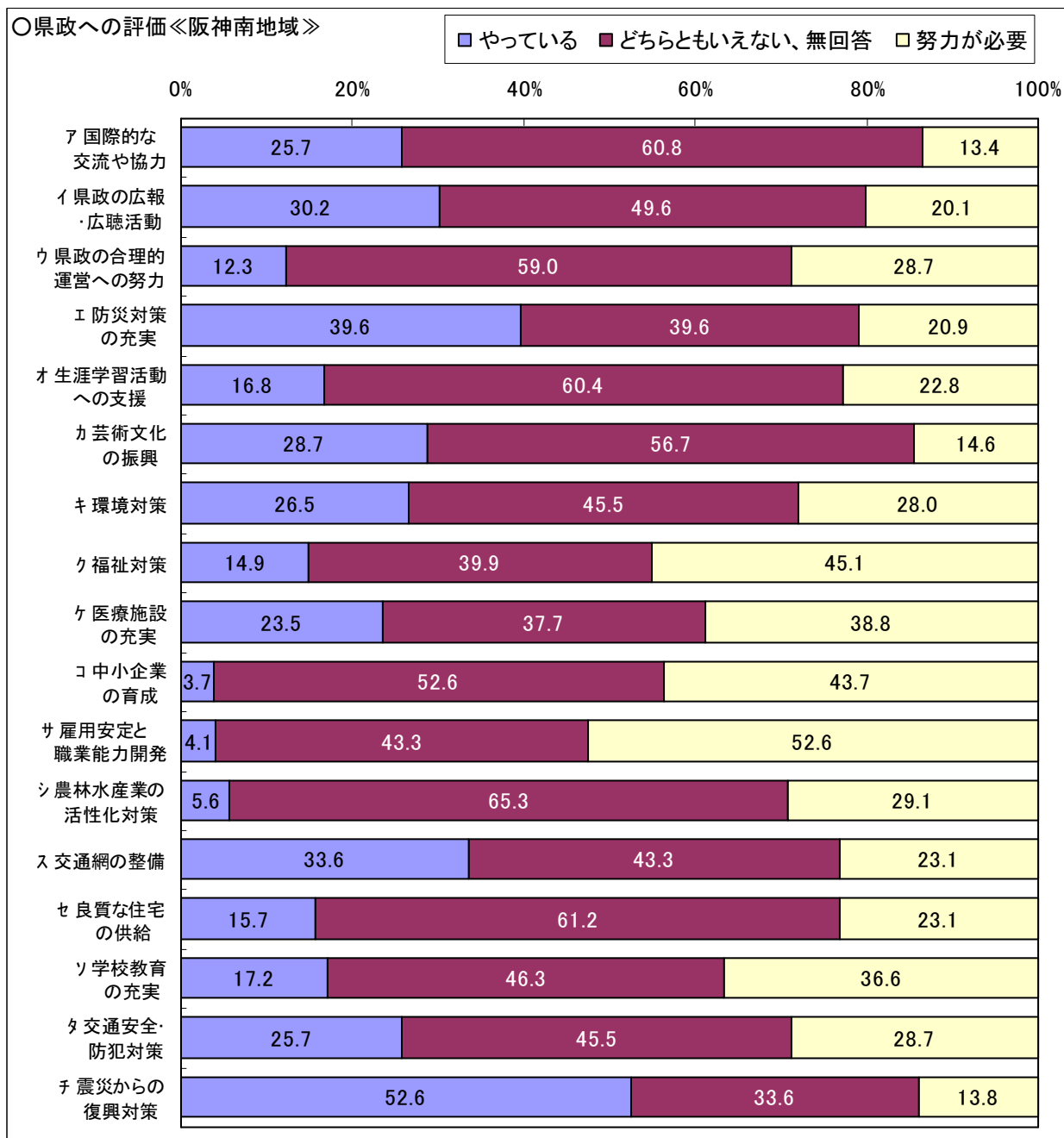
◎県政への評価【前年結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
サ 雇用安定と職業能力開発	11.6
ア 国際的な交流や協力	7.5
イ 県政の広報・広聴活動	7.4
オ 生涯学習活動への支援	7.2
ス 交通網の整備	5.8
カ 芸術文化の振興	5.7
チ 震災からの復興対策	2.4
ク 福祉対策	2.2
シ 農林水産業の活性化対策	2.0
タ 交通安全・防犯対策	1.8
セ 良質な住宅の供給	1.8
ソ 学校教育の充実	-0.1
エ 防災対策の充実	-0.3
キ 環境対策	-0.9
コ 中小企業の育成	-1.0
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.2
ケ 医療施設の充実	-2.7

《阪神南》

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(52.6%)で5割を超え最も多く、「エ 防災対策の充実」(39.6%)、「ス 交通網の整備」(33.6%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(30.2%)が3割台で続いている。
- 『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力の開発」(52.6%)で5割を超え、「ク 福祉対策」(45.1%)、「コ 中小企業の育成」(43.7%)が4割台で、「ケ 医療施設の充実」(38.8%)、「ソ 学校教育の充実」(36.6%)が3割台で続いている。
- 17項目中、11項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



- 阪神南で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「ス 交通網の整備」(2.9ポイント)、「ケ 医療施設の充実」(1.8ポイント)、「チ 震災からの復興対策」(1.7ポイント)など12項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「キ 環境対策」(3.2ポイント)、「ソ 学校教育の充実」(2.3ポイント)など6項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「ケ 医療施設の充実」(5.0ポイント)、「ソ 学校教育の充実」(2.2ポイント)の2項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「キ 環境対策」(5.5ポイント)、「エ 防災対策の充実」(5.1ポイント)、「ソ 学校教育の充実」(3.5ポイント)など9項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
ス 交通網の整備	2.9
ケ 医療施設の充実	1.8
チ 震災からの復興対策	1.7
エ 防災対策の充実	1.5
ソ 学校教育の充実	1.3
イ 県政の広報・広聴活動	0.9
タ 交通安全・防犯対策	0.9
カ 芸術文化の振興	0.8
キ 環境対策	0.7
ウ 県政の合理的運営への努力	0.3
シ 農林水産業の活性化対策	0.0
サ 雇用安定と職業能力開発	0.0
コ 中小企業の育成	-0.3
セ 良質な住宅の供給	-1.4
ア 国際的な交流や協力	-2.1
ク 福祉対策	-2.6
オ 生涯学習活動への支援	-2.9

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
キ 環境対策	3.2
ソ 学校教育の充実	2.3
タ 交通安全・防犯対策	1.9
オ 生涯学習活動への支援	0.6
ク 福祉対策	0.6
エ 防災対策の充実	0.2
コ 中小企業の育成	-0.2
セ 良質な住宅の供給	-0.2
チ 震災からの復興対策	-0.5
ア 国際的な交流や協力	-1.4
イ 県政の広報・広聴活動	-1.8
カ 芸術文化の振興	-1.9
ス 交通網の整備	-2.3
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.9
サ 雇用安定と職業能力開発	-4.6
ケ 医療施設の充実	-5.3
シ 農林水産業の活性化対策	-6.9

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
ケ 医療施設の充実	5.0
ソ 学校教育の充実	2.2
タ 交通安全・防犯対策	-2.2
ク 福祉対策	-2.4
サ 雇用安定と職業能力開発	-3.0
シ 農林水産業の活性化対策	-3.1
セ 良質な住宅の供給	-3.2
チ 震災からの復興対策	-3.7
コ 中小企業の育成	-4.1
オ 生涯学習活動への支援	-4.5
ウ 県政の合理的運営への努力	-4.6
キ 環境対策	-5.4
ア 国際的な交流や協力	-6.1
エ 防災対策の充実	-7.7
ス 交通網の整備	-7.8
イ 県政の広報・広聴活動	-9.5
カ 芸術文化の振興	-11.8

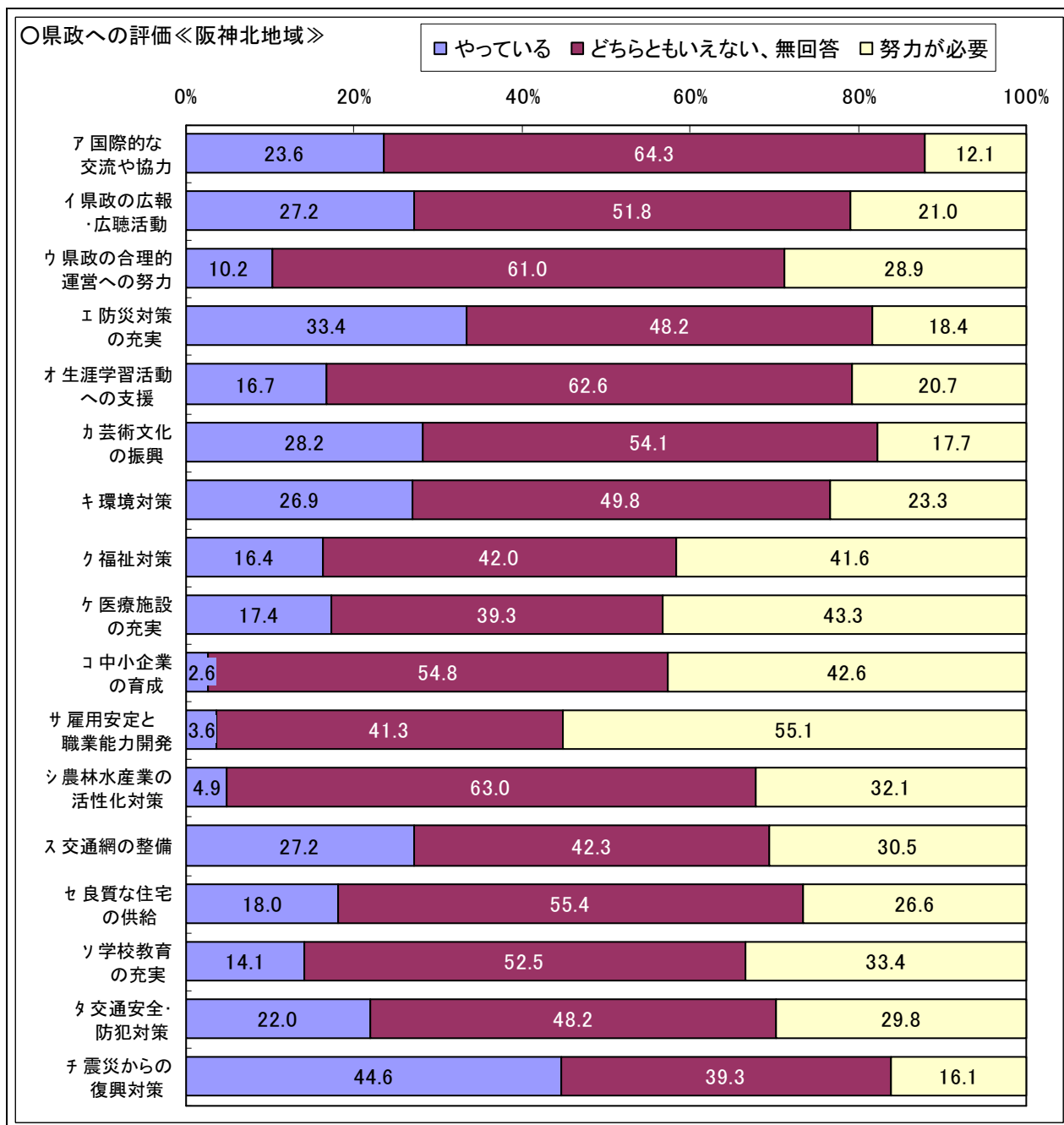
◎県政への評価【前年結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
キ 環境対策	5.5
エ 防災対策の充実	5.1
ソ 学校教育の充実	3.5
ク 福祉対策	1.8
ス 交通網の整備	1.1
チ 震災からの復興対策	0.8
イ 県政の広報・広聴活動	0.5
タ 交通安全・防犯対策	0.4
ア 国際的な交流や協力	0.0
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.1
コ 中小企業の育成	-0.4
オ 生涯学習活動への支援	-0.9
カ 芸術文化の振興	-1.2
セ 良質な住宅の供給	-2.8
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.6
シ 農林水産業の活性化対策	-4.4
ケ 医療施設の充実	-6.9

《阪神北》

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(44.6%)で4割台半ばと最も多く、「エ 防災対策の充実」(33.4%)が3割台で続き、「カ 芸術文化の振興」(28.2%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(27.2%)など6地域が2割台で続いている。
- 『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力開発」(55.1%)が5割台半ばと最も多く、「ケ 医療施設の充実」(43.3%)、「コ 中小企業の育成」(42.6%)、「ク 福祉対策」(41.6%)が4割台で続いている。
- 17項目中、11項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



- 阪神北で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「キ 環境対策」(1.1ポイント)など3項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「ス 交通網の整備」(5.0ポイント)、「セ 良質な住宅の供給」(3.2ポイント)など5項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「ケ 医療施設の充実」(0.9ポイント)の2項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「ス 交通網の整備」(10.4ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(8.7ポイント)、「セ 良質な住宅の供給」(8.6ポイント)など16項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
キ 環境対策	1.1
セ 良質な住宅の供給	0.9
カ 芸術文化の振興	0.3
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.5
シ 農林水産業の活性化対策	-0.6
ク 福祉対策	-1.1
コ 中小企業の育成	-1.4
ソ 学校教育の充実	-1.8
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.9
イ 県政の広報・広聴活動	-2.1
タ 交通安全・防犯対策	-2.9
オ 生涯学習活動への支援	-3.0
ス 交通網の整備	-3.4
ア 国際的な交流や協力	-4.3
ケ 医療施設の充実	-4.3
エ 防災対策の充実	-4.6
チ 震災からの復興対策	-6.3

◎県政への評価【全県結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ス 交通網の整備	5.0
セ 良質な住宅の供給	3.2
タ 交通安全・防犯対策	3.0
チ 震災からの復興対策	1.7
カ 芸術文化の振興	1.3
ソ 学校教育の充実	-0.8
ケ 医療施設の充実	-0.8
イ 県政の広報・広聴活動	-1.0
コ 中小企業の育成	-1.2
オ 生涯学習活動への支援	-1.5
キ 環境対策	-1.5
サ 雇用安定と職業能力開発	-2.1
エ 防災対策の充実	-2.3
ア 国際的な交流や協力	-2.7
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.8
ク 福祉対策	-3.0
シ 農林水産業の活性化対策	-3.8

◎県政への評価【前年結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

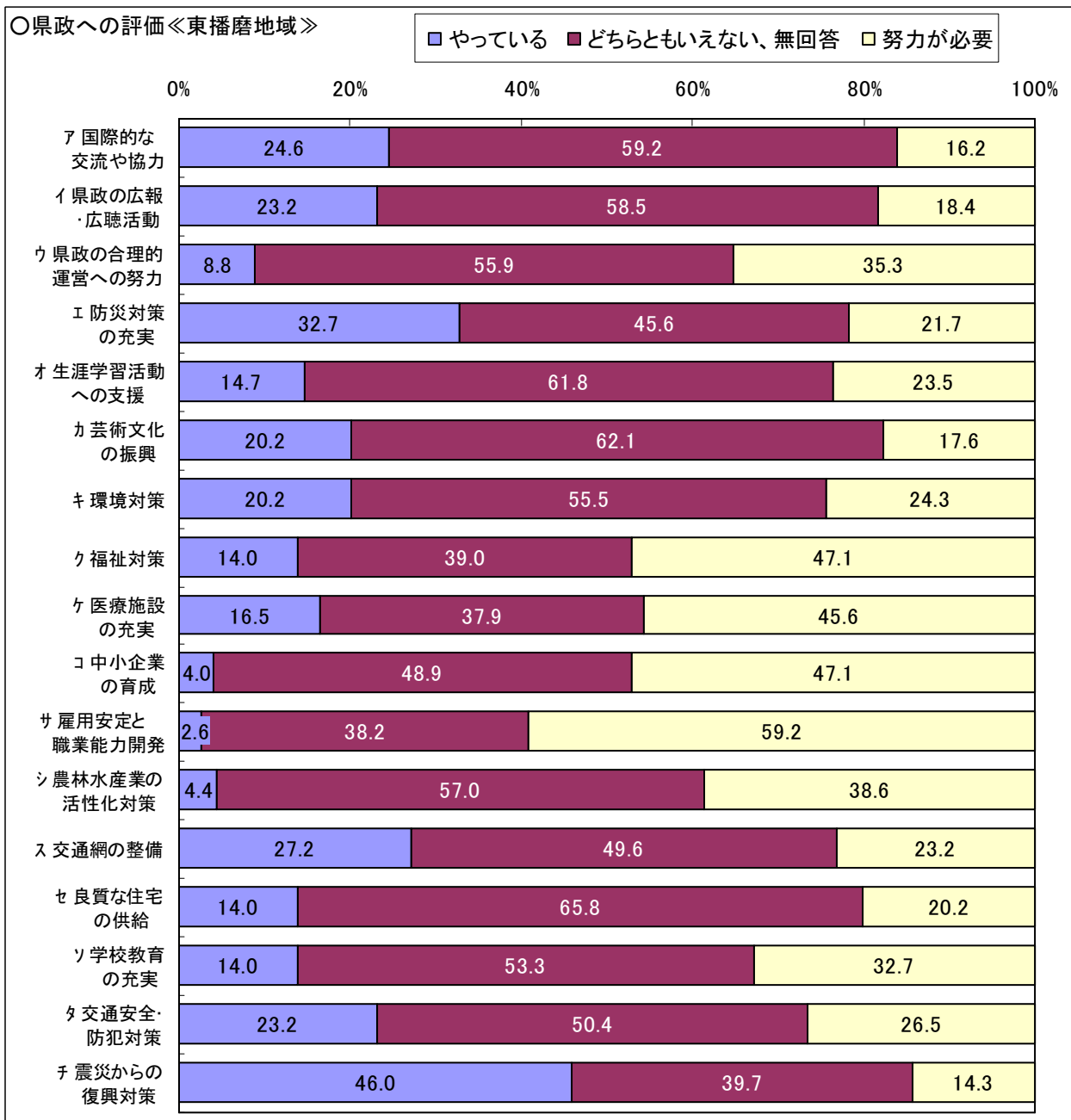
「やっている」	増減
ケ 医療施設の充実	0.9
セ 良質な住宅の供給	0.1
サ 雇用安定と職業能力開発	0.0
ク 福祉対策	-0.1
キ 環境対策	-0.4
シ 農林水産業の活性化対策	-0.8
ア 国際的な交流や協力	-1.5
ス 交通網の整備	-2.2
コ 中小企業の育成	-2.4
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.7
オ 生涯学習活動への支援	-4.1
ソ 学校教育の充実	-4.2
エ 防災対策の充実	-4.2
カ 芸術文化の振興	-4.8
イ 県政の広報・広聴活動	-6.5
タ 交通安全・防犯対策	-9.2
チ 震災からの復興対策	-9.9

◎県政への評価【前年結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
ス 交通網の整備	10.4
タ 交通安全・防犯対策	8.7
セ 良質な住宅の供給	8.6
サ 雇用安定と職業能力開発	8.5
ク 福祉対策	7.9
チ 震災からの復興対策	6.7
ソ 学校教育の充実	5.1
イ 県政の広報・広聴活動	4.9
カ 芸術文化の振興	4.1
キ 環境対策	3.9
ケ 医療施設の充実	3.9
コ 中小企業の育成	3.2
オ 生涯学習活動への支援	3.1
シ 農林水産業の活性化対策	2.0
ア 国際的な交流や協力	1.7
エ 防災対策の充実	0.1
ウ 県政の合理的運営への努力	-0.2

《東播磨》

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(46.0%)で4割台半ばと最も多く、「エ 防災対策の充実」(32.7%)が3割台で続き、「ス 交通網の整備」(27.2%)、「ア 国際的な交流や協力」(24.6%)など6項目が2割台で続いている。
- 『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力開発」(59.2%)で約6割と最も多く、「ク 福祉対策」、「コ 中小企業の育成」(ともに47.1%)、「ケ 医療施設の充実」(45.6%)が4割台で続いている。
- 17項目中、11項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



- 東播磨で『やっている』が全県結果を上回っているものではなく、「コ 中小企業の育成」が全県結果と同じである。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「ウ 県政の合理的運営への努力」(3.7ポイント)、「コ 中小企業の育成」(3.2ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(2.6ポイント)など11項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているものではなく、全ての項目において減少している。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「サ 雇用安定と職業能力開発」(9.0ポイント)、「ク 福祉対策」(7.4ポイント)、「オ 生涯学習活動への支援」(5.6ポイント)など14項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
コ 中小企業の育成	0.0
シ 農林水産業の活性化対策	-1.2
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.5
タ 交通安全・防犯対策	-1.7
ソ 学校教育の充実	-1.9
セ 良質な住宅の供給	-3.1
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.2
ア 国際的な交流や協力	-3.2
ス 交通網の整備	-3.4
ク 福祉対策	-3.6
チ 震災からの復興対策	-5.0
オ 生涯学習活動への支援	-5.0
ケ 医療施設の充実	-5.1
エ 防災対策の充実	-5.4
キ 環境対策	-5.5
イ 県政の広報・広聴活動	-6.1
カ 芸術文化の振興	-7.7

◎県政への評価【全県結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ウ 県政の合理的運営への努力	3.7
コ 中小企業の育成	3.2
シ 農林水産業の活性化対策	2.6
ク 福祉対策	2.5
サ 雇用安定と職業能力開発	2.0
ケ 医療施設の充実	1.5
オ 生涯学習活動への支援	1.3
ア 国際的な交流や協力	1.3
カ 芸術文化の振興	1.2
エ 防災対策の充実	1.0
チ 震災からの復興対策	0.0
タ 交通安全・防犯対策	-0.4
キ 環境対策	-0.5
ソ 学校教育の充実	-1.5
ス 交通網の整備	-2.3
セ 良質な住宅の供給	-3.2
イ 県政の広報・広聴活動	-3.6

◎県政への評価【前年結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

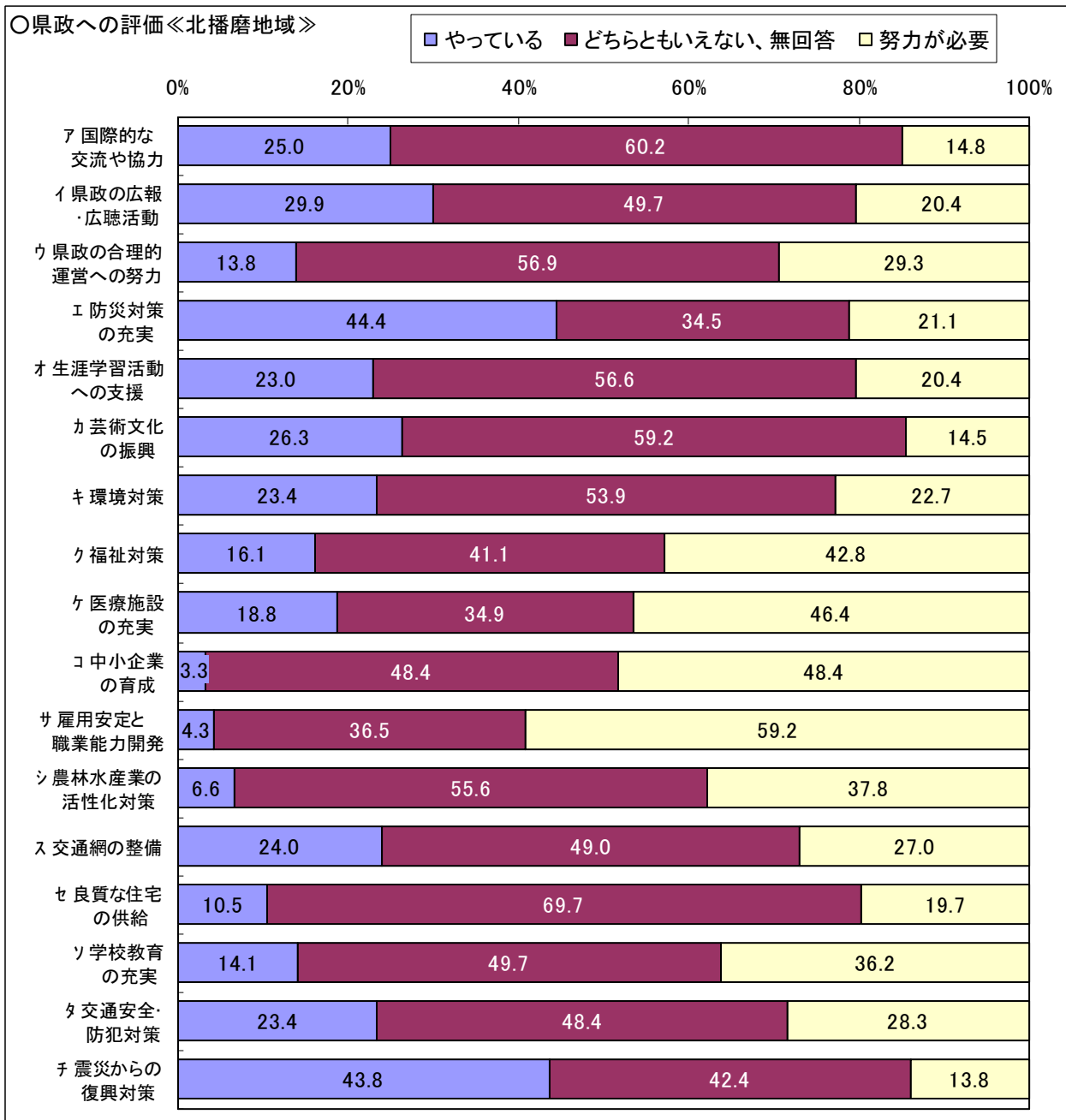
「やっている」	増減
セ 良質な住宅の供給	-1.6
コ 中小企業の育成	-1.8
キ 環境対策	-2.0
ケ 医療施設の充実	-2.9
シ 農林水産業の活性化対策	-3.0
ク 福祉対策	-3.2
ソ 学校教育の充実	-3.5
オ 生涯学習活動への支援	-3.6
サ 雇用安定と職業能力開発	-4.0
ウ 県政の合理的運営への努力	-4.8
ア 国際的な交流や協力	-5.3
エ 防災対策の充実	-5.4
カ 芸術文化の振興	-6.2
チ 震災からの復興対策	-6.6
タ 交通安全・防犯対策	-6.8
ス 交通網の整備	-7.0
イ 県政の広報・広聴活動	-10.7

◎県政への評価【前年結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
サ 雇用安定と職業能力開発	9.0
ク 福祉対策	7.4
オ 生涯学習活動への支援	5.6
カ 芸術文化の振興	5.6
コ 中小企業の育成	5.4
ア 国際的な交流や協力	5.3
ス 交通網の整備	4.9
シ 農林水産業の活性化対策	4.8
ウ 県政の合理的運営への努力	4.2
ソ 学校教育の充実	3.1
エ 防災対策の充実	2.2
イ 県政の広報・広聴活動	1.7
チ 震災からの復興対策	1.5
セ 良質な住宅の供給	0.8
ケ 医療施設の充実	-2.3
キ 環境対策	-4.9
タ 交通安全・防犯対策	-5.8

《北播磨》

- 『やっている』は、「エ 防災対策の充実」(44.4%)、「チ 震災からの復興対策」(43.8%)がともに4割台半ばと多く、「イ 県政の広報・広聴活動」(29.9%)など7項目が2割台で続いている。
- 『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力開発」(59.2%)で約6割と最も多く、「コ 中小企業の育成」(48.4%)、「ケ 医療施設の充実」(46.4%)、「ク 福祉対策」(42.8%)が4割台で続いている。
- 17項目中、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



- 北播磨で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「エ 防災対策の充実」(6.3ポイント)、「オ 生涯学習活動への支援」(3.3ポイント)など6項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「コ 中小企業の育成」(4.5ポイント)、「ケ 医療施設の充実」(2.3ポイント)、「サ 雇用安定と職業能力開発」(2.0ポイント)など9項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「ソ 学校教育の充実」(0.9ポイント)の2項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「サ 雇用安定と職業能力開発」(6.4ポイント)、「ス 交通網の整備」(5.5ポイント)、「ア 国際的な交流や協力」(4.8ポイント)など13項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
エ 防災対策の充実	6.3
オ 生涯学習活動への支援	3.3
ウ 県政の合理的運営への努力	1.8
シ 農林水産業の活性化対策	1.0
イ 県政の広報・広聴活動	0.6
サ 雇用安定と職業能力開発	0.2
コ 中小企業の育成	-0.7
ク 福祉対策	-1.4
タ 交通安全・防犯対策	-1.5
カ 芸術文化の振興	-1.6
ソ 学校教育の充実	-1.7
キ 環境対策	-2.4
ア 国際的な交流や協力	-2.9
ケ 医療施設の充実	-2.9
セ 良質な住宅の供給	-6.6
ス 交通網の整備	-6.6
チ 震災からの復興対策	-7.2

◎県政への評価【全県結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
コ 中小企業の育成	4.5
ケ 医療施設の充実	2.3
サ 雇用安定と職業能力開発	2.0
ソ 学校教育の充実	1.9
シ 農林水産業の活性化対策	1.9
ス 交通網の整備	1.5
タ 交通安全・防犯対策	1.4
エ 防災対策の充実	0.4
ア 国際的な交流や協力	0.0
チ 震災からの復興対策	-0.5
イ 県政の広報・広聴活動	-1.5
オ 生涯学習活動への支援	-1.8
ク 福祉対策	-1.8
カ 芸術文化の振興	-1.9
キ 環境対策	-2.1
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.3
セ 良質な住宅の供給	-3.6

◎県政への評価【前年結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

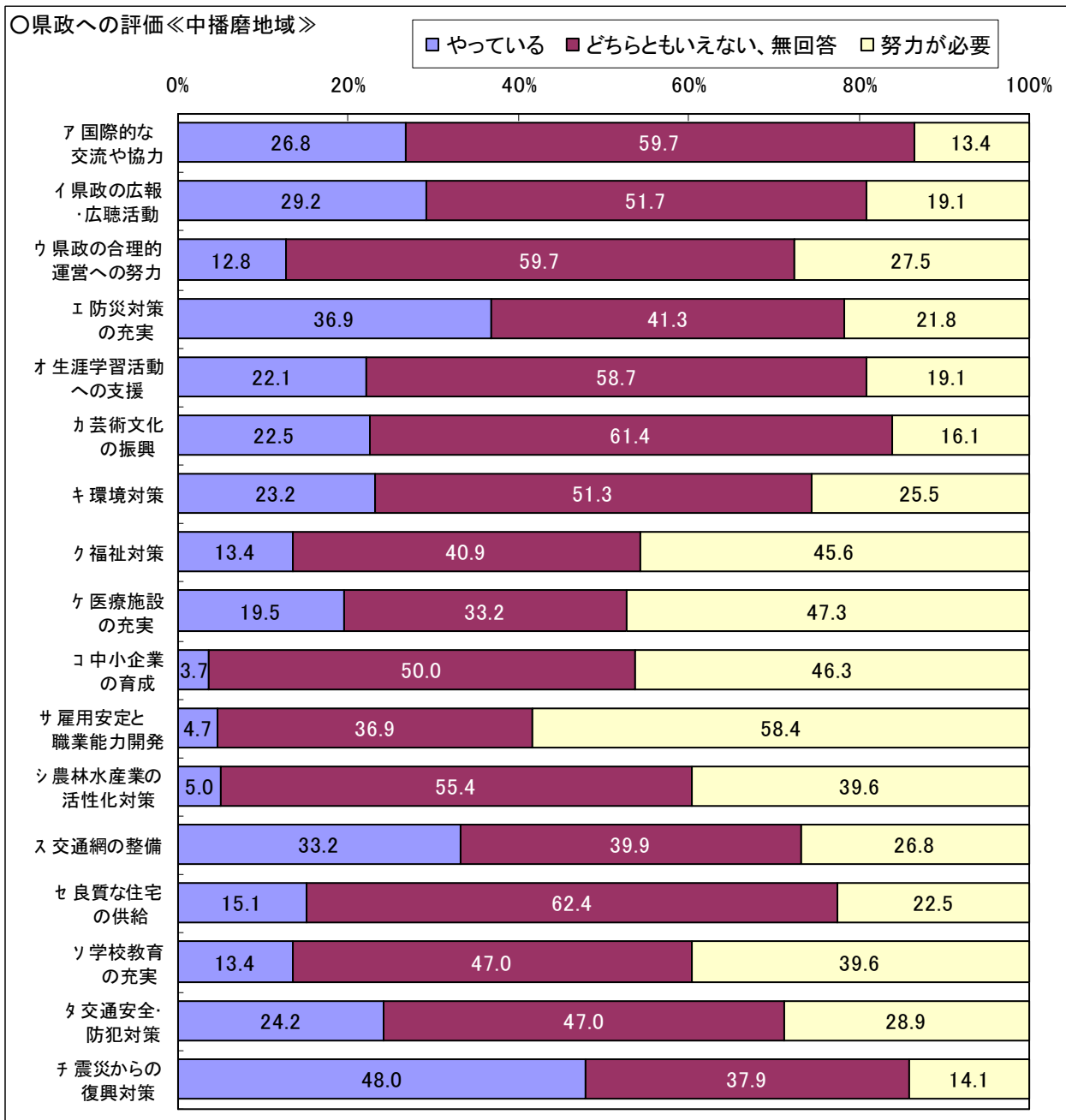
「やっている」	増減
ソ 学校教育の充実	0.9
ケ 医療施設の充実	0.2
サ 雇用安定と職業能力開発	0.0
シ 農林水産業の活性化対策	-0.2
オ 生涯学習活動への支援	-0.5
コ 中小企業の育成	-1.4
ク 福祉対策	-2.1
ア 国際的な交流や協力	-2.9
セ 良質な住宅の供給	-3.0
カ 芸術文化の振興	-3.7
エ 防災対策の充実	-4.2
ウ 県政の合理的運営への努力	-5.5
キ 環境対策	-5.9
ス 交通網の整備	-8.1
イ 県政の広報・広聴活動	-8.6
タ 交通安全・防犯対策	-9.9
チ 震災からの復興対策	-12.0

◎県政への評価【前年結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
サ 雇用安定と職業能力開発	6.4
ス 交通網の整備	5.5
ア 国際的な交流や協力	4.8
コ 中小企業の育成	4.4
ク 福祉対策	3.5
タ 交通安全・防犯対策	3.3
オ 生涯学習活動への支援	2.2
イ 県政の広報・広聴活動	2.2
ソ 学校教育の充実	1.9
ウ 県政の合理的運営への努力	1.4
セ 良質な住宅の供給	1.2
シ 農林水産業の活性化対策	0.7
エ 防災対策の充実	0.0
カ 芸術文化の振興	-0.9
チ 震災からの復興対策	-1.2
ケ 医療施設の充実	-2.9
キ 環境対策	-5.2

《中播磨》

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(48.0%)で4割台後半と最も多く、「エ 防災対策の充実」(36.9%)、「ス 交通網の整備」(33.2%)が3割台で続いている。
- 『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力の開発」(58.4%)で5割台後半と最も多く、「ケ 医療施設の充実」(47.3%)、「コ 中小企業の育成」(46.3%)、「ク 福祉対策」(45.6%)が4割台で続いている。
- 17項目中、10項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



- 中播磨で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「ス 交通網の整備」(2.6ポイント)、「オ 生涯学習活動への支援」(2.4ポイント)など4項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「ソ 学校教育の充実」(5.3ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(3.6ポイント)、「ケ 医療施設の充実」(3.2ポイント)など10項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「ケ 医療施設の充実」(5.5ポイント)など2項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「ソ 学校教育の充実」(8.5ポイント)、「サ 雇用安定と職業能力の開発」(7.4ポイント)、「ス 交通網の整備」(6.2ポイント)など15項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
ス 交通網の整備	2.6
オ 生涯学習活動への支援	2.4
ウ 県政の合理的運営への努力	0.7
サ 雇用安定と職業能力開発	0.6
イ 県政の広報・広聴活動	-0.1
コ 中小企業の育成	-0.3
シ 農林水産業の活性化対策	-0.5
タ 交通安全・防犯対策	-0.7
ア 国際的な交流や協力	-1.0
エ 防災対策の充実	-1.2
セ 良質な住宅の供給	-2.0
ケ 医療施設の充実	-2.2
ソ 学校教育の充実	-2.5
キ 環境対策	-2.6
チ 震災からの復興対策	-2.9
ク 福祉対策	-4.1
カ 芸術文化の振興	-5.5

◎県政への評価【全県結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ソ 学校教育の充実	5.3
シ 農林水産業の活性化対策	3.6
ケ 医療施設の充実	3.2
コ 中小企業の育成	2.5
タ 交通安全・防犯対策	2.0
ス 交通網の整備	1.4
サ 雇用安定と職業能力開発	1.2
エ 防災対策の充実	1.2
ク 福祉対策	1.0
キ 環境対策	0.7
チ 震災からの復興対策	-0.2
カ 芸術文化の振興	-0.3
セ 良質な住宅の供給	-0.9
ア 国際的な交流や協力	-1.4
イ 県政の広報・広聴活動	-2.8
オ 生涯学習活動への支援	-3.1
ウ 県政の合理的運営への努力	-4.1

◎県政への評価【前年結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

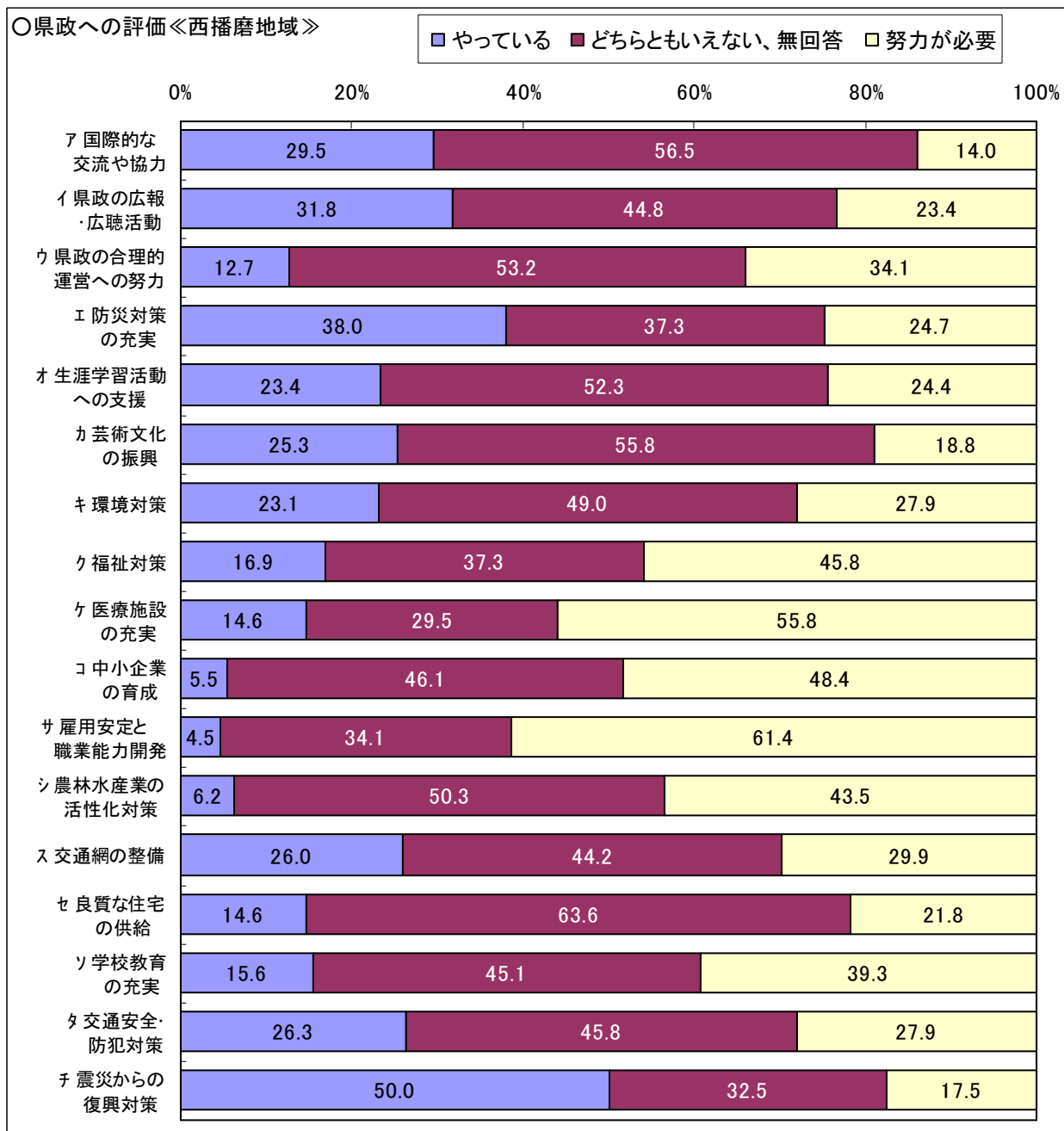
「やっている」	増減
ケ 医療施設の充実	5.5
サ 雇用安定と職業能力開発	0.8
セ 良質な住宅の供給	-0.1
シ 農林水産業の活性化対策	-0.4
オ 生涯学習活動への支援	-0.4
ソ 学校教育の充実	-1.4
コ 中小企業の育成	-1.4
ク 福祉対策	-1.8
タ 交通安全・防犯対策	-2.3
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.8
キ 環境対策	-2.9
ス 交通網の整備	-4.1
チ 震災からの復興対策	-4.5
ア 国際的な交流や協力	-5.1
エ 防災対策の充実	-6.7
カ 芸術文化の振興	-9.0
イ 県政の広報・広聴活動	-9.7

◎県政への評価【前年結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
ソ 学校教育の充実	8.5
サ 雇用安定と職業能力開発	7.4
ス 交通網の整備	6.2
オ 生涯学習活動への支援	5.9
コ 中小企業の育成	5.5
イ 県政の広報・広聴活動	5.1
ア 国際的な交流や協力	3.7
セ 良質な住宅の供給	3.4
カ 芸術文化の振興	3.3
タ 交通安全・防犯対策	3.2
チ 震災からの復興対策	2.8
ク 福祉対策	2.4
エ 防災対策の充実	1.6
ケ 医療施設の充実	1.0
シ 農林水産業の活性化対策	0.7
キ 環境対策	-1.7
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.8

《西播磨》

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(50.0%)で5割と最も多く、「エ 防災対策の充実」(38.0%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(31.8%)が3割台で続いている。
- 『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力開発」(61.4%)で6割を超え最も多く、「ケ 医療施設の充実」(55.8%)、「コ 中小企業の育成」(48.4%)、「ク 福祉対策」(45.8%)と続いている。
- 17項目中、12項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



- 西播磨で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「オ 生涯学習活動への支援」(3.7ポイント)、「イ 県政の広報・広聴活動」(2.5ポイント)など8項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「ケ 医療施設の充実」(11.7ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(7.6ポイント)、「ソ 学校教育の充実」(5.0ポイント)など15項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「チ 震災からの復興対策」(1.0ポイント)のみである。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「イ 県政の広報・広聴活動」(9.8ポイント)、「サ 雇用安定と職業能力開発」(8.5ポイント)、「ケ 医療施設の充実」(6.5ポイント)など15項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	3.7
イ 県政の広報・広聴活動	2.5
ア 国際的な交流や協力	1.7
コ 中小企業の育成	1.5
タ 交通安全・防犯対策	1.4
ウ 県政の合理的運営への努力	0.6
シ 農林水産業の活性化対策	0.6
サ 雇用安定と職業能力開発	0.5
エ 防災対策の充実	-0.1
ソ 学校教育の充実	-0.3
ク 福祉対策	-0.6
チ 震災からの復興対策	-0.9
セ 良質な住宅の供給	-2.5
カ 芸術文化の振興	-2.6
キ 環境対策	-2.7
ス 交通網の整備	-4.7
ケ 医療施設の充実	-7.0

◎県政への評価【全県結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ケ 医療施設の充実	11.7
シ 農林水産業の活性化対策	7.6
ソ 学校教育の充実	5.0
コ 中小企業の育成	4.5
ス 交通網の整備	4.4
サ 雇用安定と職業能力開発	4.2
エ 防災対策の充実	4.0
チ 震災からの復興対策	3.2
キ 環境対策	3.1
ウ 県政の合理的運営への努力	2.5
カ 芸術文化の振興	2.4
オ 生涯学習活動への支援	2.2
イ 県政の広報・広聴活動	1.4
ク 福祉対策	1.2
タ 交通安全・防犯対策	1.1
ア 国際的な交流や協力	-0.9
セ 良質な住宅の供給	-1.6

◎県政への評価【前年結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

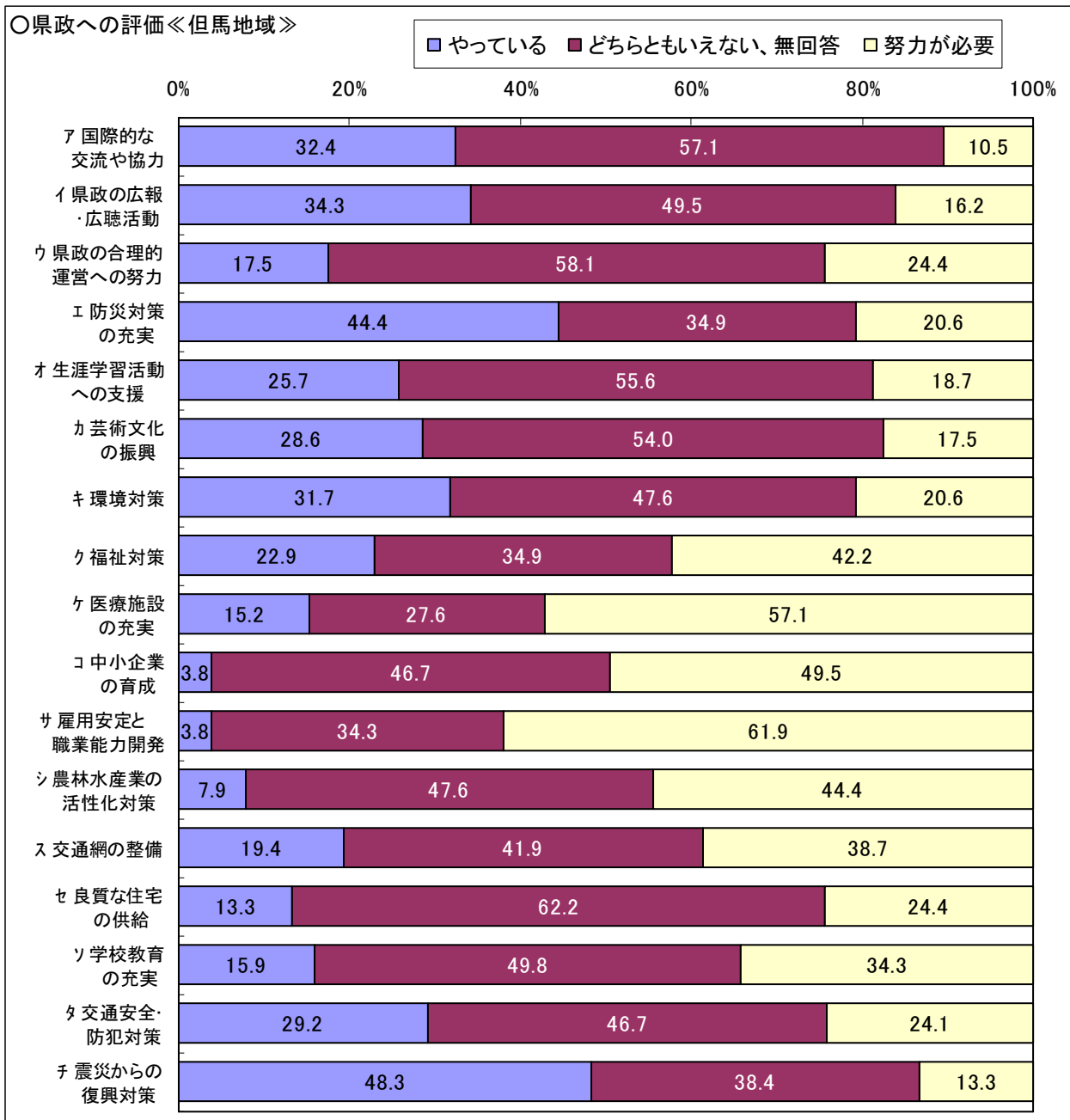
「やっている」	増減
チ 震災からの復興対策	1.0
オ 生涯学習活動への支援	-0.2
コ 中小企業の育成	-0.3
ク 福祉対策	-0.9
サ 雇用安定と職業能力開発	-1.3
セ 良質な住宅の供給	-2.5
ケ 医療施設の充実	-2.5
ソ 学校教育の充実	-3.1
シ 農林水産業の活性化対策	-3.2
カ 芸術文化の振興	-3.4
エ 防災対策の充実	-3.9
タ 交通安全・防犯対策	-4.3
ス 交通網の整備	-5.0
ウ 県政の合理的運営への努力	-6.0
ア 国際的な交流や協力	-6.6
キ 環境対策	-6.6
イ 県政の広報・広聴活動	-9.5

◎県政への評価【前年結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
イ 県政の広報・広聴活動	9.8
サ 雇用安定と職業能力開発	8.5
ケ 医療施設の充実	6.5
ス 交通網の整備	6.3
ソ 学校教育の充実	6.1
ク 福祉対策	5.8
ア 国際的な交流や協力	5.6
コ 中小企業の育成	4.8
ウ 県政の合理的運営への努力	4.7
シ 農林水産業の活性化対策	3.8
キ 環境対策	3.7
オ 生涯学習活動への支援	3.7
カ 芸術文化の振興	3.7
チ 震災からの復興対策	2.4
セ 良質な住宅の供給	2.1
タ 交通安全・防犯対策	-0.1
エ 防災対策の充実	-0.2

《但馬》

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(48.3%)で4割台後半と最も多く、「エ 防災対策の充実」(44.4%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(34.3%)が順で続いている。
- 『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力開発」(61.9%)で6割を超え最も多く、「ケ 医療施設の充実」(57.1%)、「コ 中小企業の育成」(49.5%)、「シ 農林水産業の活性化対策」(44.4%)の順で続いている。
- 17項目中、9項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



- 但馬で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「エ 防災対策の充実」(6.4ポイント)、「オ 生涯学習活動への支援」(6.0ポイント)、「キ 環境対策」(6.0ポイント)など11項目となっている。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「ス 交通網の整備」(13.3ポイント)、「ケ 医療施設の充実」(13.0ポイント)、「シ 農林水産業の活性化対策」(8.5ポイント)など9項目となっている。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「ケ 医療施設の充実」(3.3ポイント)、「ク 福祉対策」(1.1ポイント)など4項目となっている。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「ス 交通網の整備」(5.9ポイント)、「イ 県政の広報・広聴活動」(5.8ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(5.7ポイント)など12項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
エ 防災対策の充実	6.4
オ 生涯学習活動への支援	6.0
キ 環境対策	6.0
ウ 県政の合理的運営への努力	5.4
ク 福祉対策	5.3
イ 県政の広報・広聴活動	5.0
ア 国際的な交流や協力	4.5
タ 交通安全・防犯対策	4.3
シ 農林水産業の活性化対策	2.4
カ 芸術文化の振興	0.6
ソ 学校教育の充実	0.0
コ 中小企業の育成	-0.2
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.3
チ 震災からの復興対策	-2.7
セ 良質な住宅の供給	-3.8
ケ 医療施設の充実	-6.4
ス 交通網の整備	-11.3

◎県政への評価【全県結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
ス 交通網の整備	13.3
ケ 医療施設の充実	13.0
シ 農林水産業の活性化対策	8.5
コ 中小企業の育成	5.7
サ 雇用安定と職業能力開発	4.7
セ 良質な住宅の供給	1.1
カ 芸術文化の振興	1.1
ソ 学校教育の充実	0.0
エ 防災対策の充実	0.0
チ 震災からの復興対策	-1.0
ク 福祉対策	-2.4
タ 交通安全・防犯対策	-2.7
オ 生涯学習活動への支援	-3.5
キ 環境対策	-4.2
ア 国際的な交流や協力	-4.4
イ 県政の広報・広聴活動	-5.7
ウ 県政の合理的運営への努力	-7.2

◎県政への評価【前年結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

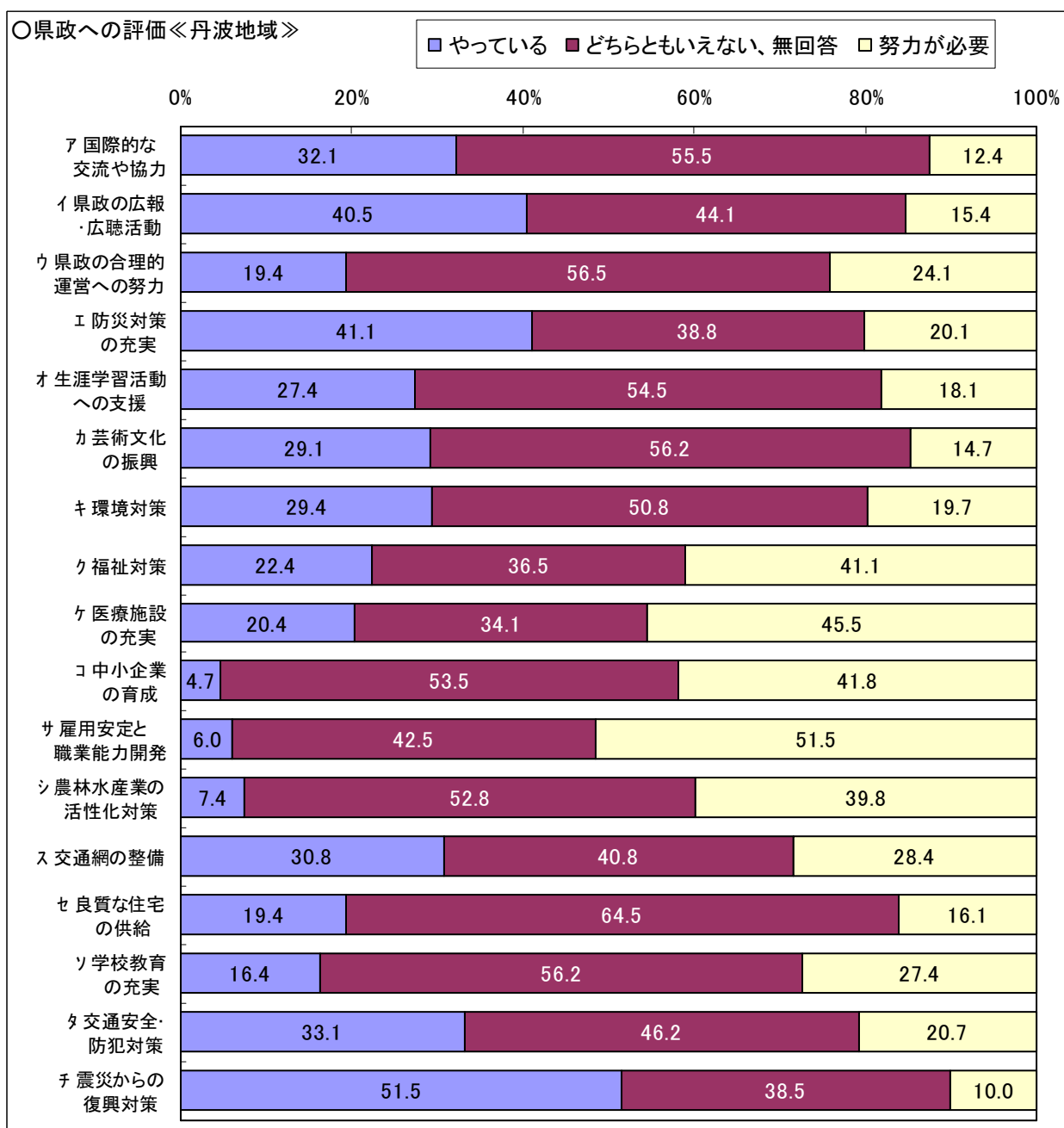
「やっている」	増減
ケ 医療施設の充実	3.3
ク 福祉対策	1.1
カ 芸術文化の振興	0.4
シ 農林水産業の活性化対策	0.3
キ 環境対策	-0.5
サ 雇用安定と職業能力開発	-0.5
オ 生涯学習活動への支援	-1.6
セ 良質な住宅の供給	-2.0
エ 防災対策の充実	-2.5
コ 中小企業の育成	-2.6
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.8
ソ 学校教育の充実	-4.1
タ 交通安全・防犯対策	-5.1
ア 国際的な交流や協力	-6.6
チ 震災からの復興対策	-8.8
ス 交通網の整備	-8.9
イ 県政の広報・広聴活動	-13.6

◎県政への評価【前年結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
ス 交通網の整備	5.9
イ 県政の広報・広聴活動	5.8
タ 交通安全・防犯対策	5.7
セ 良質な住宅の供給	5.1
サ 雇用安定と職業能力開発	3.3
ア 国際的な交流や協力	3.1
カ 芸術文化の振興	3.0
ク 福祉対策	3.0
コ 中小企業の育成	2.3
ソ 学校教育の充実	1.8
チ 震災からの復興対策	1.7
キ 環境対策	0.7
オ 生涯学習活動への支援	-0.6
エ 防災対策の充実	-1.1
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.2
シ 農林水産業の活性化対策	-3.7
ケ 医療施設の充実	-5.1

《丹波》

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(51.5%)で5割を超え最も多く、「エ 防災対策の充実」(41.1%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(40.5%)が4割台で続いている。
- 『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力開発」(51.5%)で5割を超え最も多く、「ケ 医療施設の充実」(45.5%)、「コ 中小企業の育成」(41.8%)、「ク 福祉対策」(41.1%)が4割台で続いている。
- 17項目中、10項目で『やっている』が『努力が必要』を上回っている。



- 丹波で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「イ 県政の広報・広聴活動」(11.2ポイント)、「タ 交通安全・防犯対策」(8.3ポイント)、「オ 生涯学習活動への支援」(7.7ポイント)など16項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「シ 農林水産業の活性化対策」(3.8ポイント)など3項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「ケ 医療施設の充実」(7.7ポイント)、「ク 福祉対策」(4.4ポイント)、「セ 良質な住宅の供給」(4.2ポイント)など10項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「ク 福祉対策」(7.6ポイント)、「ア 国際的な交流や協力」(5.7ポイント)、「エ 防災対策の充実」(4.2ポイント)など10項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
イ 県政の広報・広聴活動	11.2
タ 交通安全・防犯対策	8.3
オ 生涯学習活動への支援	7.7
ウ 県政の合理的運営への努力	7.4
ク 福祉対策	4.9
ア 国際的な交流や協力	4.2
キ 環境対策	3.7
エ 防災対策の充実	3.1
セ 良質な住宅の供給	2.3
サ 雇用安定と職業能力開発	1.9
シ 農林水産業の活性化対策	1.8
カ 芸術文化の振興	1.2
コ 中小企業の育成	0.7
チ 震災からの復興対策	0.6
ソ 学校教育の充実	0.5
ス 交通網の整備	0.1
ケ 医療施設の充実	-1.3

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
シ 農林水産業の活性化対策	3.8
ス 交通網の整備	3.0
ケ 医療施設の充実	1.4
エ 防災対策の充実	-0.6
カ 芸術文化の振興	-1.7
コ 中小企業の育成	-2.0
ア 国際的な交流や協力	-2.5
ク 福祉対策	-3.5
オ 生涯学習活動への支援	-4.1
チ 震災からの復興対策	-4.3
キ 環境対策	-5.1
サ 雇用安定と職業能力開発	-5.7
タ 交通安全・防犯対策	-6.1
イ 県政の広報・広聴活動	-6.6
ソ 学校教育の充実	-6.8
セ 良質な住宅の供給	-7.3
ウ 県政の合理的運営への努力	-7.5

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
ケ 医療施設の充実	7.7
ク 福祉対策	4.4
セ 良質な住宅の供給	4.2
オ 生涯学習活動への支援	3.4
ス 交通網の整備	2.5
キ 環境対策	0.5
シ 農林水産業の活性化対策	0.3
タ 交通安全・防犯対策	0.2
カ 芸術文化の振興	0.1
サ 雇用安定と職業能力開発	0.0
チ 震災からの復興対策	-1.1
ソ 学校教育の充実	-1.3
イ 県政の広報・広聴活動	-1.9
ウ 県政の合理的運営への努力	-2.2
ア 国際的な交流や協力	-2.2
エ 防災対策の充実	-2.3
コ 中小企業の育成	-2.4

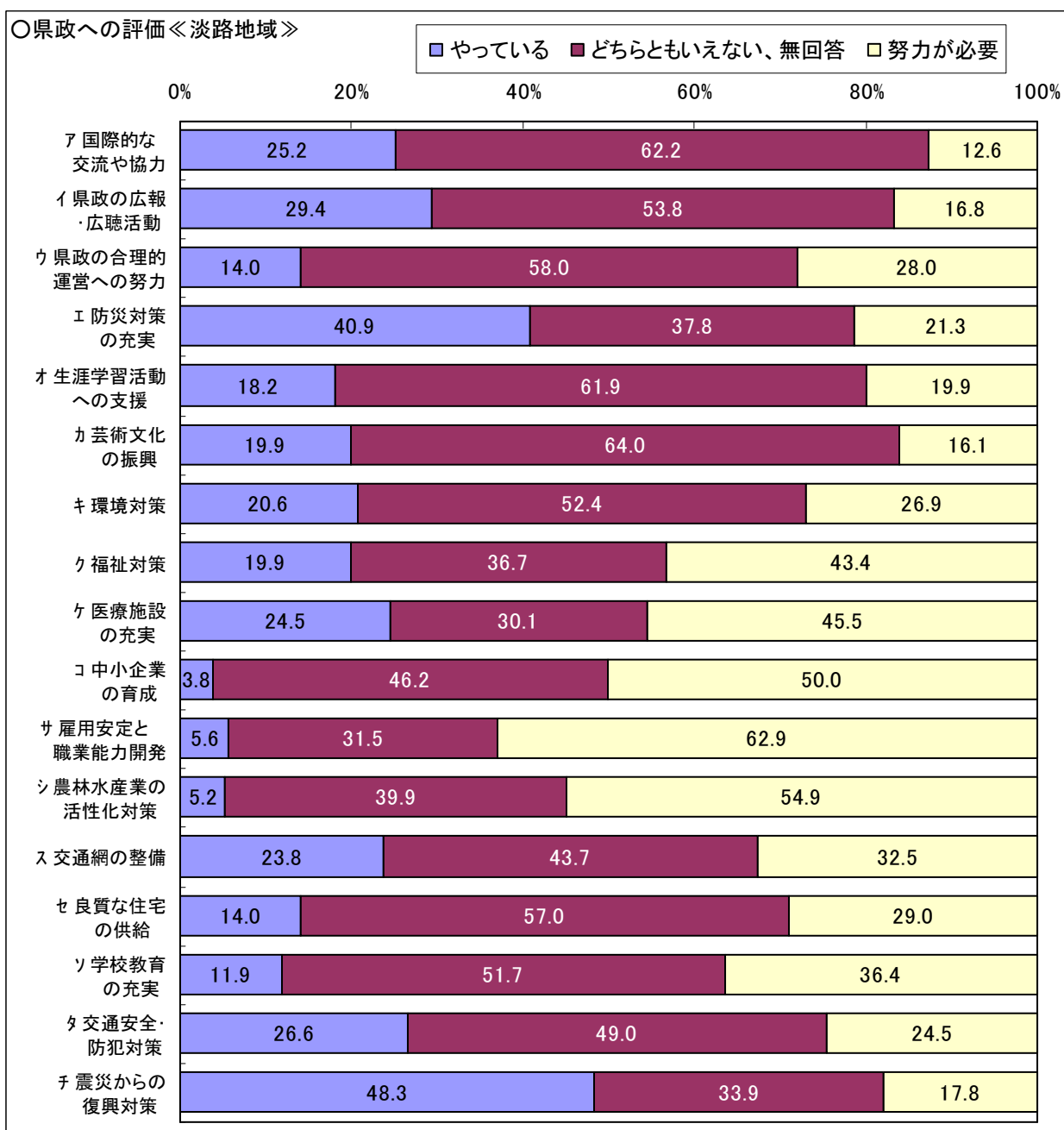
◎県政への評価【前年結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
ク 福祉対策	7.6
ア 国際的な交流や協力	5.7
エ 防災対策の充実	4.2
カ 芸術文化の振興	4.1
ス 交通網の整備	4.0
イ 県政の広報・広聴活動	3.0
サ 雇用安定と職業能力開発	1.7
タ 交通安全・防犯対策	1.7
セ 良質な住宅の供給	1.2
オ 生涯学習活動への支援	0.7
キ 環境対策	-0.4
ソ 学校教育の充実	-0.5
チ 震災からの復興対策	-1.3
コ 中小企業の育成	-1.7
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.7
シ 農林水産業の活性化対策	-5.1
ケ 医療施設の充実	-12.5

《淡路》

- 『やっている』は、「チ 震災からの復興対策」(48.3%)で4割台後半と最も多く、「エ 防災対策の充実」(40.9%)、「イ 県政の広報・広聴活動」(29.4%)、「タ 交通安全・防犯対策」(26.6%)と続いている。
- 『努力が必要』は、「サ 雇用安定と職業能力開発」(62.9%)で6割を超え最も多く、「シ 農林水産業の活性化対策」(54.9%)、「コ 中小企業の育成」(50.0%)が5割台で続いている。
- 17項目中、11項目で『努力が必要』が『やっている』を上回っている。



- 淡路で『やっている』が全県結果を上回っているのは、「エ 防災対策の充実」、「ケ 医療施設の充実」(ともに2.8ポイント)など7項目である。
- 『努力が必要』が全県結果を上回っているのは、「シ 農林水産業の活性化対策」(18.9ポイント)、「ス 交通網の整備」(7.0ポイント)、「コ 中小企業の育成」(6.2ポイント)など10項目である。
- 『やっている』が前年よりも増加しているのは、「ケ 医療施設の充実」(2.1ポイント)など2項目である。
- 『努力が必要』が前年よりも増加しているのは、「シ 農林水産業の活性化対策」(11.3ポイント)、「サ 雇用安定と職業能力開発」(10.8ポイント)、「コ 中小企業の育成」(8.5ポイント)など15項目である。

◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	比率の差
エ 防災対策の充実	2.8
ケ 医療施設の充実	2.8
ク 福祉対策	2.4
ウ 県政の合理的運営への努力	1.9
タ 交通安全・防犯対策	1.7
サ 雇用安定と職業能力開発	1.5
イ 県政の広報・広聴活動	0.1
コ 中小企業の育成	-0.2
シ 農林水産業の活性化対策	-0.3
オ 生涯学習活動への支援	-1.5
チ 震災からの復興対策	-2.7
ア 国際的な交流や協力	-2.7
セ 良質な住宅の供給	-3.1
ソ 学校教育の充実	-4.0
キ 環境対策	-5.1
ス 交通網の整備	-6.9
カ 芸術文化の振興	-8.0

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	比率の差
シ 農林水産業の活性化対策	18.9
ス 交通網の整備	7.0
コ 中小企業の育成	6.2
サ 雇用安定と職業能力開発	5.7
セ 良質な住宅の供給	5.7
チ 震災からの復興対策	3.5
キ 環境対策	2.1
ソ 学校教育の充実	2.1
ケ 医療施設の充実	1.3
エ 防災対策の充実	0.7
カ 芸術文化の振興	-0.3
ク 福祉対策	-1.2
ア 国際的な交流や協力	-2.2
オ 生涯学習活動への支援	-2.3
タ 交通安全・防犯対策	-2.4
ウ 県政の合理的運営への努力	-3.6
イ 県政の広報・広聴活動	-5.2

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

「やっている」	増減
ケ 医療施設の充実	2.1
サ 雇用安定と職業能力開発	1.0
オ 生涯学習活動への支援	-0.6
コ 中小企業の育成	-0.8
セ 良質な住宅の供給	-0.9
ス 交通網の整備	-2.5
ク 福祉対策	-4.2
カ 芸術文化の振興	-4.9
シ 農林水産業の活性化対策	-5.7
ソ 学校教育の充実	-6.2
ウ 県政の合理的運営への努力	-6.2
エ 防災対策の充実	-6.6
キ 環境対策	-6.7
チ 震災からの復興対策	-8.1
ア 国際的な交流や協力	-8.9
タ 交通安全・防犯対策	-10.0
イ 県政の広報・広聴活動	-12.8

◎県政への評価【前年結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

「努力が必要」	増減
シ 農林水産業の活性化対策	11.3
サ 雇用安定と職業能力開発	10.8
コ 中小企業の育成	8.5
セ 良質な住宅の供給	8.1
ス 交通網の整備	7.7
キ 環境対策	6.0
ソ 学校教育の充実	4.8
ク 福祉対策	4.7
チ 震災からの復興対策	4.4
カ 芸術文化の振興	3.3
イ 県政の広報・広聴活動	1.5
エ 防災対策の充実	1.5
ア 国際的な交流や協力	1.2
オ 生涯学習活動への支援	0.4
タ 交通安全・防犯対策	0.4
ケ 医療施設の充実	-0.6
ウ 県政の合理的運営への努力	-1.5

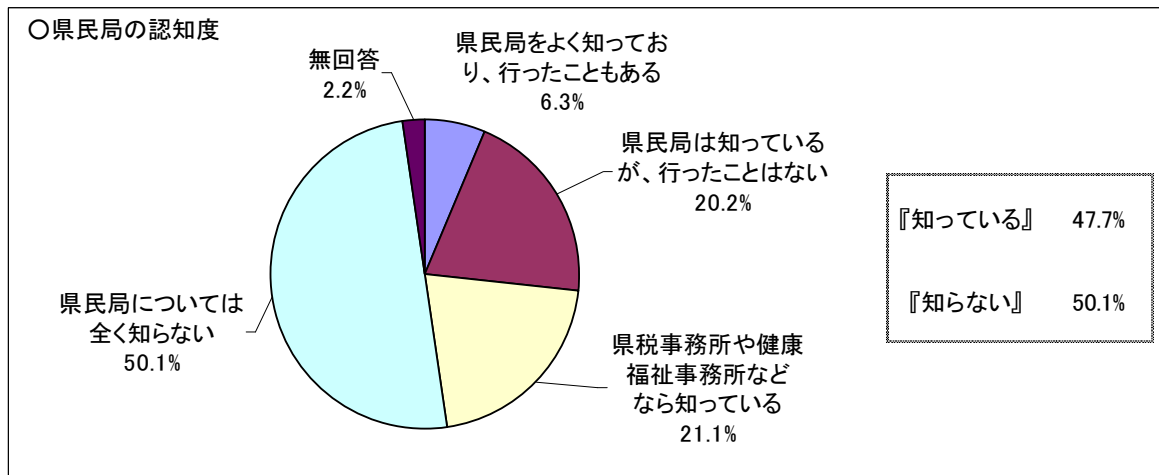
8 県民局の認知度

居住地域の県民局の認知度

問 18 あなたがお住まいの地域の県民局について、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○印をつけてください。

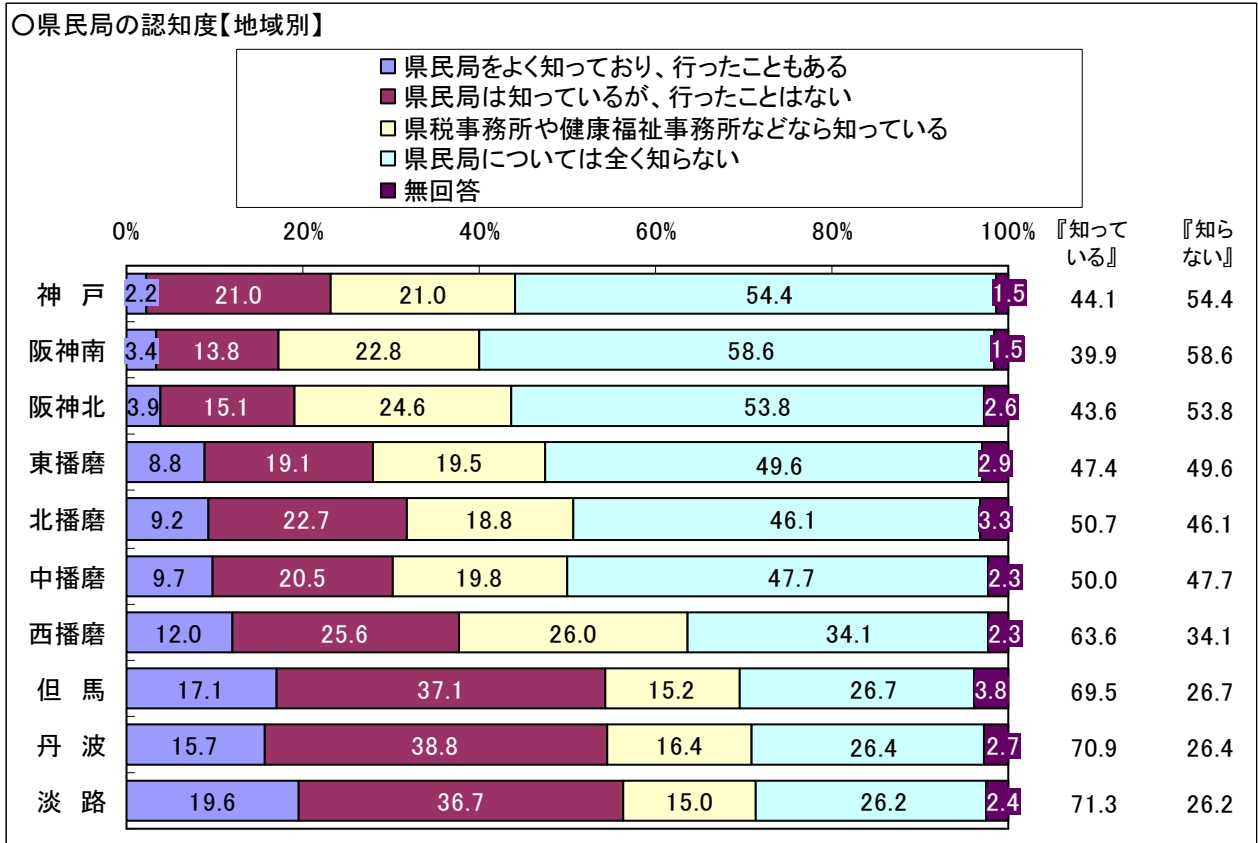
- 1 県民局をよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局は知っているが、行ったことはない
- 3 県税事務所や健康福祉事務所などなら知っている
- 4 県民局については全く知らない

○ 県民局の認知度は、「県民局をよく知っており、行ったこともある」(6.3%)、「県民局は知っている」(20.2%)、「県税事務所や健康福祉事務所などなら知っている」(21.1%)を合わせた『知っている』(47.7%)で5割弱となっている。一方、「県民局については全く知らない」(50.1%)は5割となっている。



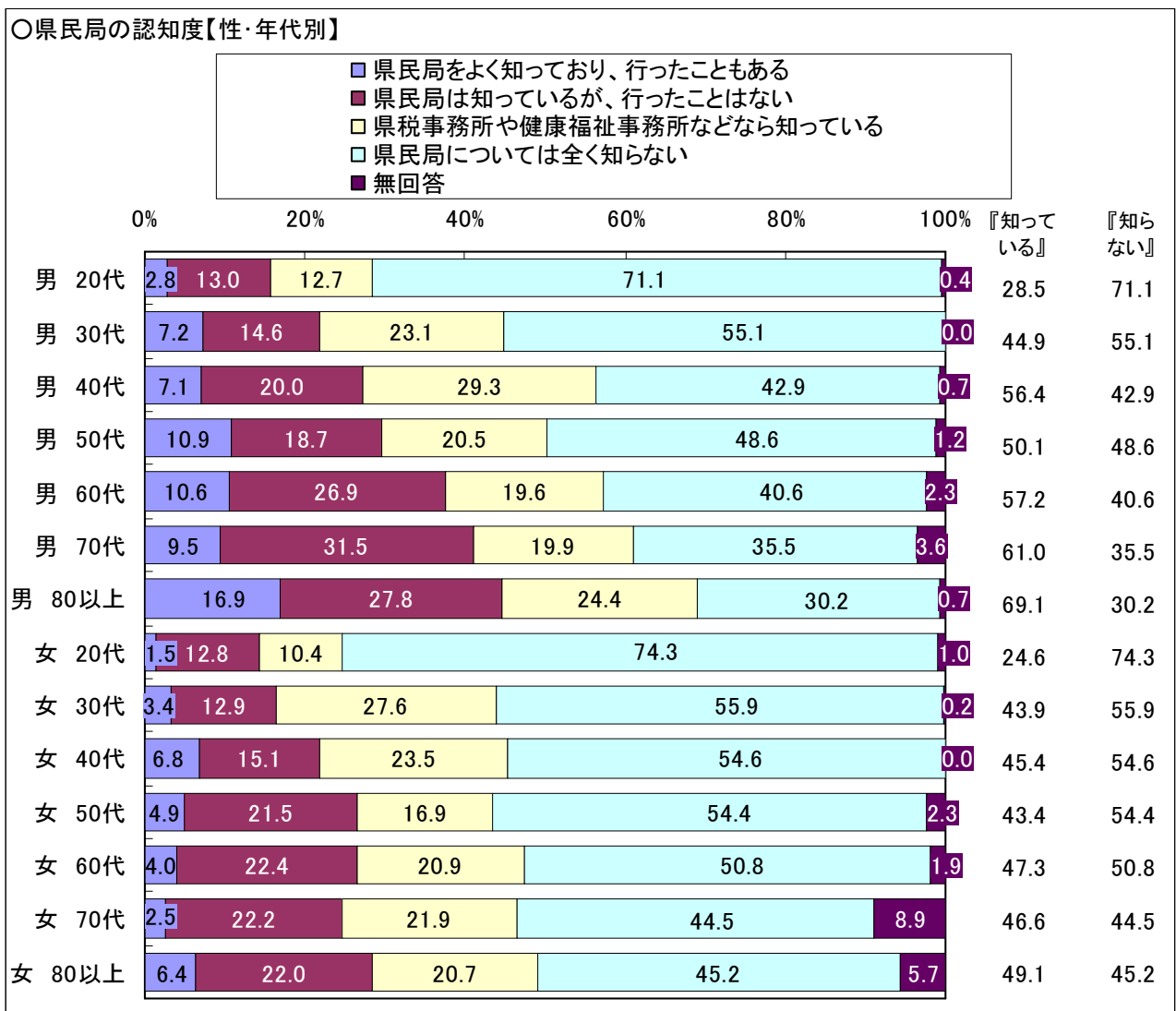
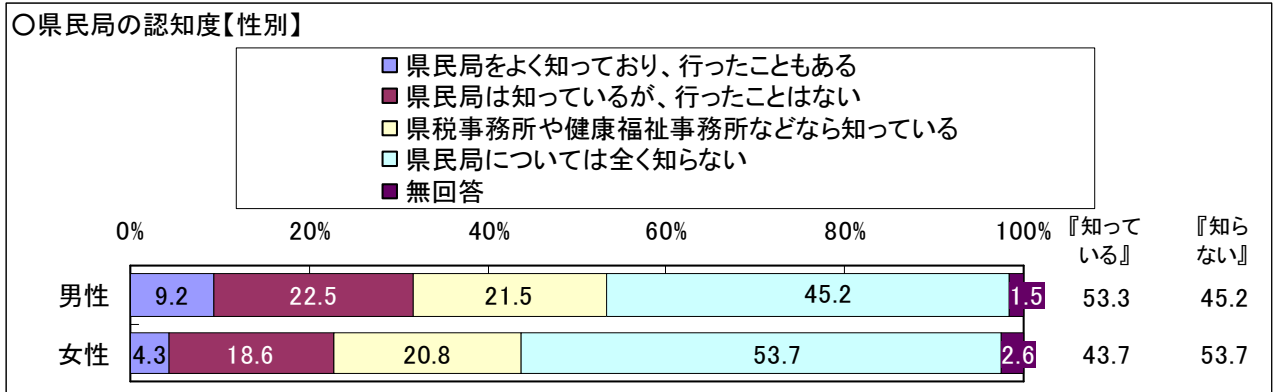
◆地域別

- 地域別でみると、県民局を『知っている』では、淡路(71.3%)が最も多く、丹波(70.9%)、但馬(69.5%)でも約7割となっており、西播磨(63.6%)で6割、北播磨(50.7%)と中播磨(50.0%)で5割を超える認知度となっている。
- 「県民局については全く知らない」では、阪神南(58.6%)、神戸(54.4%)、阪神北(53.8%)の阪神間で5割を超えているが、一方で、「県税事務所や健康福祉事務所などなら知っている」でみると、西播磨(26.0%)に次いで、阪神北(24.6%)、阪神南(22.8%)、神戸(21.0%)と続いており、阪神間でも2割を上回っている。



◆性別／性・年代別

- 性別で見ると、『知っている』では、女性(43.7%)より男性(53.3%)が多く、9.6ポイントの差が生じている。
- 性・年代別で見ると、『知っている』では、男性は80歳以上(69.1%)で最も多く、70代(61.0%)、60代(57.2%)と順に続き、女性でも男性同様、80歳以上(49.1%)が最も多く、60代(47.3%)、70代(46.6%)、40代(45.4%)と続いている。
- また、一方で、「県民局については全く知らない」では、男女とも20代(男71.1%、女74.3%)といずれも7割を上回り、他の年代に比べ多くなっているほか、女性は30代以上の世代でも5割前後が「県民局については全く知らない」を選択している。



◆職業別

- 職業別で見ると、『知っている』では、会社等の役員(64.0%)が最も多く、次いで自営業(55.8%)、その他無職(52.8%)、正規社員(職員)(49.3%)と続いている。一方で、「県民局については全く知らない」では、契約・派遣社員(66.2%)、学生(64.9%)が6割台半ばと多く、パート・アルバイト(58.2%)、主婦(主夫)(55.4%)、正規社員(職員)(50.3%)が5割台で続いている。

